ザ・フクオカ 第３号

2021 年度 FIUHW 自己点検・評価資料

福岡国際医療福祉大学

目　　次

1. 大学の建学の精神、教育理念と概要 1
1.1　建学の精神 1
1.2　大学の基本理念 1
1.3　５つの教育目標 1
1.4　所在地 1
1.5　沿革 1
1.6　組織図 1
1.7　各学科の入学定員 2
1.8　入試状況・在籍状況 2
1.9　学年暦 5
2. 各職種の現状 6
2.1　理学療法士 6
2.2　作業療法士 8
2.3　視能訓練士 10
2.4　看護師・保健師 12
2.5　言語聴覚士 14
3. 教育内容 15
3.1　大学のポリシー 15
3.2　カリキュラムの内容 18
4. 大学生活 19
4.1　学生生活 19
4.2　表彰 19
4.3　クラブ及びサークル 19
4.4　国家試験状況・就職状況 19
5. 委員会及び研究 20
5.1　委員会組織と委員 20
5.2　Good Teaching 賞、FD・SD 研修、研究費受給 22
6. 国際関係 26
6.1　留学生・研修生 26
6.2　国際学術活動 26
6.3　他の国際活動 26
6.4　海外保健福祉事情 27
7. 地域貢献 28
7.1　地域公開講座 28
7.2　ボランティア 28
8. 教員と業績 29
8.1　学長・副学長 29
8.2　医療学部　理学療法学科 31
8.3　医療学部　作業療法学科 38
8.4　医療学部　視能訓練学科 45
8.5　看護学部　看護学科 52
8.6　言語聴覚専攻科 64
9. 大学・関連施設 66
10. 付録 70

１．大学の建学の精神、教育理念と概要

1．1　建学の精神

生命の尊厳、生命の平等

1．2　大学の基本理念

福岡国際医療福祉大学は、「生命の尊厳、生命の平等」を建学の精神とし、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現をめざす。

1．3　5つの教育目標

チームワーク：「チーム医療」「チームケア」に貢献できる専門性の高い人材を養成する。
専　門　性：保健、医療、福祉分野の高度化・専門化に対応できるとともに、それぞれの分野で指導となり得る人材を養成する。
国　際　性：国内はもとより国際社会でも活躍できる、総合的な臨床能力を持った人材を養成する。
人 格 形 成：知識や技術に偏向しない、バランスのとれた豊かな人間性とコミュニケーション能力を持った人材を養成する。
実　践　力：時代のニーズに適合し、地域医療にも貢献できる、実践力のある人材を養成する。

1．4　所在地

本　館【医療学部】　〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-6-40
TEL：092-832-1200（代表）　FAX：092-832-1167
1号館【看護学部】　〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4
2号館【看護学部】　〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16

1．5　沿革

1990年4月 1日　学校法人高木学園　設立
2001年4月 1日　福岡国際医療福祉学院　開校　（2020年3月閉校）
2018年8月31日　文部科学省　設置認可
2019年4月 1日　医療学部（理学療法学科、作業療法学科、視能訓練学科）、言語聴覚専攻科　開学
2021年4月 1日　看護学部　移管

1．6　組織図

福岡国際医療福祉大学
医療学部　理学療法学科（PT）
作業療法学科（OT）
視能訓練学科（ORT）
看護学部　看護学科（NS）　（2021年4月に国際医療福祉大学より本学へ移管）
言語聴覚専攻科（ST）

1．7　各学科の入学定員

福岡国際医療福祉大学は、2019 年 4 月に 1 学部（医療学部）3 学科（理学療法学科、作業療法学科、視能訓練学科）と 1 専攻科（言語聴覚専攻科）で開学し、2021 年 4 月に国際医療福祉大学より福岡看護学部（移管後の名称は看護学部）が移管され、2 学部 4 学科 1 専攻科となった。（表 1-1）

表 1-1　入学定員と合計数

学部	学科・専攻科	1 学年定員	合計数	本学開設年	修業年限	備考
医療学部	理学療法学科	40	160	2019 年	4 年	
	作業療法学科	40	160	2019 年	4 年	
	視能訓練学科	40	160	2019 年	4 年	
看護学部	看護学科	100	400	2021 年	4 年	
言語聴覚専攻科		40	80	2019 年	2 年	

1．8　入試状況・在籍状況

本学は、日々進化する保健・医療・福祉の分野において、それぞれの需要に対応できる医療専門職を養成し、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現をめざし、それを基本理念としている。そのため本学では、豊富なグループ関連施設などと連携し、入学初期より実習を行うことで、「チーム医療・チームケア」の考え方やスキルを身につけ、また、海外研修を必修とすることで、国際的な視野や多言語によるコミュニケーション能力を育むカリキュラム変更を導入している。それにより、国際的に活躍できる医療専門職を養成し、また、それぞれの分野において指導者となり得る人材を養成することで、「共に生きる社会」の実現に尽くすものである。

1）保健・医療・福祉の分野で活躍したいという目的意識が明確であり、何事にも自主的に取り組むことができる者
2）基本的倫理観を持つ者
3）各専門知識を学び応用するために必要な基礎学力を有している者
4）海外の保健・医療・福祉に興味を持つ者

2019 年度入試は、高校推薦入試（公募制・指定校制）・一般前期試験・一般後期試験を実施した。2020 年度入試は AO 入試、大学センター入試を導入した。一般前期試験は本学のみでなく、地方会場として山口・大分・長崎・鹿児島で実施した。2021 年度入試では、AO 入試が総合型選抜に、高校推薦入試（公募制・指定校制）が学校推薦型選抜（公募制・指定校制）、大学入試センター試験利用入試が大学入学共通テスト利用選抜に変更となり、移管された看護学部の入試が開始された。

入試状況は表 1-2 に 4 年間の受験者の動向を示す。また、表 1-3 は在籍者数、退学者数、休学者数、留年者数を示す。

2021 年度の入学生の出身都道府県は、福岡県が最も多く 67.8%であり、九州地区出身者は全体の 91.9%である。（表 1-4）

表 1-2　2021 年度入試　受験状況

	総合型選抜		学校推薦型		特待奨学生		特別選抜		一般前期		一般後期		共通テスト		合　計		入学者数
	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	
医療学部理学療法学科																	
2019年			25	14			3	1	148	52	8	1			184	68	49
2020年	29	3	28	12			0	0	138	42	10	1	55	18	260	76	44
2021年	23	3	50	12			0	0	142	43	6	1	55	17	276	76	43
2022年	10	5	36	17			0	0	135	35	9	4	69	22	259	83	42
医療学部作業療法学科																	
2019年			14	14			0	0	55	37	0	0			69	51	47
2020年	16	4	21	17			1	1	68	29	3	1	30	7	139	59	44
2021年	4	3	23	21			0	0	55	24	6	6	22	8	110	62	44
2022年	17	6	30	26			0	0	50	20	2	1	20	9	119	62	45
医療学部視能訓練学科																	
2019年			16	16			0	0	48	28	1	1			65	45	40
2020年	12	5	16	16			0	0	55	29	1	1	17	10	101	61	46
2021年	12	5	36	30			0	0	66	12	4	2	22	9	140	58	44
2022年	9	4	23	21			0	0	35	18	2	2	15	11	84	56	44
看護学部看護学科																	
2019年	39	16	63	42	189	65	3	3	220	50	19	0	42	22	575	198	119
2020年	33	15	69	42	181	51	4	2	346	31	18	4	74	12	725	157	105
2021年	32	15	72	39			3	1	412	102	23	15	130	14	672	186	111
2022年	23	15	66	43			1	0	413	117	34	9	133	27	670	211	111
言語聴覚専攻科																	
	ＡＯ		一般				Ⅰ期		Ⅱ期		Ⅲ期						
2019年	16	15	10	10											26	25	23
2020年							10	10	12	12	5	5			27	27	26
2021年							12	12	7	7	11	10			30	29	28
2022年							5	5	6	6	4	4			15	15	14

表 1-3　在籍者数

(2022 年 3 月 31 日現在)

学年	理学療法学科	作業療法学科	視能訓練学科	看護学科	言語聴覚専攻科	合計
1 年	43	44	43	111	28	269
2 年	43	44	45	103	26	261
3 年	47	44	37	119	—	247
4 年	—	—	—	96	—	96
	133	132	125	429	54	873

表 1-4　2021 年度入学生の出身県別一覧

出身校	2021年度入学生					
	理学療法学科	作業療法学科	視能訓練学科	看護学科	言語聴覚専攻科	総計
北海道					1	1
茨城		1				1
千葉						
東京				1		1
神奈川						
三重						
京都						
愛知					1	1
奈良			1			1
兵庫						
広島	1					1
岡山		1				1
山口	1	5	1	2	4	13
福岡	30	27	25	86	15	183
佐賀	2	2	2	5	1	12
長崎	3		3	5	2	13
熊本	3	1	3	2	1	10
大分	1	1	3	2	1	8
宮崎	2	2	3	4	1	12
鹿児島		4	3	3		10
沖縄						
高卒認定				1	1	2
総計	43	44	44	111	28	270

出身校	2022年度入学生					
	理学療法学科	作業療法学科	視能訓練学科	看護学科	言語聴覚専攻科	総計
北海道		1				1
茨城						
千葉	1					1
東京					1	1
神奈川				1		1
三重				1		1
京都					1	1
愛知						
奈良					1	1
兵庫				1	1	2
広島		2				2
岡山						
山口	4	2	1	4		11
福岡	25	26	31	76	10	168
佐賀	1	3	2	8		14
長崎	5	4	2	6		17
熊本	1	1		4		6
大分	1	2	2	2		7
宮崎	1	1	2	5		9
鹿児島	1	3	3	1		8
沖縄	2		1	1		4
高卒認定				1		1
総計	42	45	44	111	14	256

1．9　学年暦

2021 年度の学年暦を表 1-5 に示す。コロナ感染症の関係で行事の中止が多くみられた

表 1-5　2021 年度学年暦

	大学行事	学科・専攻関係
4月	1～3日（木－土）　オリエンテーション 6日（火）　入学式 7日（水）　前期授業開始	
5月	8日（土）　運動会（中止） 15日(土)　教育後援会 28日(金)　高校教員向け学校説明会（中止）	19日　一部ハイブリッド、online開始
6月	5日（土）　地域公開講座 25日(金)　高校教員向け学校説明会	
7月	6日（火）　総合防災訓練（２号館） 11日(日)　オープンキャンパス 23日(金)　前期授業終了 24～29日(水)　前期試験	13日（火）　解剖学実習（PT,OT）（中止）
8月	7日(土)　オープンキャンパス 8日(日)　オープンキャンパス 18日(水)　学内研究発表会	
9月	24日(金)　後期授業開始	
10月	24日(土)　総合型選抜入試 30日(土)　オープンキャンパス 30,31日(土、日)　大学祭（新風祭）　中止	
11月	20日(土)　高校推薦入試	14日(日)　IUHW学会
12月	10日　総合防災訓練（１号館） 27日　総合防災訓練（本館） 29日(水)　冬期休暇（3日まで）	
1月	4日(月)　授業再開 18日(火)　後期授業終了 15，16日(土、日)　共通テスト 19～28日　後期試験	
2月	1,2日（土日）　入試（一般前期、社会人、留学生）	17日　ORT国家試験 29日　ST国家試験 20日　PT/OT国家試験
3月	4日(金)　一般入試後期 9日(水)　卒業式（Ns,ST）	

２．各職種の現状

2．1　理学療法士

1）理学療法士の定義

理学療法士は1965年に公布された理学療法士及び作業療法士法により制定された。その法律の中で「理学療法」とは、「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいう。」と定義されている。

世界理学療法連盟では以下のように定義されている（1982年）。

理学療法は身体的治療の技術及び科学であり、運動療法、教育指導、温熱、寒冷、光線、水、マッサージ及び電気を治療手段とする。治療目的のなかに痛みの緩和、循環の増加、障害(disability)の予防と改善、力、可動性及び協調性の最大回復がある。

理学療法は、神経支配と筋力の障害(impairment)程度を決定するための電気的・徒手的テスト、機能的能力を決定するためのテスト、関節可動域の測定、肺活量 の測定を医師の診断補助とし、また経過を記録する目的として行うことを含む。

理学療法士は障害(disability)を予防し病人及び障害者(handicapped)を社会復帰(rehabilitate)させるために働くとともに、予防医学においても活動的であり、また臨床研究も行う。

2）養成校の変遷

1963年に国立療養所東京病院付属リハビリテーション学院で開始された。その後、1979年、3年制短期大学が金沢大学医療技術短期大学部で設立、1992に4年制が広島大学医学部に設立された。また、理学療法学分野の大学院修士及び博士課程が設立され、多くの学位取得者がみられるようになった。2021年では大学が121校、3年制短大が7校、専門学校が143校である（表2-1）。

3）理学療法士の現状

2021年度の理学療法士の国家試験合格者の累計は192,327名である。毎年10,000名程度の増加がみられる（表2-1）。

日本理学療法士協会は理学療法士有資格者の職業団体である。現在約12万名の会員で組織されている。

世界理学療法連盟（World　Physiotherapy）は125各国、66万名（2022-3-31）の組織団体である。最近は2年に一回、各国で学術大会を開催している。

4）国家試験

理学療法士の国家試験は、作業療法士と同時に行われている。年1回、問題形式は五者択一又は五者択二である。問題数は200問であり、問題範囲は、基礎医学、臨床医学、理学療法などである。

受験者数と合格率について表に示す。最近の合格率は80％台である。

表 2-1　　理学療法士の国家試験合格者数の変遷

		受験者数	合格者数	合格率	合格総数	協会会員数	組織率
2001	平成13年	3,240	3,140	96.9	30,061	26,910	89.5
2002	平成14年	3,503	3,354	95.7	33,415	29,845	89.3
2003	平成15年	3,686	3,629	98.5	37,044	33,038	89.2
2004	平成16年	4,289	4,199	97.9	41,243	36,693	89.0
2005	平成17年	5,102	4,843	94.9	46,086	40,869	88.7
2006	平成18年	6,155	6,002	97.5	52,088	45,870	88.1
2007	平成19年	7,036	6,559	93.2	58,647	51,380	87.6
2008	平成20年	7,997	6,924	86.6	65,571	57,148	87.2
2009	平成21年	9,119	8,291	90.9	73,862	63,519	86.0
2010	平成22年	9,835	9,112	92.6	82,974	70,758	85.3
2011	平成23年	10,416	7,736	74.3	90,710	76,639	84.5
2012	平成24年	11,956	9,850	82.4	100,560	83,939	83.5
2013	平成25年	11,391	10,104	88.7	110,664	91,476	82.7
2014	平成26年	11,129	9,315	83.7	119,979	95,721	79.8
2015	平成27年	12,035	9,952	82.7	129,931	102,767	79.1
2016	平成28年	12,515	9,272	74.1	139,203	106,670	76.6
2017	平成29年	13,719	12,388	90.3	151,591	115,825	76.4
2018	平成30年	12,148	9,885	81.4	161,476	119,525	74.0
2019	平成31年	12,605	10,809	85.8	172,285	125,372	72.8
2020	令和2年	12,283	10,608	86.4	182,893	129,875	71.0
2021	令和3年	11,946	9,434	79.0	192,327		
2022	令和4年	12,685	10,096	79.6	202,423		

2．2　作業療法士

1）作業療法士の定義

作業療法士は1965年に公布された理学療法士及び作業療法士法により制定された。その法律の中で「作業療法」とは、身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせることをいうと定義されている。

しかし、現行の理学療法士及び作業療法士法(1965 年)や日本作業療法士協会が 1985 年に定めた作業療法法の定義では、医療領域における実践イメージと結びつきやすく、多様化する今日の作業療法の現状を適切に表現するには定義を改定する必要が生じた。そこで日本作業療法士協会は、2018年5月、以下に示すとおり、協会が示す作業療法の定義文を改訂した。

「作業療法は、人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。」

2）養成校の変遷

1963年に国立療養所東京病院付属リハビリテーション学院で開始された。その後、1979年、3年制短期大学が金沢大学医療技術短期大学部で設立、1992年に4年制が広島大学医学部に設立された。また、作業療法分野の大学院修士及び博士課程が設立され、多くの学位取得者がみられるようになった。2021年では養成校数は、205校（209課程、入学定員7,820人）である。1998年より養成校が急増し、これはゴールドプランによる高齢者の増加に伴い医療福祉職の需要が多くなったことにより生じたものである（表2-2）。

3）作業療法士の現状

2021年の有資格者数は104,286名である。その作業療法士数の変遷を表に示す。

作業療法の対象は、身体、精神、発達、高齢期の障害や、環境への不適応により、日々の作業に困難が生じている、又はそれが予測される人や集団である。

また、作業療法士が関わる領域は、医療、保健、福祉、教育、職業、その他に大別でき、現状では医療機関で働く作業療法士の数が最も多い。しかし、近年は高齢化社会への対応である介護領域で働く作業療法士の数が増加している。また、国が目指している「共生社会の実現」への対応として、障害福祉、教育、職業の領域で働く作業療法士の数も少しずつ増えてきている。

4）国家試験

作業療法士の国家試験は、理学療法士と同時に行われている。年1回、問題形式は五者択一又は五者択二である。問題数は200問であり、問題範囲は、基礎医学、臨床医学、作業療法などである。

受験者数と合格率について表2-2に示す。最近の合格率は70-80%台であり、年によって変化が大きい。

表 2-2　作業療法士の国家試験合格者数の変遷

		受験者数	合格者数	合格率	合格総数	協会会員数	組織率
2001	平成13年	2,477	2,347	94.8	17,229	15,193	88.2
2002	平成14年	2,854	2,587	90.6	19,816	17,458	88.1
2003	平成15年	3,205	2,937	91.6	22,755	20,051	88.1
2004	平成16年	3,469	3,313	95.5	26,069	23,151	88.8
2005	平成17年	3,893	3,442	88.4	29,511	26,131	88.5
2006	平成18年	4,571	4,185	91.6	33,696	29,523	87.6
2007	平成19年	5,131	4,400	85.8	38,097	32,948	86.5
2008	平成20年	5,783	4,257	73.6	42,354	35,961	84.9
2009	平成21年	6,675	5,405	81.0	47,759	39,241	82.2
2010	平成22年	6,486	5,317	82.0	53,076	42,348	79.8
2011	平成23年	5,794	4,116	71.0	57,192	44,958	78.6
2012	平成24年	5,821	4,637	79.7	61,829	46,092	74.5
2013	平成25年	5,279	4,079	77.3	65,908	48,008	72.8
2014	平成26年	5,474	4,740	86.6	70,648	49,841	70.5
2015	平成27年	5,324	4,125	77.5	74,773	50,494	67.5
2016	平成28年	5,004	4,711	94.1	79,484	53,045	66.7
2017	平成29年	5,983	5,007	83.7	84,491	55,904	66.2
2018	平成30年	6,164	4,700	76.2	89,191	58,234	65.3
2019	平成31年	6,358	4,531	71.3	93,722	62,219	66.4
2020	令和2年	6,352	5,548	87.3	99,270		
2021	令和3年	5,549	4,510	81.3	103,780		
2022	令和4年	5723	4608	80.5			

2．3　視能訓練士

1）視能訓練士の定義

視能訓練士（Certified Orthoptist　(略称CO)、Orthoptist の前３字でORT とも略される）は、小児の弱視や斜視の視能矯正や視機能の検査をおこなう国家資格を持つ専門技術職として 1971 年に視能訓練士法が公布され、制定された。この法律の中では、両眼視機能に障害のある者に対する機能回復のための矯正訓練及びこれに必要な検査を行なうと定義されていた。このように視能訓練士法制定当時は視能訓練士の業務は小児の斜視や弱視の視機能の検査や視能矯正に限定されていたが、その後、高齢化に伴う眼科領域の疾病構造の変化や、検査機器の進歩による眼科検査の多様化などを受け、1993 年の関係法令成立により、医師の指示の下、人体に影響を及ぼす程度が高い一部の検査を除き、臨床で一般的に行われている眼科諸検査全般を行うことができるようになった。

視能訓練士は、弱視や斜視に対しての視力向上や正常な両眼視機能の獲得を目的とした視能訓練、両眼視能検査、眼筋機能検査、斜視訓練、弱視訓練を行うと同時に、視力検査・屈折検査・眼鏡処方検査・コンタクトレンズ検査・視野検査や、眼の奥の写真や組織の断層を撮影する画像診断検査、正確な手術をおこなうための手術前の検査など様々な眼科一般検査および精密な特殊検査を行う。さらにリハビリテーション分野でも眼疾患や外傷などにより視機能が低下した状態となったロービジョン患者を一人一人に合わせた光学的補助具（拡大鏡、遮光眼鏡等）の選定、見え方を補う様々な工夫で生活の質の改善を支援して、視覚リハビリテーション施設と連携するなど、ロービジョンに対する視能リハビリテーションも行っている。

2）養成校の変遷

1970 年 4 月に東京都世田谷区にあった国立小児病院構内にわが国初の視能訓練士の養成施設が厚生省立として設置開校された。この国立小児病院附属視能訓練学院は短期大学卒業以上の女子を入学資格とし、修業年限 1 年、定員は 30 名であった。5 年遅れて同様の養成校（国立大阪病院附属視能訓練学院）が国立大阪病院構内に付設された。その後、1977 年に新潟医療技術専門学校が高校卒業以上を対象とした私立の 3 年制の専門学校として誕生した。養成校が 3 校のみという時代が長く続いたが、1988 年岐阜視能訓練専門学院（現、平成医療短期大学）の開設を皮切りに多くの養成校が誕生することになる。その一方で、創成期を支えた国立の養成校 2 校はその役目を終え閉校することになった。

最初の視能訓練士養成大学は 1991 年に岡山県倉敷市に誕生した川崎医療福祉大学である。同大学は 1996 年には大学院を設置した。今では視能訓練士にも修士、博士といった学位取得者を見受けるようになった。現在は、大学が 10 校、専門学校が 16 校、短期大学が１校、計 27 校である。養成の場は徐々に大学にシフトしつつあるが、専門学校の人気も根強い。九州には専門学校が２校で、大学は本学だけである。

3）視能訓練士の現状

2022 年の国家試験の合格者累計は 18,550 名であり、毎年約 800 名が増加している。視能訓練士数の変遷を表に示す。

斜視、弱視の視能訓練という専門分野のみを業務としていた創成期に対して、現在は、視能訓練や眼科検査以外にも、3 歳児健診や成人健診などでの視機能スクリーニング、低視力者のリハビリテーション指導など、幅広い業務を担当するようになり、業務は飛躍的に拡大している。さらに近年では、高齢者や発達障碍児が抱える視覚の問題に対する包括的なケアを求める社会のニーズも増大している一方、視能訓練士は不足しており、一般病院では看護師が慣れない視力検査をおこなっているところも多く、検査精度が問題になっている。

4)国家試験

視能訓練士の国家試験は、年１回、東京と大阪の２会場で行われる。出題分野は、基礎医学大要、基礎視能矯正学、視能検査学、視能障害学、及び視能訓練学である。問題形式は五者択一又は五者択二である。問題数は 150 問であり、合格基準は 60%である。最近の合格率は 95%以上である。

表 2-3　視能訓練士の国家試験合格者の変遷

		受験者数	合格者数	合格率	合格累計	会員数
2001	平成13年	362	343	95	4,610	3,215
2002	平成14年	343	333	97	4,943	3,403
2003	平成15年	440	415	94	5,358	3,491
2004	平成16年	503	484	96	5,842	3,724
2005	平成17年	514	494	96	6,336	3,987
2006	平成18年	627	612	98	6,948	4,021
2007	平成19年	573	546	95	7,494	4,433
2008	平成20年	683	648	95	8,142	4,618
2009	平成21年	675	624	92	8,766	5,182
2010	平成22年	685	585	85	9,351	5,131
2011	平成23年	734	670	91	10,021	5,433
2012	平成24年	720	665	92	10,686	5,641
2013	平成25年	743	546	74	11,232	5,820
2014	平成26年	953	863	91	12,095	5,897
2015	平成27年	886	788	89	12,883	6,046
2016	平成28年	886	833	94	13,716	6,259
2017	平成29年	832	775	93	14,491	6,288
2018	平成30年	910	889	98	15,380	6,489
2019	平成31年	834	819	98	16,199	6,621
2020	令和２年	837	804	96	17,003	6,669
2021	令和３年	850	774	91	17,777	6,534
2022	令和４年	842	773	92	18,550	

2．4　看護師・保健師

1）看護師・保健師の定義

保健・医療・福祉の幅広い分野で人々の健康に関わる看護の職種には、保健師、助産師、看護師、准看護師がある。これらを「看護職」として包括し、各資格の定義と職務の裁量が及ぶ範囲は保健師助産師看護師法（保助看法）によって規定されている。なお、保助看法は、女性を看護婦、男性を看護士としていた「保健婦助産婦看護婦法」から 2001 年に改称されたことにより、男女ともに「看護師」「保健師」という名称に統一された。

保助看法によれば、看護師は、「厚生労働省の免許を受けて、傷病者もしくは、じょく婦に対する療養上の世話、または診療の補助を行う者」であり、保健師は「厚生労働省の免許を受けて、保健師の名称で、保健指導に従事する業務をおこなう者」である。看護師の裁量がおよぶ範囲は、「療養上の世話」と「診療の補助」であり、「療養上の世話」は看護師が主体的に判断し対応していく業務、「診療の補助」は医師の指示により医療行為の補助を行う業務と区別されている。後者の「診療の補助」は、医療用機材の進歩や医療現場の実態などから時代背景に基づく行政的解釈が行われ、静脈注射の実施を例として、医師の医学的判断を前提とした看護師の業務範疇として取り扱われてきている。

また、看護職の職能団体である公益社団法人日本看護協会は、看護師と保健師の具体的な仕事という点から以下のように紹介している。

「看護師の仕事は、傷病者や妊産婦の療養上の世話をしたり、診療の補助を行うこと。“人を看る”という看護師独自の視点で、対象となる人を身体や精神、社会、文化などさまざまな側面から捉え、情報を総合的にアセスメントし、必要な看護を的確に判断します。病院や診療所などの医療機関のほかに、訪問看護や福祉関連施設など、人々の生命と生活を支える専門職として、看護師が活躍する場は広がっています。」

「保健師の仕事は、人々が健康な生活を送れるように保健活動を行うこと。保健所・保健センターなどの公的機関で働く保健師が多く、地域の健康データを分析した上で、問題の解決に向けて乳幼児健診や健康相談、生活習慣病予防対策などを行っています。また、家庭訪問による健康問題の解決への支援を行うなど、子どもから高齢者まで健康に暮らせる地域づくりに向けて活動し、健康に関する自治体の政策にも関わります。企業では、働く人たちのメンタルヘルス対策や健康相談、健診結果に基づく保健指導、環境調整も行います。」

2）養成校の変遷

日本における看護の職業的な発展は、1885 年看護教育機関（慈恵看護専門学校）の創設であり、その後の保健婦助産婦看護婦法の制定などによる看護行政が整理されることによって、看護職の養成校が設置されてきた。1970 年代以降、疾病構造の変化や高齢社会などにより、看護業務が複雑化・高度化が進展し、看護職の量的質的な充実が求められるようになった。職業としての看護から高等教育の必要性が高まり、1992 年に施行された看護師等の人材確保の促進に関する法律は、看護系大学の増加を辿る機会となった。

看護師・保健師はいずれもそれぞれの国家試験受験に向けて、看護師は大学または 3 年以上の教育、保健師は看護師国家試験の合格とともに 1 年以上の教育が必要である。看護師の国家試験受験資格の取得には、中学校あるいは高等学校から、5 年一貫教育課程、看護師養成所、短期大学、大学の教育課程修了、保健師は看護系大学院、四年課程大学、短期大学専攻科、養成所の教育課程修了と、複数の教育課程が存在する。

日本看護系大学協議会は、「看護職の教育に関する声明」において、専門学校教育と短期大学教育は看護ケアが着実に実践できる人材育成を目指す職業教育であり、大学教育は看護学の学問を追求しかつ学問的に裏打ちされた看護実践を行うことができる専門職業教育として区別している。看護系大学は 272 校（2019 年）、短期大学 18 校（2018 年）、２年課程と３年課程の養成所 690 校（2018 年）、5 年一貫教育課程　83 校（2018 年）、また、保健師は看護系大学院 13 校、看護系大学 231 校、短期大学専攻科 6 校、養成所 18 校で養成されている（2018 年）。今後の社会・医療に対応できる看護師の育成には専門職業教育が不可欠であり、看護基礎教育の４年制化の推進が提唱されている。

3）看護師・保健師の現状

日本看護協会『2020 年　看護関係統計資料集』によると、看護職就業者数は 1,683,295 人、そのうち、看護師が 1,272,024 人保健師 64,819 人であった。

超高齢社会では医療介護に関わる人材確保が 2025 年問題として取り上げられ、看護師の不足数が 180 万人

から 200 万人ともいわれている。看護職教育課程 1 年定員数は、看護師 67,000 人、保健師 9,192 人であり、2025 年問題に向けた人材確保の困難さがうかがわれる。一方、看護職としての就業後の離職率は 10～12%、新人看護師は 7～8%を推移している。女性が大半を占める看護職は、出産や育児のためという離職理由が最も多く、資格を持っているが現場で働いていない潜在看護師は 70 万人ともいわれている。COVID-19 の感染対策では、看護職確保対策として、潜在看護師の届け出制度が強化されるとともに、潜在看護師に対する保健医療福祉施設での協力依頼が行われた。

看護職の育成と確保という問題解決に向けて、看護職の働き方改革としてワークライフバランスや看護業務効率化などが推進されるとともに、新人看護職員の卒後臨床研修が「保助看法」と「看護師等の人材確保の促進に関する法律」によって 2010 年より各病院・施設において努力義務化となった。また、医療保健福祉が病院完結型から地域完結型へとシフトしており、日本看護協会は、訪問看護従事者の育成や地域の特性・制度に関わる保健師の人材育成や体制整備を取り上げている。

4）国家試験

第 111 回看護師国家試験（2022 年）は、出願者数 65,684 人、受験者数 65,025 人、合格者数 59,344 人、合格率 91.3%であった。新卒者合格者数は 57,057 人、合格率は 96.5%であった。第 108 回保健師国家試験は、出願者数 8,020 人、受験者数 7,948 人、合格者数 7,094 人、合格率 89.3%であった。新卒者の合格者数は 6,975 人、合格率は 93%であった。本看護学科では、看護師合格率 98.9%（2021 年度 100%）、保健師合格率 100%（2021 年度 100%）であり、全国合格率と比較しいずれも高い結果であった。

看護師国家試験の過去 5 年の推移では、2018 年度と比較し、受験者数 537 人、合格者数 662 人の増加であり、合格率は 2020 年が 89.2%であり、それ以外の年は 90%台で経過していた。保健師は 243 人減少、428 人増加、合格率は 2018 年度 81.4%が最も低く、それ以外の年は 81.8%や 91.5%で推移していた。保健師受験者数は、大学での保健師教育課程が選択制であり、履修学生の減少に伴うものと考えられている。看護師国家試験問題は、より臨床の状況を反映し実践をイメージできる力が求められ、学んだことの本質的な理解が問われる傾向にある。

2．5　言語聴覚士

1）言語聴覚士の定義

1997 年に言語聴覚士法が公布され、言語聴覚士が制定された。その法律の中で、音声機能、言語機能又は聴覚に障害のある者についてその機能の維持向上を図るため、言語訓練その他の訓練、これに必要な検査及び助言、指導その他の援助を行うと定義されている。

2）養成校の変遷

言語聴覚士の養成校は文部学大臣指定（認定）医療関係技術者養成学校一覧（令和２年５月１日現在）によれば大学が 26 校、専門学校が 25 校、2 年制養成が 26 校である。2 年制課程は大学卒業者が入学条件となっている。

3）言語聴覚士の変遷

2021 年の国家試験の合格者累計は 37082 名である。2021 年度は 1945 名（合格率 75%）が合格した。その言語聴覚士数の変遷を表に示す。

4）国家試験

言語聴覚士の国家試験は、年１回、問題形式は五者択一である。問題数は 200 問であり、合格基準は 120 点である。最近の合格率は 65～75%台である。

表 2-5　言語聴覚士の国家試験合格者数の変遷

実施年	回	受験者数	合格者数	合格率
1999	第1回	4,556	4,003	87.9
2000	第2回	1,565	664	42.4
2001	第3回	1,908	936	49.1
2002	第4回	2,113	1,137	53.8
2003	第5回	2,447	1,027	42.0
2004	第6回	1,658	1,130	68.2
2005	第7回	1,812	1,012	55.8
2006	第8回	2,226	1,389	62.4
2007	第9回	2,323	1,266	54.5
2008	第10回	2,574	1,788	69.5
2009	第11回	2,347	1,344	57.3
2010	第12回	2,498	1,619	64.8
2011	第13回	2,374	1,645	69.3
2012	第14回	2,263	1,413	62.4
2013	第15回	2,381	1,621	68.1
2014	第16回	2,401	1,779	74.1
2015	第17回	2,506	1,776	70.9
2016	第18回	2,553	1,725	67.6
2017	第19回	2,571	1,951	75.9
2018	第20回	2,531	2,008	79.3
2019	第21回	2,367	1,630	68.9
2020	第22回	2,486	1,626	65.4
2021	第23回	2,546	1,766	69.4
2022	第24回	2,593	1,945	75.0

３．教育内容

3.1　大学のポリシー

3.1.1　カリキュラム・ポリシー

本学では、基本理念・教育目標を実現するため、調和のとれた人格形成に必要な教養科目を基礎におき、また専門分野に関する科目については体系的に構成するカリキュラムとなっている。

以下に本学のカリキュラム・ポリシーおよびカリキュラム体系を示す。

①総合教育科目：幅広い教養や視野、国際的なセンスを備えた、豊かな人間性を養う。

②専門基礎科目：人体の構造や、疾病に関わる基礎的な知識を学修し、「チーム医療・チームケア」に欠かせないコミュニケーション能力、関連職種に関する知識と連携能力および課題解決能力を身につけた専門職を養成する。

③専 門 科 目：保健、医療、福祉のプロフェッショナルになるための専門知識および技術を身につけ、専門職として社会に貢献できる人材を養成する。

(1)総合教育科目：幅広い教養や視野、国際的なセンスを備えた豊かな人間性を養うともに、専門教育を受ける上での基本的な知識を修得する科目である。総合教育科目は人間系、社会系、自然・情報系、保健体育系、総合系、外国語系に区分される。
〇4 年間にわたり学べる機会を設けている。
〇原則として全学科共通の開講科目である。
〇外国語系科目は海外研修を念頭に置いた実用性を重視した内容である。

(2)専門基礎科目：「チーム医療・チームケア」に欠かせないコミュニケーション能力、関連職種に関する知識と連携能力および課題解決能力を身につけた専門職を養成する科目である。
専門科目（高度な専門的知識・技術）を学ぶための前提となる知識、技術を学ぶとともに、医療関連専門職として共通して修得すべき科目であり、原則として全学科共通の開講科目である。

(3)専 門 科 目：保健、医療、福祉のプロフェッショナルになるための専門知識および技術を身につけ、専門職として社会に貢献できる人材を養成する科目であり、各学科単独の開講科目である。

3.1.2　ディプロマ・ポリシー

本学は、保健、医療、福祉の分野において、高い知識と優れた技能、そして科学的・創造的探究心と豊かな人間性を備えた、時代のニーズや地域医療に貢献できる有為な専門職を養成することで、基本理念にある「共に生きる社会」の実現を目指すものである。

そのため、総合教育と専門教育に重点を置いた体系的なカリキュラムを構築し、学生へ前もって成績評価基準を明示し、「GPA (Grade Point Average)」を用いた厳格な成績評価を行う。卒業要件を満たす所定の単位を修得したものに対して、卒業を認定し、学位を授与する。

本学で卒業までに身につけるべき内容は、以下のとおりである。

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理を尊び、一人の人間として豊かな心を身につけ、時代のニーズや地域で起こっている事象への関心を深め、社会へ貢献するために専門職として必要な高い専門的能力や技術力、実践力を身につける。

②他職種を理解し、職種を超えて問題を探求する姿勢を身につけ、基礎的および専門的な学力を養い、保健、医療、福祉の分野において指導者・研究者となり得る基本的能力を身につける。

③国際社会で活躍するにあたって必要な能力を育むため、知識と技能、語学力を身につける。

3.1.3　理学療法学科のポリシー

カリキュラム・ポリシー

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理と豊かな教養を学修するための授業科目を開設する。

②保健・医療・福祉分野における関連職種の役割を理解しチーム医療・チームケアが実践でき、対象者の健康と体力の維持・向上に貢献できる能力を身につけるための授業科目を開設する。

③理学療法の実践に必要な、基礎的および専門的な知識・技術を学修するための授業科目を開設する。

④国際的な視点に立ち、周辺諸国の歴史、文化、海外保健事情を理解するとともに海外での活動を体験することができる授業科目を開設する。

ディプロマ・ポリシー

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理を理解し、豊かな教養と高い専門能力を用いて、時代のニーズや地域で起こっている課題を理解することができる。

②理学療法士として医療分野における他職種の役割を理解し、対象者や利用者に共感しながらチーム医療・チームケアが実践でき、健康と体力の維持・向上に貢献できる。

③基礎的および専門的な知識や技術に基づいた理学療法を実践できるとともに、理学療法の指導者・研究者となり得る基礎的能力を身につける。

④国際化に対応した幅広い知識・技術を学修し、国際的視点を持つことができる。

3.1.4　作業療法学科のポリシー

カリキュラム・ポリシー

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理と豊かな教養を学修するための授業科目を開設する。

②人の心と生活を支えるために必要な専門知識と技術を兼ね備え、チーム医療・チームケアが実践できる人材を育成するための授業科目を開設する。

③科学的・創造的探究心を持ち、作業療法の実践に必要な、基礎的および専門的な知識・技術を学修するための授業科目を開設する。

④国際的な視点に立ち、周辺諸国の歴史、文化、海外保健事情を理解するとともに海外での活動を体験することができる授業科目を開設する。

ディプロマ・ポリシー

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理を理解し、豊かな教養と高い専門能力を用いて、時代のニーズや地域で起こっている課題を理解することができる。

②作業療法士としての専門的知識、技術を有し、他職種と協働してチーム医療・チームケアを実践することができ、社会的責任をもって人の心と生活を支援できる。

③向上心、探究心をもって、科学的・創造的思考を身につけ作業療法を実践でき、作業療法の指導者・研究者となり得る基礎的能力を身につける。

④国際化に対応した幅広い知識・技術を学修し、国際的視点を持つことができる。

3.1.5　視能訓練学科のポリシー

カリキュラム・ポリシー

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理と豊かな教養を学修するための授業科目を開設する。

②眼科医療において必要とされる専門的知識と技術を学修し、さらに他職種と円滑なコミュニケーションを図りながら医療チームの一員として活躍でき、目の健康と生活の質の向上に貢献できる人材を育成するための授業科目を開設する。

③ 視覚分野における学術的課題を自ら見出し、科学的根拠に基づいて論理的に分析できる人材を育成するための授業科目を開設する。

④国際的な視点に立ち、周辺諸国の歴史、文化、海外保健事情を理解するとともに海外での活動を体験することができる授業科目を開設する。

ディプロマ・ポリシー

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理を理解し、豊かな教養と高い専門能力を用いて、時代のニーズや地域で起こっている課題を理解することができる。

②視能訓練士として必要な知識と技術を有し、さらに他職種と連携してチーム医療を推進することができ、目の健康と生活の質の向上に貢献できる。

③視覚分野における学術的課題を多角的視点から思考し、収集した情報を科学的根拠に基づいて論理的に分析し解決することができ、視能訓練の指導者・研究者となり得る基礎的能力を身につける。

④国際化に対応した幅広い知識・技術を学修し、国際的視点を持つことができる。

3.1.6　看護学科のポリシー

カリキュラム・ポリシー

①看護師・保健師として必要な豊かな人間性とアイデンティティを育成する。

②人間の健康に寄与する専門職として、看護の本質を追及する学習に主体的かつ創造的に取り組む姿勢を育成する。

③ヒューマンケアの専門職として必要不可欠なスキルを修得し、保健医療福祉分野におけるチーム医療において協働できる能力を育成する。

④物事の本質をみつめ、幅広く学問を探究し、論理的に思考できる能力を育成する。

⑤科学的な根拠に基づく判断力と、問題解決ができる基礎的な看護実践能力を育成する。

⑥国内外の健康課題を理解し、国際的な視野で問題解決を図る能力を育成する。

ディプロマ・ポリシー

①人間への深い関心と尊厳をもって看護の対象を理解し、看護実践の場における倫理的な対処ができる。

②多様な学問領域に関心を持ち、人間や健康を学際的にとらえることができる。

③自ら学問を探究する姿勢や学習課題を明らかにし、課題達成に取り組むことができる。

④看護におけるさまざまな事象に対して、論理的かつ批判的に考え行動できる。

⑤他者の感情や体験に共感できるような感性を磨き、人間関係を円滑に築くことができる

⑥個人、家族、組織、地域社会における健康課題を査定し、チームの一員として基本的な看護実践ができる知識・技術・態度を持つことができる。

⑦国内外における看護の機能と役割を追及する姿勢を持つことができる。

3.1.7　言語聴覚専攻科のポリシー

カリキュラム・ポリシー

①「生命の尊厳・生命の平等」という基本的倫理を基に言語聴覚療法の実践に必要な、基礎的及び専門的な知識・技術を学修するための授業科目を開設する。

②保健・医療・福祉分野における関連職種の役割を理解しチーム医療・チームケアが実践でき、対象者のコミュニケーションと生活の質の維持・向上に貢献できる能力を身につけるための授業科目を開設する。

③国際的な視点に立ち、言語聴覚療法を学修できる授業を実施する。

ディプロマ・ポリシー

①基本的倫理を理解し、豊かな教養と高い専門能力を用いて、時代のニーズや地域で起こっている課題を理解することができる。

②他職種の役割を理解し、対象者や利用者に共感しながらチーム医療・チームケアが実践でき、コミュニケーションと生活の質の維持・向上に貢献できる。

③言語聴覚療法を実践できるとともに、指導者・教育者となり得る基礎的能力を身につける。

④国際化に対応した幅広い知識・技術を学修し、国際的視点を持つことができる。

3.2　カリキュラムの内容

カリキュラムは、総合教育科目・専門基礎科目・専門科目に分かれている。総合教育科目は1・2年次に多く履修する。総合教育科目や専門基礎科目の一部は学科共通科目で、学科間の交流もできる。1年次より一部の専門基礎科目を履修する。2年生はより細分化された分野を勉強する。3年生になると実習が多くなり、より実践に近い形で勉強する機会が増える。4年生では実習と卒業研究、国家試験のための模擬試験等を行う。

表には系統図を示す。

総合教育科目

①人　間　系：心理学、哲学、倫理学、文学、教育学、教育評価学、コミュニケーション概論
②社　会　系：海外保健福祉事情Ⅰ（講義）、海外保健福祉事情Ⅱ（実習）、アジア比較文化論、法学、経済学、社会学、国際医療福祉論、社会保障制度論、ボランティア論
③自然・情報系：生物学、物理学、統計学、医療とICT、生命倫理、人間工学
④保健体育系：健康科学理論、健康スポーツ実践
⑤総　合　系：大学入門講座
⑥外国語系：医学英語Ⅰ・Ⅱ、英語（基礎・応用）、英会話、韓国語、中国語、日本語（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）

カリキュラム、系統図は履修要項を参照

● 福岡国際医療福祉大学履修系統図

https://fiuhw.takagigakuen.ac.jp/manager/wp-content/uploads/2021/09/course-system-diagram.pdf?20210827

４．大学生活

4.1　学生生活

大学には勉強にも勝る大切なものとして大学行事、そして個人的なクラブ又はサークル活動等がある。様々な活動や人との関わりは人格形成大いに役立つと考えられる。友達や先輩、後輩などとお互いの考えに耳を傾け、その上で共感したり、議論したりできる関係は、将来、医療専門職としての人生も豊かにする。大学行事には、運動会、大学祭などが予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

4.2　表彰（学生優秀賞及び受賞など）

年間成績優秀賞は、学業成績が優秀で人品の優れた学生を顕彰し、副賞として奨学金が授与される。2020年度の成績から選出される。学長賞などは医療学部では2022年度に完成年度を迎えるため該当者はなく、看護学科、言語聴覚専攻科の卒業生のみが対象である。

表 4-1　2021 年度　年間優秀賞・学長賞・各協会賞

		理学療法学科	作業療法学科	視能訓練学科	看護学科	言語聴覚専攻科
年間成績優秀賞	2 年生	蒲池　崇広	西尾　愛美	坂元　亜美	大熊　祐奈	—
	3 年生	長澤　由香子	梅津　龍大	籾田　美冴	占部　美佳	—
	4 年生	—	—	—	猪瀬　唯	—
学長賞		—	—	—	前田　美芙優	畑　園佳
協会賞等		—	—	—	—	福田　治代
全国ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学校協会賞		—	—	—	—	真子　いずみ
日本私立看護系大学長賞		—	—	—	猪瀬　唯	—

4.3　クラブ及びサークル

クラブは大学で承認された公式の認可団体で、部室及び援助金が提供される。サークルは個人的な団体（届出のみで活動可能）である。新型コロナウイルス感染症の影響により活動が縮小された。

部（クラブ）：ボランティア部、救急医療部、テニス部

サークル：スポーツサークル（liquid スポーツ）、折り紙サークル、LSD(スロージョギング）サークル、フットサルサークル、バレーボールサークル、バスケットサークル、バドミントンサークル、S-Labo サークル、野球サークル、Hdance サークル、筝曲サークル、ダンスサークル（Moondust ダンス）、バーベルサークル、Health&Sport(H&S メジャースポーツ全般)、軽音サークル、P.E.サークル（スポーツ）、We're fine!!（スポーツ）、Flex サークル（スポーツ）、バレーボールサークル愛好会

4.4　国家試験状況・就職状況

2022 年 2 月に受験した国家試験の合格率を表 4-2、2021 年度の就職率を表 4-3 に示す。

表 4-2　国家試験状況 2022 受験

	受験者数	合格者数	合格率（%）	全国合格率（%）
看護師	95	94	98.9	91.3
保健師	13	13	100.0	89.3
言語聴覚士	24	23	88.2	75.0

表 4-3　就職状況

	在籍者数	就職希望者数	内定者数	内定率（%）
看護学科	96	90	90	100.0
言語聴覚専攻科	25	23	23	100.0

５．委員会及び研究

5.1　委員会組織と委員

2021 年度の委員会組織と委員を表 5-1 に示す。なお、各委員会の業務などは自己点検・評価報告書に記載している。

表 5-1 委員会組織と名簿

	委員会名	審議・協議事項（規定）	組織構成（規定）	委員長・室長	副委員長 副室長	副学長 学部長	ＰＴ	ＯＴ	ＯＲＴ	ＮＳ	ＳＴ	事務系ほか	列席等	事務担当	開催頻度 曜日・時間
委員会															
1	管理運営委員会	（目的） 本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図る。 （審議事項）※学則 ①学則その他の重要な規則の制定、改廃 ②学部・学科の重要な組織の設置及び廃止 ③本学の重要な施設の設置及び廃止 ④学生の身分及びその厚生補導 ⑤その他本学の運営に関する重要事項	①学長 ②副学長 ③学部長 ④事務局長 ⑤学長が指名した副学部長 ⑥学科長 ⑦理事長が指名した常任理事及び理事 ⑧学長が必要と認めた職員（任意）	①今泉学長 ＜学長＞	丸山副学長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ③大池学部長	⑥柊学科長	⑥北島学科長	⑥古冨学科長 ⑧松藤副学科長	（大池学部長）	⑥平島専攻科長	⑦花岡副理事長 ⑦高木専務理事 ⑦渡邉常務理事 ④神塚事務局長 ⑥寺田事務部長	全課長	総務課	＜月1回＞ 第4水曜日 13：00
2	学部長・学科長会議	（目的） 各学科間の連絡調整を図り、本学の教学について円滑な運営を図る。 （審議事項）規定なし	①学長 ②副学長 ③学部長・副学部長 ④学科長・副学科長 ⑤学長が指名した者	①今泉学長 ＜学長＞	丸山副学長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ③大池学部長	④柊学科長	④北島学科長	④古冨学科長 ④松藤副学科長	（大池学部長）	④平島専攻科長	⑤寺田事務部長	全課長	総務課	＜都度＞ 第3水曜日 11：00
3	教育研究戦略会議	①教育研究に係る将来構想及び中長期計画の策定 ②教育研究に係るマネジメント体制の構築 ③教育研究に係る組織の設置及び再編 ④施設整備に係る中長期計画の策定及び施設の有効利用 ⑤その他教育研究に関する重要事項	①学長 ②副学長 ③学部長、副学部長 ④学科長、副学科長 ⑤専攻科長 ⑥教務委員長 ⑦事務局長 ⑧その他学長が必要と認めた者	①今泉学長 ＜学長＞	丸山副学長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ③大池学部長	④柊学科長	④⑥北島学科長	④古冨学科長 ④松藤副学科長	（大池学部長）	⑤平島専攻科長	⑦神塚事務局長 ⑧寺田事務部長	関係課長	総務課	＜都度＞ 第4水曜日 15：00
4	自己点検・評価委員会	1）自己点検・評価の基本方針及び自己点検・評価項目の策定 2）自己点検・評価の組織及び体制の整備 ③自己点検・評価の実施 ④各学部・学科等の自己点検・評価の総括及び検証 ⑤自己点検・評価報告書の作成及び公表 ⑥外部評価及び第三者評価 ⑦認証評価 ⑧その他自己点検・評価	①学長 ②副学長 ③学部長、副学部長 ④学科長、副学科長 ⑤専攻科長 ⑥理事長が指名した理事 ⑦事務部長 ⑧その他学長が必要と認めた者 ⑨学外の有識者若干名（任意）	①今泉学長 ＜学長指名＞	丸山副学長 ＜学長指名＞	②丸山副学長 ③大池学部長	④柊学科長	④北島学科長	④古冨学科長 ④松藤副学科長	⑥白石教授	⑤平島専攻科長	⑥渡邉常務理事 ⑦寺田事務部長	関係課長	総務課	＜都度＞ 第3水曜日 12：15
5	大学質保証推進委員会	①内部質保証の方針及び手続の策定 ②内部質保証のための体制整備 ③内部質保証システムの機能向上 ④その他内部質保証の推進	①学長 ②副学長 ③学部長、副学部長 ④学科長、副学科長 ⑤専攻科長 ⑥事務局長 ⑦その他学長が必要と認めた者	①今泉学長 ＜学長＞	丸山副学長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ③大池学部長	④柊学科長	④北島学科長	④古冨学科長 ④松藤副学科長	（大池学部長）	⑤平島専攻科長	⑥神塚事務局長 ⑦寺田事務部長	総務課長	総務課	＜都度＞ 第4水曜日 15：00
6	人事委員会	（任務） 理事長の諮問に応じ、 1）本学の教育職員（教授、准教授、講師（非常勤講師を除く）、助教及び助手）に関する以下の審査 ①任用、昇任及び解任 ②表彰及び懲戒 ③教育研究活動報告書 ④「教育職員の任期に関する規程」及び「契約教員規程」に定める契約の更新 2）教育職員の任用、昇任、定年、兼職等の勤務条件及び評価等の調査・検討、基準案等の作成	①学長 ②学長の指名する副学長、学部長、副学部長等 ③理事長の指名する学識経験者及び理事 ④事務局長 ⑤人事部長 ⑥その他委員会が必要と認める者	①今泉学長 ＜学長＞	＜　－　＞	②丸山副学長 ②大池学部長	－	－	－	－	－	③渡邉常務理事 ④神塚事務局長 ⑥寺田事務部長	総務課長	総務課	＜都度＞
7	ＦＤ・ＳＤ推進委員会	①ＦＤ・ＳＤ活動の企画・立案 ②ＦＤ・ＳＤ活動の実施 ③ＦＤ・ＳＤ活動の点検・評価 ④ＦＤ・ＳＤ活動の情報収集と提供 ⑤その他ＦＤ・ＳＤ活動の推進	①学長が指名する専任教員 ②理事長が推薦する者 ③総務課長、学務課長 ④その他学長が必要と認めた者	①吉冨学科長 （ORT） ＜学長指名＞	松田准教授 ＜学長指名＞	－	①小坂教授	①松田准教授	①吉冨学科長	①仙波准教授 ①高木講師 ①生駒助教	①吉永助教	③総務課長 ③学務課長	－	学務課 （総務課）	＜月1回＞ 第4水曜日 10：40
8	ハラスメント防止委員会	（目的） 本学における学生及び教職員に対するセクシャル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント並びにパワー・ハラスメントを防止する。 （審議事項） ①本学におけるハラスメントを防止するために必要な事項を立案し学長に答申 ②本学におけるハラスメントの疑いのある事例を学長に報告	学長が指名する専任の教員及び職員（10名以内）	松藤副学科長 （ORT） ＜学長指名＞	張永准教授 ＜学長指名＞	－	柊学科長	北島学科長	吉冨学科長 松藤副学科長	張永准教授	平島専攻科長	総務課長	－	総務課	＜月1回＞ 第4水曜日 10：00
9	危機管理委員会	①危機情報の収集・分析 ②危機管理体制の整備 ③危機管理マニュアル等の整備 ④職員、学生及び関係者への教育・訓練 ⑤危機管理対策の評価及び見直し ⑥その他危機管理に関し必要な事項	①学長 ②副学長 ③学部長、副学部長 ④学科長、副学科長 ⑤専攻科長 ⑥事務局長 ⑦事務部長 ⑧その他学長が必要と認めた者 ・総務課長 ・経理課長 ・管理課長 ・入試・広報課長 ・学務課長	①今泉学長 ＜学長＞	丸山副学長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ③大池学部長	④柊学科長	④北島学科長	④古冨学科長 ④松藤副学科長	（大池学部長）	⑤平島専攻科長	⑥神塚事務局長 ⑦寺田事務部長 ⑧全課長	関係事務職員	総務課	＜都度＞
9-1	危機管理委員会 防災対策部会	①防災対策に関すること ②防災設備の設置及び充実に関すること ③防災教育及び訓練に関すること ④防災に関する連絡調整に関すること ⑤その他防災対策に関すること	①学長が指名する専任教員 ②管理課長 ③その他学長が必要と認めた者	①丸山副学長 ＜学長指名＞	大池学部長 ＜学長指名＞	①丸山副学長 ①大池学部長	①藤田講師	①中園講師	①財津教授	⑤松永講師 ⑤梅木講師	①吉永助教	②管理課長	－	管理課	＜月1回＞ 第3水曜日 10：30
9-2	危機対策本部 新型コロナウイルス感染症対策チーム会議	※新型コロナウイルス感染症対策チーム会議 （審議事項） ①学生、教職員の罹患状況及び健康状況の把握 ②講義、実習（学内外）等における感染予防や拡大防止対策についての検討 ③感染予防・拡大防止対策の周知 ④罹患発生時の対応及び対応策の検討 ⑤休講、閉鎖、閉館等の検討及び決定 ⑥発生時、経過時、終息時の学生、教職員への対応指示と周知 ⑦新型コロナウイルス感染症に関する渉外対応 ⑧その他新型コロナウイルス感染症対策に関すること	①学長 ②副学長 ③学部長 ④学生委員会委員長 ⑤学科長 ⑥専攻科長 ⑦事務局長 ⑧事務部長 ⑨その他学長が必要と認める者	①今泉学長 ＜学長＞	北島学科長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ③大池学部長	⑤柊学科長	⑤北島学科長 ⑨多賀准教授	⑤古冨学科長	④川口教授	⑥平島専攻科長	⑦神塚事務局長 ⑧寺田事務部長 ⑨関係課長	－	総務課	＜都度＞ 第　水曜日 16：00
10	衛生委員会	①教職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策 ②教職員の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策 ③労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るもの ④その他教職員の健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項	①統括管理者（副学長） ②衛生管理者（総務課長） ③産業医 ④教職員のうち衛生に関し経験を有する者から理事長が指名した者 ⑤その他学長が必要と認めた者	①丸山副学長 ＜統括管理者＞	大池学部長 ＜学長指名＞	①丸山副学長 ⑤大池学部長	③田川教授 ⑤藤田講師	⑤中園講師	⑤財津教授	⑤松永講師 ⑤梅木講師	⑤吉永助教	②総務課長	－	総務課	＜月1回＞ （法定） 第3水曜日 10：00
11	設備・機器整備検討委員会	（目的） 本学における設備・機器の整備（仕様策定及び機種選定等）について協議を行うことにより、適切かつ効果的な設備・機器の導入、更新等を図る。	①学長が指名する専任教員 ②理事長が推薦する者 ③管理課長 ④その他学長が必要と認めた者	①丸山副学長 ＜学長指名＞	― ＜学長指名＞	①丸山副学長 ②大池学部長	①柊学科長	①北島学科長	①古冨学科長	①中野准教授	①平島専攻科長	③管理課長	－	管理課	＜都度＞

12	情報委員会	①教育・研究・事務に係る情報化推進戦略の企画・立案 ②情報ネットワーク及び情報システムの導入・構築 ③情報教育の推進 ④情報コンプライアンス ⑤その他情報化の推進	①学長が指名する専任教員 ②理事長が推薦する者 ③管理課長 ④その他学長が必要と認める者	①橋本准教授 （ORT） ＜学長指名＞	山之口講師 ＜学長指名＞	－	②山之口講師 ①吉塚講師	①松田准教授 ①吉田助教	①橋本准教授 ①田村講師	①石橋講師 ①猪狩助教	①豊嶋助教	③管理課長	－	管理課 （学務課）	＜都度＞
13	教務委員会	①教務に係る全学的な取組の企画・立案 ②教務に係る全学的な取組の実施 ③教務に係る連携及び連絡調整 ④その他教務	①学長が指名する専任教員 ②学務課長 ③その他学長が必要と認めた者	①北島学科長 （OT） ＜学長指名＞	大池学部長 ＜学長指名＞	①丸山副学長 ①大池学部長	①柊学科長 ①吉塚講師	①北島学科長 ①丹羽教授	①吉冨学科長 ①橋本准教授	①白石教授 ①橋業教授 ①前田講師	①平島専攻科長	②学務課長	－	学務課	＜月1回＞ 第2水曜日 13：00
13－1	教務委員会 カリキュラム部会	①カリキュラムの編成に関すること ②カリキュラム運営の方法並びにその改善及び支援に関すること ③その他カリキュラムに関すること	①教務委員長が指名する専任教員 ②学務課長 ③その他教務委員長が必要と認めた者	①丹羽教授 （OT）	＜　－　＞	－	①藤田講師	①丹羽教授 ①中園講師	①松藤准教授	①橋業教授 ①川口教授	①平島専攻科長	②学務課長	－	学務課	＜都度＞
14	臨地実習委員会	①実習の企画・立案及び運営 ②実習施設との連絡及び調整 ③実習に係る事前・事後指導 ④その他実習	①副学長 ②各学科及び専攻科の実習担当教員若干名 ③学長が指名する専任教員 ④理事長が推薦する者 ⑤学務課長 ⑥その他学長が必要と認めた者	①④丸山副学長 ＜副学長＞	白石教授 ＜学長指名＞	①④丸山副学長	③柊学科長 ②吉村講師	②丹羽教授 ②吉田助教	②潮井川助教	②白石教授 ②高木講師	②吉永助教	⑤学務課長	－	学務課	＜都度＞
15	国家試験等対策委員会	①国家試験等に係る取組の企画・立案 ②国家試験等に係る連携及び連絡調整 ③国家試験等に係る事前教育及び手続 ④その他国家試験等の対策	①学長が指名する専任教員 ②理事長が推薦する者 ③学務課長 ④その他学長が必要と認めた者	②大池学部長 ＜学長指名＞	豊嶋助教 ＜学長指名＞	②大池学部長	①吉塚講師 ①藤田講師	①多賀准教授 ①木村助教	①田村講師	①中野准教授 ①宇治田助教	①豊嶋助教	③学務課長	－	学務課	＜都度＞
16	学生委員会	①学生の活動 ②学生の生活支援（奨学金等） ③学生の表彰及び懲戒 ④学生の福利厚生 ⑤その他学生の支援	①学長が指名する専任教員 ②学務課長 ③その他学長が必要と認めた者	①川口教授 （NS） ＜学長指名＞	松田准教授 ＜学長指名＞	－	①光武講師 ①池田講師	①松田准教授 ①吉田助教	①佐々木講師 ①田村講師	①川口教授 ①木室講師 ①甲斐講師 ①岩倉助教	①豊嶋助教	②学務課長	－	学務課	＜月1回＞ 第2水曜日 15：00
17	奨学金委員会	※高木学園規定 （目的） 学校法人高木学園における各種の奨学金等の制度を一元的に管掌するとともに、適正な制度設計並びに運用を図る。 （審議事項） ①奨学金等の制度の設計、変更、廃止に関する審議 ②奨学金等の奨学生の選考案又は推薦案等の最終承認 ③奨学金等の制度の運営状況の整理 ④外部の奨学金、貸付金を含む大学等の学生の奨学金等の利用状況の掌握 ⑤他大学等の外部の奨学金等の制度の調査、分析 ⑥その他奨学金等に関する事項	※高木学園規定 ①理事長が指名する者３名以内 ②大学等の長が推薦する者３名以内 ③法人事務局長 ④大学等の学生支援に関する委員会の長及び事務担当者	②今泉学長 ＜理事長任命＞	丸山副学長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ②大池学部長	－	－	－	④川口教授	－	①花岡副理事長 ①高木専務理事 ①渡邉常務理事 ③神塚事務局長 ④学務課長	－	学務課	＜都度＞
18	学生募集委員会	①学生募集に係る企画・立案 ②学生募集の実施 ③その他学生募集	①理事長が指名する常務理事　１名 ②学長が指名する専任教員 ③理事長が推薦する者 ④専門的な専任職員（アドミッション・オフィサー） ⑤入試・広報課長 ⑥その他学長が必要と認めた者	①渡邉常務理事 ＜理事長が指名する常務理事＞ ・ 柊学科長 （PT）	大池学部長 ＜学長指名＞	②丸山副学長 ②大池学部長	②柊学科長 ②谷口助教	②佐野講師 ②木村助教	②橋本准教授 ②潮井川助教	②葛山講師 ②吉村助教	②池下助教	①渡邉常務理事 ③神塚事務局長 ④⑤入試・広報課長	－	入試・広報課	＜月1回＞ 第2水曜日 10：40
19	入学試験委員会	（目的） 入学試験を的確かつ円滑に実施するため、その制度、方法等を審議する。 （審議事項）規定なし	①理事長 ②学長 ③理事長が指名した者 ④学長が指名した者	④丸山副学長 ＜理事長指名＞	北島学科長 ＜　－　＞	④丸山副学長 ④大池学部長	④柊学科長 ④吉村講師	④北島学科長 ④多賀准教授	④吉冨学科長 ④松藤准教授	④橋業教授 ④梅木准教授	④平島専攻科長	①花岡副理事長 ③渡邉常務理事 ③神塚事務局長 ④寺田事務部長 ④入試・広報	－	入試・広報課	＜月1回＞ 第1水曜日 11：00
20	研究・産学連携推進委員会	①研究及び産学連携に係る推進戦略の企画・立案 ②学内研究費 ③科学研究費等の競争的研究資金の獲得 ④産学連携に係る事業の企画・立案及び実施 ⑤研究及び産学連携に関する情報の収集及び提供 ⑥研究及び産学連携に係る点検及び評価 ⑦その他研究及び産学連携の推進	①副学長 ②学長が指名する専任教員 ③学務課長 ④その他学長が必要と認めた者	①丸山副学長 ＜副学長＞	黒木准教授 ＜学長指名＞	①丸山副学長	②光武講師 ②山之口講師	②中園講師 ②佐野講師	②飛松教授	②黒木准教授 ②岩倉助教	②池下助教	③学務課長	－	学務課 研究・産学連携支援室	＜都度＞
21	研究倫理審査委員会	※旧倫理審査委員会 （目的） 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）等の医学研究に関する指針に基づき、倫理的観点及び科学的観点から、研究機関及び研究者等の利益相反に関する情報も含めて中立的かつ公正に審査を行う。 （審議事項）規定なし	※旧倫理審査委員会 ①医学・医療の専門家等の自然科学の有識者 ②倫理学・法律学の専門家等の人文・社会科学の有識者 ③一般の立場から意見を述べることができる者 ④委員会の設置者の所属機関に所属しない者（複数名） ⑤男女両性で構成 ⑥5名以上	①吉冨学科長 ＜学長指名＞	大池学部長 ＜　－　＞	①大池学部長	①田川教授	①小牧教授	①吉冨学科長 ②王助教	①黒木准教授	①平島専攻科長	③④上船津、調 （外部） ③学務課長	－	学務課 研究・産学連携支援室	＜都度＞
22	利益相反管理委員会	（目的） 利益相反を適正に管理する。 （審議事項） ①本学利益相反マネジメントポリシー及びこの規程の見直し並びに細則の制定・改廃 ②利益相反自己申告書 ③利益相反管理の対象者に対する審査、通知、指導又は勧告 ④公的研究費申請における利益相反 ⑤利益相反についての情報公開 ⑥その他利益相反に関する重要事項	①学長が指名する専任教員 ②総務課長、学務課長 ③その他学長が必要と認めた者 ④外部委員	①大池学部長 ＜学長指名＞	田川教授 ＜　－　＞	①大池学部長	①田川教授	①尾籠教授	①吉冨学科長	①黒木准教授	①平島専攻科長	④上船津、調 （外部） ②学務課長 ②総務課長	－	学務課 研究・産学連携支援室	＜都度＞
23	図書委員会	①図書館運営の基本方針 ②図書、逐次刊行物及び視聴覚資料の選定及び購入 ③図書、逐次刊行物及び視聴覚資料の予算及び配分 ④図書館の利用 ⑤その他図書館の運営等	①図書館長 ②学科長 ③専攻科長 ④事務局長 ⑤その他学長が必要と認めた者	①森図書館長 （ORT） ＜図書館長＞	大池学部長 ＜学長指名＞	⑤丸山副学長 ⑤大池学部長	②柊学科長	②北島学科長	②吉冨学科長	⑤梅木講師	③平島専攻科長	④神塚事務局長 ⑤総務課長	－	総務課 学術情報室	＜都度＞
24	教授会（代表者会議）	（学長に意見を述べるのみ） ①学生の入学、卒業及び課程の修了 ②学位の授与 ③教育研究に関する重要な事項	※学則 ①学長 ②副学長 ③学部長 ④副学部長 ⑤学科長 ⑥学部の専任教授 ⑦学長が必要と認める専任教員 ※規程 （代表者会議） ①副学長 ②学部長及び学科長等の意見を聴いて学長が指名した者	①今泉学長 ＜学長、学長指名の副学長又は学部長＞	丸山副学長 ＜　－　＞	②丸山副学長 ③大池学部長	⑤柊学科長 ⑥田川教授	⑤北島学科長 ⑥丹羽教授	⑤吉冨学科長 ⑦松藤副学科長	⑥白石教授 ⑥橋業教授 ⑥川口教授	⑤平島専攻科長	－	寺田事務部長 関係課長	総務課	＜都度＞ 第3水曜日 12：15
25	学科会	（目的） 学科内の教学に関する事項について、連絡調整及び協議する。													

推進室等															
1	ＩＲ推進室	（業務） ①本学の運営の基礎となる情報の収集・整理・分析及び管理 ②情報の分析に基づく経営判断及び意思決定等の支援に関する事項 ③その他	①学長が指名する専任教員 ②総務課長 ③ＩＲ推進担当職員 ④その他学長が必要と認めた者	①山之口講師 （PT） ＜学長指名＞	北島学科長 ＜学長指名＞	－	①山之口講師	①北島学科長	①堀川教授	①橋葉教授 ①山口准教授	①豊嶋助教	②総務課長 ③木野主任	－	総務課	－
2	広報室	（業務） ①広報戦略の基本方針案の策定 ②広報活動の企画・実施 ③機関誌等発行のための情報収集及び編集活動 ④その他	①学長が指名する専任教員 ②入試・広報課長 ③広報担当職員 ④外部有識者 ⑤その他学長が必要と認めた者	①丸山副学長 ＜学長指名＞	吉塚講師 ＜学長指名＞	①丸山副学長	①吉塚講師	①木村助教	①瀬井川助教	①甲斐講師 ①猪狩助教	①池下助教	⑤神塚事務局長 ②入試・広報課長 ④中主任 ③水流主任	－	入試・広報課	－
3	地域連携推進室	（業務） ①地域連携の推進に関する基本方針案の策定及び実施 ②地域貢献に係る調査・研究 ③生涯学習に関する事業の企画・実施 ④その他	①学長が指名する専任教員 ②総務課長 ③地域連携推進担当職員 ④その他学長が必要を認めた者	①平島専攻科長 （ST） ＜学長指名＞	仙波講師 ＜学長指名＞	－	①光武講師 ①池田講師	①佐野講師 ①木村助教	①橋本准教授	①仙波准教授 ①岩木講師 ①吉村助教	①平島専攻科長	②総務課長 ③森井主幹	－	総務課	－
4	学生相談室	（業務） ①学生相談に関する基本方針案の策定 ②学生相談の実施及び調整 ③関係諸機関との連携及び協力 ④その他	①学生委員会委員長 ②学長が指名する専任教員 ③臨床心理士 ④学務課長 ⑤学生相談担当職員 ⑥その他学長が必要と認めた者	②小牧教授 （OT） ＜学長指名＞	川口教授 ＜学長指名＞	－	②吉村講師	②小牧教授 ②松田准教授	②佐々木講師	①川口教授 ②彌永准教授 ②岩木講師	②吉永助教	③臨床心理士 ④学務課長 ⑤岩本係長 ⑤遠藤職員	－	学務課	－
5	ボランティア推進室	（業務） ①ボランティア活動振興の基本方針案の策定 ②ボランティアに関する情報の収集及び提供 ③関係諸機関との連絡調整 ④その他	①学長が指名する専任教員 ②学務課長 ③ボランティア担当職員 ④その他学長が必要と認めた者	①平島専攻科長 （ST） ＜学長指名＞	多賀准教授 ＜学長指名＞	－	①小坂教授 ①谷口助教	①多賀准教授 ①佐野講師	①王助教	①仙波准教授 ①岩木講師 ①吉村助教	①平島専攻科長	②学務課長 ③田光職員	－	学務課	－
6	キャリア支援室	（業務） ①キャリア教育及び就職支援の基本方針案の策定 ②就職に関する情報の収集及び提供 ③就職支援の実施 ④その他	①学長が指名する専任教員 ②学務課長 ③キャリア支援担当職員 ④その他学長が必要と認めた者	①梅本准教授 （NS） ＜学長指名＞	吉永助教 ＜学長指名＞	－	①谷口助教	①吉田助教	①田村講師	①梅本准教授 ①生駒助教	①吉永助教	②学務課長 ③田光職員 ③山野職員	－	学務課	－
7	国際交流室	（業務） ①国際交流の推進に関する基本方針案の策定 ②学生交流・留学生支援の実施 ③海外研修プログラムの企画・実施 ④その他	①学長が指名する専任教員 ②学務課長 ③国際交流担当職員 ④その他学長が必要と認めた者	①菅原教授 （OT） ＜学長指名＞	田川教授 ＜学長指名＞	－	①田川教授 ①池田講師	①菅原教授 ①多賀准教授	①佐々木講師 ①サミ助教	①森山准教授 ①宇治田助教	①豊嶋助教	②学務課長 ③松浦副主任 ③遠藤職員	－	学務課国際室	－

5.2　Good Teaching 賞、FD・SD 研修、研究費受給

Good teaching 賞を表 5-2、文部科学省科学研究費受給者一覧を表 5-3、受託研究費・共同研究・奨学寄附金を表 5-4、助成等 FD/SD 研修（外部の研修含む）を表 5-3、受託研究費等の人数を表 5-5、学内研究助成表 5-6 に示す。

表 5-2　2021 年度 Good Teaching 賞受賞者

最優秀賞	理学療法学科・教授	田川　辰也
優秀賞	視能訓練学科・准教授	橋本　勇希
優秀賞	理学療法学科・講師	光武　翼

表 5-3　文部科学省科学研究費　受給者一覧

	氏名	所属	職名	課題番号	種類	基金助成金/補助金	代表者/分担者	研究期間	研究テーマ
平成31年度（令和元年度）	森　望	ORT	教授	17K07111	基盤研究(C)	基金	代表者	平成29～31年度	神経特異的ホスホチロシンシグナルアダプターShcB, ShcCの分子機能解析
	平島ユイ子	ST	教授	18K02798	基盤研究(C)	基金	代表者	平成30年度～33年度	自閉症を伴う難聴児のコミュニケーション改善に向けた訂正方略と情動認知の活用
	北島栄二	OT	教授	18K12171	基盤研究(C)	基金	代表者	平成30年度～32年度	シルバーカーから歩行車への変更が要介護高齢者の身体活動量に及ぼす効果
令和2年度	光武　翼	PT	講師	20H04059	基盤研究(B)	補助金	代表者	令和2年度～5年度	ノイズ前庭電気刺激の姿勢安定性に関する多角的研究
	佐野伸之	OT	講師	20K19301	若手研究	基金	代表者	令和2年度～5年度	達成動機の本質に基づく客観的評価法の開発と介入プログラムの作成
	橋本勇希	ORT	准教授	20K19698	若手研究	基金	代表者	令和2年度～4年度	脈絡膜循環動態と形態を用いた新たな他覚的ストレス評価法の開発
	藤田大輔	PT	講師	20K19358	若手研究	基金	代表者	令和2年度～4年度	慢性心不全患者における労作時呼吸困感に関連する新しい因子の同定
	飛松省三	ORT	教授	20K12573	基盤研究(C)	基金	代表者	令和2年度～4年度	視覚はよみがえるのか？弱視と視覚系神経ネットワークの可塑性
	吉塚　久記	PT	講師	20K23307	研究スタート支援	基金	代表者	令和2年度～3年度	踵腓靭帯に個人レベルの機能差は存在するのか？：解剖体を用いた機能解剖学的検討
令和3年度	白石　裕子	NS	教授	21H03238	基盤研究(B)	補助金	代表者	令和3年度～ 令和6年度	精神科訪問看護師を対象としたストレングス活用尺度とプログラムの開発
	大池　美也子	NS	教授	21K10556	基盤研究(C)	基金	代表者	令和3年度～ 令和5年度	看護教員が教育経験を省察しながら育つ「教えることを学ぶ」プログラムの開発と検証
	川口　賀津子	NS	准教授	21K10831	基盤研究(C)	基金	代表者	令和3年度～ 令和5年度	プラチナナースの就労継続を可能にする働き方モデルの開発
	松藤　佳名子	ORT	准教授	21K11281	基盤研究(C)	基金	代表者	令和3年度～ 令和5年度	キメラ視覚画像刺激を用いた半側空間無視におけるプリズム順応効果の検証
	岩木　美穂	NS	講師	21K17440	若手研究	基金	代表者	令和3年度～ 令和5年度	難病療養者の在宅看護に必要なコンピテンシーモデルの作成
	吉塚　久記	PT	講師	21K17541	若手研究	基金	代表者	令和3年度～ 令和5年度	長腓骨筋の機能向上に最適な運動課題の開発：機能解剖学的知見を基盤とした筋電図解析
	萩原　錮一	NS	准教授	２1K09001	基盤研究(C)	基金	代表者	令和3年度～ 令和6年度	前庭覚による島葉賦活-新たな疼痛緩和戦略

表 5-4　学内研究助成　受給者一覧

申請書No.	研究種目	所属１	職位	研究代表者	研究課題名
1	一般研究Ａ（一般）	理学療法学科	講　師	池田　拓郎	一側肢不活動による歩行動態の可逆性の定量的評価
3	一般研究Ａ（一般）	視能訓練学科	講　師	佐々木　信	回折格子（レンチキュラーレンズ）を用いた自然視に近い立体視検査表の開発
5	一般研究Ａ（一般）	理学療法学科	助　教	谷口　隆憲	変形性膝関節症のMedial meniscus extrusion（内側半月板逸脱）と疼痛の関連性
6	一般研究Ｂ（奨励）	視能訓練学科	助　教	潮井川修一	視機能に対するeスポーツの影響について
7	臨床研究	作業療法学科	講　師	佐野　伸之	活動・参加を促すリハビリテーション支援に関する身体活動量の客観的指標と自己評価指標の関連
8	臨床研究	看護学科	准教授	仙波　洋子	糖尿病患者の日常生活と血糖変動の関連
9	一般研究Ｂ（奨励）	理学療法学科	講　師	藤田　大輔	迷走神経活動を賦活させる経皮的耳電気刺激装置の開発
10	教育手法	看護学科	講　師	石橋　曜子	多角的視座から考える看護実践のための教材開発
11	地域調査	看護学科	講　師	甲斐　恭子	福岡市における小児在宅看護の実態と看護師教育に関する課題
12	一般研究Ａ（一般）	作業療法学科	講　師	中薗　寿人	視覚ワーキングメモリにおける神経振動の役割
13	一般研究Ａ（一般）	視能訓練学科	准教授	橋本　勇希	月経周期における脈絡膜形態および循環動態の検討
14	一般研究Ａ（一般）	看護学科	助　教	生駒　千恵	COVID-19パンデミック下における看護師の蓄積疲労とストレス対処に関する研究
15	一般研究Ｂ（奨励）	看護学科	助　教	阿南　沙織	COVID-19対策によるマスク装着下での小児看護に対する看護師の意識と実践
16	教育手法	看護学科	講　師	前田和香子	男子看護学生の母性看護学を学ぶ意義：男性看護師へのインタビューから

表 5-5　受託研究費、共同研究、奨学寄附金、助成等

研究助成の種類	人数
受託研究費	２名
共同研究費	２名
奨学金寄附	２名
助成	５名

表 5-6　FD・SD 等の講習会セミナー

日時	タイトル	講師	主担当
FIUHW　FDSD委員会主開催			
2021年8月24日	人権と差別	IUHW坂本弁護士	FD委員会
2021年9月14日	学生の特性を踏まえた効果的な実習指導に関する研修	各学科	FD委員会
2022年2月17日	オープンな教育リソースについて	山之口稔隆（FIUHW-PT）	FD委員会
2022年3月23日	Good teaching賞表彰＋ミニ講義	各受賞者	FD委員会
FIUHW委員会との合同FD研修会			
2021年5月28日	研究倫理講習	小牧　元(FIUHW-OT)	研究・産学推進室
2021年5月12日	コンプライアンス研修	飛松省三（FIUHW-ORT）	研究・産学推進室
2021年6月9日	公的研究説明会	事務スタッフ	研究・産学推進室
2021年7月30日	メンタル講習会	岩田圭子（相談員） 田川辰也(FIUHW-PT)	安全委員会
2021年8月18日	科研費申請講習会	光武　翼(FIUHW-PT)	研究産学連携推進委員
2021年8月18日	福岡国際医療福祉大学セミナー	各学科	
FIUHW認証評価FD研修会			
2021年11月30日	大学認証評価の概要	西田裕介(IUHW-PT)	IUHW成田
2021年12月7日	中期目標・中期計画と内部質保証の機能性	西田裕介(IUHW-PT)	IUHW成田
2022年1月18日	PDCAサイクルに基づく学修成果の点検・評価結果FB	西田裕介(IUHW-PT)	IUHW成田
IUHW大学院教育管理分野合同FD研修会　医学教育セミナー			
2021年5月20日	看護教育とカリキュラム改正	大池美也子（FIUHW-NS）	大学院教育管理
2021年5月27日	3Pとカリキュラム改正	大池美也子（FIUHW-NS）	大学院教育管理
2021年6月3日	3Pとアセスメントポリシー	大池美也子（FIUHW-NS）	大学院教育管理
2021年6月10日	学力の三要素：向上を目指す授業設計	吉塚久記（FIUHW-PT）	大学院教育管理
2021年6月17日	PT・OTの離職とエンプロイアビリティ	神山真美	大学院教育管理
2021年6月24日	リーダーシップについて１	高島　恵	大学院教育管理
2021年7月1日	リーダーシップについて２	高島　恵	大学院教育管理
2021年7月8日	エンプロイアビリティ（雇用される能力）その2	神山真美	大学院教育管理
2021年11月11日	近年の学習スタイルの変容　アクティブラーニング	寺田佳孝	東京経済大学
2021年11月18日	**教育目標論**	寺田佳孝	東京経済大学
2021年11月25日	学修を動機づける工夫	寺田佳孝	東京経済大学
2021年12月2日	PDCAサイクルを活用した組織的な授業改善	鶴田利郎	大学院教育管理
2021年12月9日	PDCAサイクルによる教育改善を実現するための学校シス	鶴田利郎	大学院教育管理
IUHW合同研修会			
2021年8月23日	個人情報保護法	斎藤主幹	IUHW
2021年8月24日	防犯対策	斎藤部長・澤村課長	IUHW
2021年8月31日	私学助成概要	永田部長	IUHW
2021年9月2日	FD教育プログラム	三浦大学院長・他	IUHW
2021年9月2日	国際業務基礎知識	佐野・藤原主事	IUHW
2021年9月3日	教務課業務の基礎知識	小峰部長	IUHW
2021年9月6日	新型コロナウィルス最新事情と感染対策	藤田烈准教授	IUHW
2022年2月3日	安全保障輸出管理	伊藤正実	群馬大学

外部遠隔FDセミナー			
2020年5月13日	教学マネジメントの推進	中井俊樹（愛媛大学）	ビズアップ総研
2021年5月28日	学生募集online研修		
2021年6月4日	大学広報セミナー	朝日新聞　中村正史	
2021年6月16日	高等教育政策セミナー	東京都立産業技術大学院	BizWebinar
2021年6月18日	大学経営を巡る課題と展望－ガバナンスに関する有識者会議の報告を受けて	私大協	日本私立大学協会附
2021年6月28日	医療・栄養系学生への充実した学習指導の在り方	藤田医大　三吉友美子	KKナガセ
2021年7月6日	学修成果・教育成果の可視化	岡山理大　秦敬冶	
2021年7月9日	広報セミナー		
2021年7月13日	地域オンラインセミナー	九州地区大学	
2021年7月15日	研究支援体制強化セミナー－研究支援の最新トレンド2021		Educe
2021年7月18日	著作権セミナー		文化庁、福岡県教育
2021年7月27日	RPAセミナー	新潟大学	NWORK Solution
2021年8月5日	入学前教育	OT	東進
2021年9月10日	FDSDインダストリアル		
2021年9月13日	質保証オンライン		
2021年9月14日	FD研修会		
2021年10月14日	新しい時代の大学経営・運営における事務職員の在り方を考える	塩田邦成 大阪電気通信大	株式会社エデュース
2021年11月25日	海外安全対策セミナー	外務省	
2022年2月14日	福岡海外教育セミナー	鈴木将人	EFエデュケーション

６．国際関係

6.1　留学生・研修生　　2022.3.31 現在

1）留学生

学部	学科・専攻科	学年	国籍	性別
医療学部	作業療法学科	2 年	中国	男性
看護学部	看護学科	2 年	韓国	女性
		3 年	中国	女性
		4 年	中国	女性
言語聴覚専攻科		1 年	中国	女性

2）研修生受入　無

6.2　国際学術活動

1）講演：学術大会、研修会など

(1)T. IKeda, M Ikeda. Effects of short-term inactivity for triceps surae muscle hardness. The 33rd International Meeting of Physical Therapy Science & 7th Korean Society of Integrative Medicine. Tochigi, Japan.2021.11.

(2)Komaki G, Nishimura H, Tojo M, Maeda M: Etiological factors related to the eating disorders of Japanese early adolescent girls. - A two-year observational, cohort follow-up study -: German Congress for Psychosomatic Medicine and Psychotherapy. 16-18, June 2021(Hybrid)

(3) S.Tobimatsu:Feb.1, 2021MEG in Epilepsy - Established Tool or Research Topic?Asian-Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (AOCCN2021) 大規模シンポジストKuala Lumpurハイブリッド

(4)Kosei Nojiri, Hirofumi Ohtsuka, Daichi Arai and Etsuo Horikawa, CDIO Approach based Educational Project of Sensor Fusion for Assistive Technology, No.239, Proc. of 4th International Symposium on Advances in Technology Education, August 2021, Turku, Finland

(5)YOSHIE TAKAKI, TOSHIMITSU TOYOHARA. Support for Prevention of Incontinence Associated Dermatitis (IAD). 9th Asia-Pacific Enterostomal Therapy Nurses Association (APETNA) Congress. TOKYO (Web) .3rd July

(6)Kumiko Kotake, Kazuyo Iwanaga, Kaori Haba, Mami Kurita, Ichiro Ota, Yoshimi Suzukamo, Ichiro Kai, Aya Takahashi, Yoko Ishibashi, Yoriko Hara, Hiromi Taniguchi, Hirokazu Uemura, Tadasi Kitahara. The Preoperative Life Process of Pharyngeal and Laryngeal Cancer Patients Undergoing Total Laryngectomy. 2021 ; The 32nd International Nursing Research Virtual. 2021. 7.22

(7)MARUYAMA H:がんリハビリテーションの国際実態　中国私立病院全国リハビリ大会
腫瘍リハビリ分科会　2021 年 10 月 15 日　中国上海　Web

(8)MARUYAMA H:健康および予防のための臨床運動学.　第４回腫瘍リハビリテーションフォーラム
2021-12-4　北京　Hyflex

(9)MARUYAMA H:医療・看護関連および留学生の現状.　中国浙江省静岡市福井局浙江樹人学院.
2021 年中日医療・介護における人材育成交流活動　2021-12-22

6.3　他の国際活動

1）国際学術大会、セミナー開催

2021 リハビリ国際交流セミナー

日時：2021 年 10 月 30 日

場所：福岡 IUHW　Hyflex

第33回国際学術大会
日時：2021年11月27，28日（土日）
場所：大田原　韓国、中国、モンゴル　Web　福岡IUHW

第12回アジアリハビリ科学学会学術大会
日時：2021年12月4日（土）
場所: 北京　三環腫瘍病院　Web、福岡IUHW
参加者：3600名

第34回国際学術大会、第13回アジアリハビリ科学学会学術大会　共同開催
日時：2022年3月19日（土）
場所：国際医療福祉大学（大田原）、ベトナム、中国
大会長：谷口敬道（IUHW作業療法学科）

2）シンガポール・ナンヤンポリテクニック看護学科（NYP）との学生間交流
日時：2022年2021年2月26日～3月2日
場所：シンガポール、FUHW、IUHW大田原・成田看護学科キャンパス

6.4　海外保健福祉事情

COVID-19 の関係で遠隔による、海外保健福祉事情の講義、交流とともに、看護学科では、在留外国人による講義やインタビューなどが行われた。

７．地域貢献

7.1　地域公開講座

地域社会のために、公開講座及びセミナーを開催している（表 7-1)。

表 7-1　2021 年度地域公開講座

内容	講師	対象	日時
１）公開講座			
①高齢者の体の健康 ・整形外科で取り扱う疾患と治療、ロコモティブシンドロームについて ・放置すると怖いメタボリックシンドローム	副島修 田川辰也	地域	2021年6月5日
②高齢者の頭の健康 ・寿命遺伝子と脳 ・高齢者の運動と健康、足の老化	森望 丸山仁司	地域	2021年7月17日
③日ごろからできる生活習慣病の予防、ストレスを軽減し免疫力を高める方法	楠葉洋子・仙波洋子	地域	2021年11月6日
④感染予防対策、手洗いと皮膚の保護	高木良重・猪狩明日香	地域	2021年11月27日
２）ST専攻科主催　地域公開教室			
1.嚥下障害の予防と訓練	吉永明史	地域	2021年6月26日
2.認知症の理解とかかわり方	池下博紀	地域	2021年7月11日
3.高齢者の難聴と補聴器	平島ユイ子	地域	2021年8月21日
4.認知症の予防とかかわり方	吉永明史	地域	2021年9月25日
5.吃音をもつ子供たちへの支援	豊嶋明子	地域	2021年11月13日
6.言語の指導方法	平島ユイ子	地域	2021年12月4日

7.2　ボランティア

2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの活動が中止となった。

８．教員と業績（業績は2021年1月1日より2021年12月31日まで）

表8-1　学科長等と学年担任

学科	学科長		1年生担任	2年生担任	3年生担任	4年生担任
理学療法学科	学科長	柊　幸伸	池田拓郎 藤田大輔	谷口隆憲 吉村美香	光武翼 吉塚久紀	
作業療法学科	学科長	北島栄二	中薗寿人	佐野伸之	松田隆治	
視能訓練学会	学科長	吉冨健志	橋本勇希	佐々木信	松藤佳名子	
看護学科	学部長	大池美也子	学科全教員がアドバイザーを担当			
言語聴覚専攻科	専攻科長	平島ユイ子	豊嶋明子	吉永明史		

8.1　学長・副学長

1)　今泉　勉　学長、教授

学歴：九州大学医学部卒業、医学博士

職歴：米国バージニア州リッチモンド医科大学　Assistant Prof.

九州大学循環器内科講師

久留米大学医学部心臓血管内科主任教授

国際医療福祉大学副大学院長

福岡国際医療福祉学院学院長

福岡国際医療福祉大学学長

資格：医師（日本、米国）

研究内容：循環器内科学、高血圧学、循環調節

社会的業績

役員歴：日本循環器学会理事、日本高血圧学会理事

2)丸山仁司　副学長、教授

学歴：行岡リハビリ専門学校

東京理科大学工学部

東京理科大学大学院　工学研究科　修士課程

職歴：東京都老人医療センター

東京都板橋ナーシングホーム

東京都老人総合研究所

埼玉医科大学短期大学

国際医療福祉大学理学療法学科学科長・教授、副学長、副大学院長

福岡国際医療福祉大学副学長

資格：理学療法士、専門療法士（内部障害、基礎、教育管理）

修士（工学）博士（医学）

原著

1)Bin Zhou, Shuangyan Shao, , Huilin Liu, , Rong Jing, , Ting Yu, , Ko Onoda, Hitoshi Maruyama: Reliability of the infrared motion-time acquisition system for each motion segment in the timed up-and-go test.　J Phys Ther Sci 33:580-584,2021.

2)Yohei Sawaya, Masahiro Ishizaka,, Tamaki Hirose, Takahiro Shiba, Ko Onoda,　Akira Kubo, Hitoshi Maruyama, Tomohiko Urano：Minimal detectable change in handgrip strength and usual and maximum gait speed scores in community-dwelling Japanese older adults requiring long-term care/support. Geriatric Nursing 2021,42:1184-1189.

3)Ming Huo, Desheng Li, Liquan Yin, Shinichiro Murakami, Qiuchen Huang, Hitoshi Maruyama: The immediate effects of neuromuscular joint facilitation on chronic low back pain in young and elderly people. J Phys Ther Sci 33:924-927,2021.

4)Zimin Wang, Yuetong Zhu, Dan Han, Qiuchen Huang, Hitoshi Maruyama, Ko Onoda:Effect of hip external rotator muscle contraction on pelvic floor muscle function and the piriformis. Int Urogynecol J. 2021 29(11). doi: 10.1007/s00192-021-05046-9. Online ahead of print.

総説

1)丸山仁司：理学療法における留学と国際交流　理学療法ジャーナル　2021, 55 (9)：1002-1005.

著書

1)丸山仁司、堀本ゆかり編著：リハビリテーション専門職のための教育学.　医歯薬出版2021年7月.

講演

1)運動学教育の過去、現在、未来　　乃木坂スクール　2021-9-15

2)がんリハビリテーションの国際実態　中国私立病院全国リハビリ大会　腫瘍リハビリ分科会　2021年10月15日　中国上海　　Web発表　36003名参加

3)国際活動と留学生の現状　2021リハビリ国際交流セミナー　2021年10月30日　福岡IUHW　Hyflex

4)Hitoshi MARUYAMA:Issues of Rehabilitation for Aged in Japan　～　Society and Sarcopenia The 33rd International Meeting of Physical Therapy Science　& 7th Korean Society of Integrative Medicine　　Ohtawara　2021.11.27　Hyflex

5)Hitoshi MARUYAMA： 健康および予防のための臨床運動学.　第12回アジアリハビリテーション科学学会＆第４回腫瘍リハビリテーションフォーラム　2021-12-4　北京　Hyflex

6)医療・看護関連および留学生の現状　中国浙江省静岡市福井局浙江樹人学院.　2021 年中日医療・介護における人材育成交流活動　　2021-12-22

学会等発表

1)Materna Weili, Ko Onoda, Hitoshi Maruyama:Long-term effects of exercise therapy using group guidance on the toes for middle-aged and elderly people. 11th international meeting of Asian Rehabilitation Science. Fukuoka Web 2021.3.6. JARC 4(suppl,1):11,2021.

2)山口育子、内田学、丸山仁司：高齢者の吸気筋力の向上が運動耐容能に及ぼす効果　理学療法学47(suppl.1):98, 2021

3)神尾博代、丸山仁司：健常若年女性における頭部低位臥床位が骨盤底筋群の収縮へ与える影響について　The effect of head-down bed rest on the contraction of the pelvic floor muscles in healthy young women　体力医学会

4) Hiroyo KAMIO, Hitoshi MARUYAMA:Effect of changing body position using a tilt table on pelvic floor muscle elevation　ICS　2021.　On line

社会的活動

役員歴・公的委員

社）理学療法科学学会理事長、 学）国際医療福祉大学　評議員、理事

日本保健科学学会　理事、評議員、編集委員

講演会（一般を対象）

高齢者の健康　高齢者の健康と運動　2021.7.17　地域公開講座　FIUHW

所属学会

日本リハビリテーション医学会、理学療法科学学会、日本保健科学学会、日本理学療法士協会

8.2　理学療法学科

教員：柊　幸伸（教授・学科長）

小坂克子（教授：解剖学）、田川辰也（教授：内科）、山之口稔隆（講師：医療情報）、
池田拓郎（講師）、光武　翼（講師）、吉村美香（講師）、吉塚久記（講師）、
藤田大輔（講師）、谷口隆憲（助教）

1）柊　幸伸　学科長、教授

学歴：国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科保健医療学専攻理学療法学分野博士後期課程　修了

職歴：シャープシステムプロダクト（株）
海老名総合病院リハビリテーション科
東都リハビリテーション学院　理学療法学科
埼玉医療福祉専門学校　理学療法学科
国際医療福祉大学　小田原保健医療学部　理学療法学科
国際医療福祉大学　保健医療学部　理学療法学科
了徳寺大学　健康科学部　理学療法学科
福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科

資格：理学療法士、介護支援専門員、宅地建物取引士、
修士、博士（保健医療学）

原著

1）小林薫、柊幸伸、屋嘉比章紘・他：「医療・福祉系大学新入生における一次救命処置の認識，経験に関する実態と傷病者へ実施する自信についての調査」，国際医療福祉大学学会誌 Vol.26(2) p.75-81

社会的活動

全国リハビリテーション学校協会「第34回教育研究大会・教員研修会」大会長　2021年10月23-24日

所属職能団体

日本理学療法士協会、日本体力医学会、理学療法科学学会（評議員）、リハビリテーション学術センター（理事）、国際エクササイズサイエンス（理事）・他

2）小坂克子　教授

学歴：東京医科歯科大学歯学部卒業　東京医科歯科大学大学院修了

職歴：九州大学医学部　助手および講師（解剖学）
九州大学医療短期大学部　助教授
九州大学医学部保健学科　教授
九州大学大学院医学研究院保健学部門　医用量子線科学分野　教授
国際医療福祉大学　福岡保健医療学部　医学検査学科　教授
福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科　教授

資格：歯科医師　博士（歯学）

原著

1）吉塚久記，佐野伸之，光武　翼，浅見豊子，小坂克子：リハビリテーション専門職の学部教育における3D解剖教育システムの有用性に関する質的研究．理学療法科学，2021；36(4)：579-585,

学会発表

1）吉塚久記，佐野伸之，光武　翼，浅見豊子，小坂克子：多視点3D解剖教育システムを用いた実習の有用性：Steps for coding and theorizationによる質的研究．第58回日本リハビリテーション医学会学術集会，国立京都国際会館、WEB開催，2021.06.10-13

３）田川辰也　教授

学歴：九州大学医学部医学科卒業

職歴：九州大学医学部附属病院　医員（研修医、循環器内科）
山口赤十字綜合病院内科　医師
九州大学医学部附属病院　医員（冠動脈疾患治療部）
済生会福岡総合病院内科　医師
日本学術振興会　特別研究員（九州大学医学部循環器内科で研究）
日本学術振興会　特別研究員としてオーストラリア・シドニー大学生理学に留学
オーストラリア・シドニー大学生理学　リサーチアシスタント
北九州市立医療センター　循環器科部長
九州大学医学部附属病院　医員（循環器内科）
琉球大学医学部臨床薬理学講座・　教授
琉球大学大学院医学研究科薬物作用制御学分野（臨床薬理学）　助教授
西南女学院大学　保健福祉学部　栄養学科　教授
福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科・教授

資格：医師免許　医学博士（九州大学）
日本内科学会認定総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医、
日本高血圧学会認定高血圧専門医・評議員、日本医師会認定産業医、
日本医師会認定健康スポーツ医、心臓リハビリテーション指導士

講演

1）田川辰也：放置すると怖いメタボリックシンドローム、福岡国際医療福祉大学公開講座、福岡国際医療福祉大学、2021 年 6 月 5 日

2）田川辰也：来るべき心不全パンデミックにおけるリハビリテーションの役割、第 3 回リハビリテーション科学研究会、福岡国際医療福祉大学、2021 年 7 月 24 日

学会発表

1）山田菜樹、磯﨑陽子、福井絵美、東谷亜美、角みどり、中村清子、田川辰也、早川祐輔、宮原茂、徳松誠：人間ドックを契機に発見された腎盂癌の一例、日本総合健診医学会　第 49 回大会、WEB 開催、2021 年 2 月 19 日～3 月 4 日

2）清水李沙、和崎美穂、磯﨑陽子、福男エミ、東谷亜美、田川辰也：当センター臨床検査技師が取り組む新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止対策についての報告、第 62 回日本人間ドック学会学術大会、WEB 開催、2021 年 9 月 10 日～24 日

社会的活動

地域活動への参加･協力

地方自治体の事業への協力：福岡市ニコニコペース健康教室に協力

所属職能団体

日本医師会、福岡県医師会、福岡市医師会に所属
九州大学医学部同窓会（同窓会名簿編集委員）

４）山之口稔隆　講師

学歴：福岡大学大学院医学研究科　社会医学専攻　博士課程後期　修了

職歴：福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科

資格：博士（医学）（福岡大学）
日本医療情報学会認定　上級医療情報技師
日本医療情報学会認定　上級医療情報技師育成指導者

原著

1）Abe M, Fujii H, Funakoshi S, Satoh A, Kawazoe M, Maeda T, Tada K, Yokota S, Yamanokuchi T, Yoshimura C, Mimata R, Takahashi K, Ito K, Yasuno T, Kuga T, Mukoubara S, Akiyoshi K, Kawanami D, Masutani K, Arima H. Comparison of Body Mass Index and Waist Circumference in the Prediction of Diabetes: A Retrospective Longitudinal Study. Diabetes Ther. 2021;12:2663-2676.

2) Maeda T, Yokota S, Nishi T, Funakoshi S, Tsuji M, Satoh A, Abe M, Kawazoe M, Yoshimura C, Tada K, Takahashi K, Ito K, Yasuno T, Yamanokuchi T, Iwanaga K, Morinaga A, Maki K, Ueno T, Masutani K, Mukoubara T, Arima H. Association between pulse pressure and progression of chronic kidney disease.2021;11:23275.

学会発表

1) 阿部真紀子、舩越駿介、佐藤敦、川添美紀、前田俊樹、吉村力、石田晋太郎、森永朗子、辻雅善、山之口稔隆、有馬久富. BMI・腹囲と糖尿病発症リスクの関連における男女別の検討: ISSA-CKD 研究.第80回日本公衆衛生学会総会.2021

2) 森永朗子、岩永和代、牧香里、上野珠未、河野和美、舩越駿介、山之口稔隆、辻雅善、阿部真紀子、佐藤敦、川添美紀、前田俊樹、吉村力、有馬久富. 日本人一般住民における血清ALT 値と糖尿病発症との関連：ISSA-CKD 研究. 第80回日本公衆衛生学会総会.2021

社会的活動

地域活動への参加･協力

福岡大学大学院公衆衛生学講座では、福岡県（2020年度は、主に那珂川市）で健康診断を受ける40歳以上の男女に研究説明を行い、同意取得できた方を対象として疫学調査を実施し、動脈硬化性疾患の危険・予防因子を明らかにし、超高齢化社会の日本に必要とされる動脈硬化性疾患の一次予防に関する知見を得ることが期待できる。福岡大学医学研究科研究員として本事業に参加し、那珂川市健診サポート及び情報収集､情報分析等の研究活動を行い､論文執筆に向けた準備を行っている。

所属職能団体

データサイエンティスト協会

5）吉塚久記　講師

学歴：福岡国際医療福祉学院　理学療法学科

佐賀大学大学院　医学系研究科　修士課程医科学専攻　修了

佐賀大学大学院　医学系研究科　博士課程医科学専攻　修了

職歴：特定医療法人弘医会福岡鳥飼病院　理学療法士

専門学校柳川リハビリテーション学院　理学療法学科　専任教員

佐賀大学　医学部　生体構造機能学講座解剖学・人類学分野　客員研究員（継続中）

福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科

国際医療福祉大学大学院　特別講師（継続中）

資格：理学療法士、認定理学療法士（ひとを対象とした基礎領域，学校教育）

修士（医科学）、博士（医学）

原著

1) Yoshizuka H, Sato T, Murakami J, Mitsutake T, Hiromatsu M: Short-term changes in radiographic joint space width after jiggling exercise as conservative treatment for hip osteoarthritis: A retrospective case series of nine patients. PLoS One. 2021; 16(6): e0253643

2) Asami S, Inamoto Y, Yoshizuka H, Saitoh E, Shibata S, Aihara K, Kagaya H, Kobayashi M, Asami T, Kuraoka A, Yamashita Y: Effect of respiration phases on the morphology of the laryngopharyngeal cavity: an investigation using 320-row area detector computed tomography. Fukuoka Acta Medica. 2021; 112(3): 187-198

3) 吉塚久記，佐野伸之，光武　翼，浅見豊子，小坂克子：リハビリテーション専門職の学部教育おける3D解剖教育システムの有用性に関する質的研究. 理学療法科学 2021; 36(4): 579-585

講演

1) 吉塚久記：学力三要素を目指す授業設計：運動学を例として. 第4回医学教育セミナー，Web，2021年6月10日

学会発表

1) 吉塚久記，佐野伸之，光武　翼，浅見豊子，小坂克子：多視点3D解剖教育システムを用いた実習の有用性：Steps for coding and theorizationによる質的研究. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会，京都（Web）2021年6月10～13日

2) 浅見紗衣, 稲本陽子, 吉塚久記, 才藤栄一, 柴田斉子, 粟飯原けい子, 加賀谷斉, 小林正尚, 浅見豊子, 倉岡晃夫, 山下佳雄：咽頭喉頭腔の形態に対する呼吸時相の影響：320 列面検出器型 CT を用いて. 第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都 (Web), 2021 年 6 月 10～13 日

3) 吉塚久記, 柴田健太郎, 倉岡晃夫：長・短腓骨筋腱は緊張した踵腓靭帯によりリフトアップされる：解剖体を用いた機能解析. 第 5 回日本リハビリテーション医学会秋季学術大会, 愛知 (Web), 2021 年 11 月 12～14 日

4) 吉塚久記, 佐藤貴宣, 村上淳也, 光武　翼：変形性股関節症患者に対する短期集中的なジグリング治療に関する研究. 第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会 2021 年 11 月 14 日

研究費取得

1) 吉塚久記：長腓骨筋の機能向上に最適な運動課題の開発：機能解剖学的知見を基盤とした筋電図解析. 科研費（若手研究）代表, 2021-2024, 新規

2) 倉岡晃夫, 吉塚久記：感圧測定システムによる踵腓靭帯の機能解析～靭帯損傷のテーラーメイド予防を目指して. 科研費（基盤研究 C）分担, 2021-2024, 新規

3) 吉塚久記:踵腓靭帯に個人レベルの機能差は存在するのか？:解剖体を用いた機能解剖学的検討. 科研費（研究活動スタート支援）代表, 2020-2022, 継続

社会的活動

所属職能団体

福岡県理学療法士会（会員、演題査読委員）、日本理学療法士協会

公的機関

佐賀大学医学部　生体構造機能学講座　客員研究員

6）光武　翼　講師

学歴：医療福祉専門学校緑生館

佐賀大学大学院　医学系研究科　修士課程　修士（医科学）

佐賀大学大学院　医学系研究科　博士課程　博士（医学）早期修了

職歴：白石共立病院　リハビリテーション部

佐賀大学　医学部　客員研究員

福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科

広島大学大学院　人間社会科学研究科　研究員

資格：理学療法士、認定理学療法士（基礎）、専門理学療法士（神経）

博士（医学）

原著

1) Mitsutake T, Imura T, Hori T, Sakamoto M, Tanaka R. Effects of Combining Online Anodal Transcranial Direct Current Stimulation and Gait Training in Stroke Patients: A Systematic Review and Meta-Analysis. Front Hum Neurosci 10;15:782305, 2021

2) Mitsutake T, Nakazono H, Yoshizuka H, Taniguchi T, Sakamoto M. Increased Trailing Limb Angle is Associated with Regular and Stable Trunk Movements in Patients with Hemiplegia. J Stroke Cerebrovasc Dis 13;31(2):106242, 2021

3) Imura T, Mitsutake T, Iwamoto Y, Tanaka R. A systematic review of the usefulness of magnetic resonance imaging in predicting the gait ability of stroke patients. Sci Rep 12;11(1):14338, 2021

4) Yoshizuka H, Sato T, Murakami J, Mitsutake T, Hiromatsu M. Short-term changes in radiographic joint space width after jiggling exercise as conservative treatment for hip osteoarthritis: A retrospective case series of nine patients. PLoS One 22;16(6):e0253643, 2021

5) Mitsutake T, Sakamoto M, Horikawa E. Comparing activated brain regions between noisy and conventional galvanic vestibular stimulation using functional magnetic resonance imaging. NeuroReport. 5;32(7):583-587, 2021

6) Nagae M, Mitsutake T, Sakamoto M. Skincare and quality of life among older residents living in Japanese nursing homes. Jour Nursing Home Res. 7:9-12, 2021

7) Mitsutake T, Sakamoto M, Nakazono H, Horikawa E. The effects of combining transcranial direct current stimulation and gait training with functional electrical stimulation on trunk acceleration during walking in patients with subacute stroke. J Stroke Cerebrovasc Dis. 30(4): 105635, 2021

8) 吉塚久記，佐野伸之，光武 翼，浅見豊子，小坂克子．リハビリテーション専門職の学部教育における 3D 解剖教育システムの有用性に関する質的研究．理学療法科学 36(4):579-585, 2021

講演

1) 光武 翼：感覚・運動機能障害に対する電気刺激が姿勢制御に及ぼす影響．日本前庭理学療法研究会．Open conference．2021 年 11 月 6 日 Web 開催

2) 光武 翼：姿勢制御における感覚戦略．第 22 回サテライトカンファレンス山梨．日本神経理学療法学会．2021 年 10 月 3 日 Web 開催

3) 光武 翼：電気刺激療法の基礎知識とエビデンス．ウォークエイドオンラインセミナー．帝人ファーマ．2021 年 9 月 18 日 Web 開催

4) 光武 翼：姿勢制御と感覚戦略．リハテックリンクス．2021 年 7 月 2 日 Web 開催

5) 光武 翼：装具療法の基礎と運動療法．福岡県理学療法士協会 福岡支部研修会．2021 年 2 月 5 日 Web 開催

学会発表

1) 小野晃路，西元淳司，猪村剛史，光武 翼，井上 優，田中繁治，田中 亮．ポールを使用した歩行トレーニングが歩行能力に及ぼす効果―システマティックレビューとメタアナリシス―．第 10 回日本支援工学理学療法学会 2021 年 12 月 3，4 日 Web 開催

2) 吉塚久記，佐藤貴宣，村上淳也，光武　翼：変形性股関節症患者に対する短期集中的なジグリング治療に関する研究．第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会 2021 年 11 月 14 日 Web 開催

3) 吉塚久記，佐野伸之，光武　翼，浅見豊子，小坂克子：多視点 3D 解剖教育システムを用いた実習の有用性：Steps for coding and theorization による質的研究．第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会 2021 年 6 月 10～13 日 Web 開催

4) 光武 翼，中薗寿人，堀川悦夫．脳卒中片麻痺患者に対する経頭蓋直流電気刺激と傾斜センサ内蔵電気刺激の併用が歩行規則性に及ぼす影響．日本理学療法士協会 第 1 回物理療法部門研究会 2021 年 2 月 20 日 Web 開催（最優秀賞受賞）

研究費取得

1) 光武 翼（研究代表者）：脳卒中片麻痺における tDCS と FES の同時介入による新規治療法の開発．武田科学振興財団 医学系研究継続助成．2021 年 8 月 - 2024 年 5 月

2) 光武 翼（研究代表者）：ノイズ前庭電気刺激の姿勢安定性に関する多角的研究．日本学術振興会：科学研究費助成事業 基盤研究(B)．2020 年 4 月 - 2024 年 3 月

社会的活動

外部の人への啓発的講演：理学療法協会主催の研修会で講演活動を行った。

所属職能団体

日本理学療法士協会（福岡市二地区 運営委員）

公的機関

佐賀大学 医学部 非常勤講師、佐賀大学 医学部 客員研究員

広島大学 大学院 人間社会科学研究科 研究員

7）吉村美香　講師

学歴：国際医療福祉大学大学院

職歴：医療法人せいわ 聖和記念病院

志摩老健センター・パキス

福岡国際医療福祉学院　理学療法学科

福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科

資格：理学療法士、介護支援専門員

博士（保健医療学）

社会的活動
地域活動への参加･協力
地方自治体の事業への協力：宗像市地域ケア会議へ助言者としての参加
その他：北九州市介護ロボットマスター育成講習会講師
所属職能団体
日本理学療法士協会、福岡県理学療法士会（社会局職能部　部長）
社会的活動に対する表彰等
功労賞（福岡県理学療法士会）：福岡県理学療法士会発展への貢献・功績

8）藤田大輔　講師
学歴：聖隷クリストファー大学
聖隷クリストファー大学大学院　博士(リハビリテーション科学)
職歴：ケアハウス第2アドナイ館
磐田市立総合病院
健康科学大学　理学療法学科
資格：理学療法士、博士（リハビリテーション科学)
原著
1) Yusuke K, Daisuke F, Naoya M, Yousuke K, Yusuke N: Association between pulmonary oxygen uptake on-kinetics and acute cardiovascular responses to resistance exercise in patients with coronary artery disease: a preliminary study. J Phys Ther Sci. 33; 8: 606-611.
2) Daisuke F, Yusuke K: The reliability of VO2 kinetics during a 6-minute walking test is influenced by walk speed. J Phys Ther Sci.33; 12: 876-879.
講演
1) 藤田大輔：心不全患者における運動昇圧反射の異常、第3回リハビリテーション科学研究会、福岡県、2021年7月24日
学会発表
1) 藤田大輔, 田川辰也: 下腿静脈の拡張を目的とした大腿部への圧迫が心拍リズムの変動に及ぼす影響、第26回日本基礎理学療法学会学術大会、Web開催、2021年10月23日
研究費取得
科研費　若手研究「慢性心不全患者における呼吸困難感に関連する新しい因子の同定」
2020－2022年度
社会的活動
地域活動への参加･協力
地域ボランティア活動：室見公民館でのサロン活動の研究に携わる。
地方自治体の事業への協力：山梨県昭和町の介護予防に関する研究に携わる
所属職能団体
福岡県理学療法士会(福岡県理学療法士養成校連絡協議会　委員)

9）池田拓郎　講師
学歴：医療福祉専門学校緑生館
佛教大学
国際医療福祉大学大学院　医療福祉学研究科
職歴：医療法人白壽会
医療法人清香会
学校法人福岡保健学院
国際医療福祉大学　福岡保健医療学部　理学療法学科
国際医療福祉大学大学院　医療福祉学研究科（兼務)
福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科
資格：理学療法士
修士（保健医療学)、博士（保健医療学)

原著

1) K Matsuda, T Ariie, R Okoba, T Ikeda, Y Takano. Investigation of Factors Associated with Low Back Pain in Young Adults. J.Asi.Reha.Sci.2021,4(1):1-5.

2) K Ogata, H Nakazono, T Ikeda, S Oka, Y Goto, S Tobimatsu. After-Effects of Intermittent Theta-Burst Stimulation Are Differentially and Phase-Dependently Suppressed by α- and β-Frequency Transcranial Alternating Current Stimulation. Front Hum Neurosci.2021,12;15:750329.

講演

1) 池田 拓郎. ヒトを対象とした関節不活動研究の実際と臨床応用の可能性. 第2回リハビリテーション科学研究会, 福岡県福岡市, 2021年4月.

学会発表

1) 成枝 朱香, 後藤 和彦, 杉 剛直, 松田 吉隆, 後藤 聡, 池田 拓郎,山崎貴男, 飛松省三, 後藤 純信. 奥行運動刺激時視覚誘発電位の特徴解析システム. 2021 年日本生体医工学会九州支部学術講演会. WEB開催 (鹿児島大学) ,2021年3月.

2) 緒方 勝也, 池田 拓郎, 岡 真一郎, 後藤 純信. 第11回国際医療福祉大学学会学術大会,千葉県成田市,2021年11月.

3) 松田 憲亮, 大古場 良太, 有家 尚志, 池田 拓郎, 高野 吉朗. 地域在住高齢者の性別による生活空間関連要因の違いに関する研究. 第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会,千葉県成田市,2021年11月.

4) T IKeda, M Ikeda. Effects of short-term inactivity for triceps surae muscle hardness. The 33rd International Meeting of Physical Therapy Science & 7th Korean Society of Integrative Medicine. Tochigi, Japan.2021.11.

5) 池田 拓郎, 後藤 和彦, 岡 真一郎, 杉 剛直, 緒方 勝也, 山﨑 貴男, 後藤 純信.運動視刺激による覚性事象関連電位の変化：刺激速度による検討.第51回日本臨床神経生理学会学術大会, 宮城県仙台市,2021年12月.

6) 緒方 勝也, 池田 拓郎, 岡 真一郎, 後藤 純信.側頭部rTMS中の脳波周波数分析：左右半球差の検討.第51回日本臨床神経生理学会学術大会, 宮城県仙台市,2021年12月.

7) 吉田 修一, 堀本 ゆかり, 池田 拓郎. 対面授業と比較したオンライン授業に対する学生及び教員の意識調査. 日本リハビリテーション教育学会. 高知県土佐市, 2021年11月.

8) 森 政人, 堀本 ゆかり, 池田 拓郎. 臨床実習における指導者の臨床能力と学生の満足度の関係性：理学療法における臨床能力評価尺度(CEPT)を用いた検討. 日本リハビリテーション教育学会. 高知県土佐市, 2021年11月.

研究費取得

1)【継続】日本学術振興会科学研究費助成事業若手研究. 加齢による立体運動視の脳内神経ネットワークの変化と転倒との因果関係の検討 (研究課題／領域番号：19K20156)

2)【新規】令和3年度学内研究費. 一側肢不活動による歩行動態の可逆性の定量的評価.

社会的活動

所属職能団体

日本理学療法士協会

9）谷口隆憲　助教

学歴：福岡国際医療福祉学院　理学療法学科　卒業
国際医療福祉大学大学院　医療福祉研究科　修士課程　修了
国際医療福祉大学大学院　医療福祉研究科　博士課程　修了

職歴：社会医療法人財団白十字会　白十字病院　リハビリテーション科
医療法人正明会　諸岡整形外科病院　リハビリテーション部
医療法人育優会　さくらクリニック　リハビリテーション科
福岡国際医療福祉学院　理学療法学科
福岡国際医療福祉大学　医療学部　理学療法学科

資格：理学療法士、認定理学療法士 (運動器)、修士 (保健医療学)、博士 (保健医療学)

講演

1）谷口隆憲：慣性センサと表面筋電計を併用した変形性膝関節症患者の動作解析．第4回リハビリテーション科学研究会，2021.

学会発表

1）谷口隆憲，田中創：変形性膝関節症患者におけるStiff knee gaitの運動学的解析．第9回日本運動器理学療法学会学術大会，2021.

2）谷口隆憲，田中創，今井亮太，壬生彰，西上智彦：階段降段時に痛みや運動恐怖を訴える粗面下骨切り術術後患者の運動学的評価．第25回日本ペインリハビリテーション学会学術大会，2021.

3）佐野伸之，谷口隆憲，中薗寿人：リストバンド型アクティビティトラッカーによる上肢活動の測定精度の検討．第55回日本作業療法学会，2021.

4）田中 創，西上智彦，今井亮太，谷口隆憲，壬生彰，牛田享宏：運動器の術後遷延性疼痛 ～病態から治療・予防戦略まで～ 人工膝関節置換術後．第25回日本ペインリハビリテーション学会学術大会，2021.

5）村上真由美，藤木あかね，相良亜木子，谷口隆憲，遠山岳詩，西坂麻里：心不全患者における栄養摂取状況と身体機能評価の検討．第85回日本循環器学会学術集会，2021.

研究費取得

学内研究費：一般研究「変形性膝関節症のMedial meniscus extrusion（内側半月板逸脱）と疼痛の関連性.」

社会的活動

その他：臨床実習指導者講習会　世話人、全国リハ学校協会 九州・沖縄ブロック会議

所属職能団体

公益社団法人福岡県理学療法士会（福岡支部2地区　運営委員）

一般社団法人　日本運動器理学療法学会（評議員）

8.3　医療学部　作業療法学科

教員：北島栄二（教授・学科長）

菅原洋子（教授）、丹羽敦（教授）、小牧　元（教授：心療内科）、新居見和彦（教授：小児科）、副島修（教授：整形外科）、尾籠晃司（教授：精神医学）、松田隆治（准教授）、多賀誠（准教授）中薗寿人（講師）、佐野伸之（講師）、木村まり子（助教）、吉田亮平（助教）

1）北島栄二　学科長、教授

学歴：長崎大学医療技術短期大学部作業療法学科

佐賀大学大学院医学系研究科　医科学専攻修士課程修士

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻博士

職歴：医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院 作業療法科　主任

㈳緑生館 医療福祉専門学校緑生館 作業療法学科　専任教員

佐賀県長寿社会振興財団 佐賀県介護実習普及センター 専門相談員

厚生労働省 老健局振興課　福祉用具・住宅改修指導官

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 作業療法学科　准教授　教授

長崎大学 産学官連携戦略本部　准教授

文科省地域イノベーション戦略支援プログラム招聘研究員

福岡国際医療福祉大学 医療学部 作業療法学科　教授　（現在に至る）

資格：作業療法士，医科学修士，博士（医学）

原著：

1)Daisuke Tashiro, Masami Nakahara, Eiji Kitajima, Katsuko Hida：Respiratory function and comfort levels in three different defecatory simulation postures in the elderly. Indian journal of gastroenterology ： official journal of the Indian Society of Gastroenterology 40(2) 131-136 2021年4月

講演：
1)九州作業療法学会2021in 熊本　6月20日（日）　シンポジウム2
「介護ロボットと作業療法の響創」オーガナイザー
2)第2回福祉用具専門相談員研究大会　6月21日（月）　座長
「福祉用具活用の更なる深化　～根拠に基づいた福祉用具の活用～　」
研究費取得
1)文部科学省　基盤研究(C)
「シルバーカーから歩行車への変更が要介護高齢者の身体活動量に及ぼす効果」
社会的活動
地域活動への参加･協力
佐賀県在宅生活サポートセンター（介護実習普及センター）の職員指導
所属職能団体
（一社）日本作業療法士協会：制度対策部福祉用具対策委員会

2）菅原洋子　教授
学歴：国際医療福祉大学大学院　医療福祉学研究科博士課程修了
職歴：東京都福祉センター
国立療養所病院
国際医療福祉大学
福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科
資格：作業療法士、修士（リハビリテーション学)、博士（保健医療学)
社会的活動
所属職能団体
作業療法学会（学会論文審査委員)

3）小牧　元　教授
学歴：米国Salem Senior High School卒業
鹿児島大学医学部医学科卒業
職歴：天理よろづ相談所病院内科系レジデント
九州大学医学部心療内科
米国Tulane大学医学部研究員
九州大学医学部心療内科講師
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所　心身医学研究部長
国際医療福祉大学　福岡保健医療学部
福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所名誉所員
資格：医学博士（九州大学)、医師免許、日本内科学会内科認定医、日本内分泌学会内分泌代謝科（内科)専門医、日本医師会認定産業医、日本心身医学会心身医療(内科)専門医、日本心療内科学会心療内科専門医、World Health Organization Composite International Diagnostic Interview WHO-CIDI3.0、認定証取得、日本心身医学会・日本心療内科学会合同心療内科専門医認定、心療内科専門医、「精神科専門医ではない精神科医のための除外要件（ニ）に関わる認定証」取得
原著
1)Otani M, Hiraide M, Horie T, Mitsui T, Yoshida T, Takamiya S, Sakuta R, Usami M, Komaki G, Yoshiuchi K. Int J Eat Disord. 2021 Feb;54(2):203-211. doi: 10.1002/eat.23452. Epub 2020 Dec 23. (I.F. 4.861) 査読あり
総説
1)小牧　元：巻頭言　日本摂食障害学会雑誌の創刊にあたって　日本摂食障害学会雑誌1(1)：1-2、2021
2)野崎剛弘、小牧　元：肥満とやせの臨床．摂食障害や肥満症の治療におけるマインドフルネス．Medical Practice 38(7):1031-1036, 2021

3)野崎剛弘、小牧　元: 肥満とやせの臨床. 摂食障害や肥満症の治療におけるマインドフルネス. Medical Practice 38(7):1031-1036, 2021

著書:

1)野崎剛弘、小牧　元、須藤信行: 講座精神疾患の臨床4. 身体的苦痛症候群, 解離症候群, 心身症, 食行動症または摂食症群. 第3章心身症 内分泌・代謝系の心身症. 久住一郎編. pp233-249, 中山書店, 東京, 2021

学会発表

1)Komaki G, Nishimura H, Tojo M, Maeda M: Etiological factors related to the eating disorders of Japanese early adolescent girls. - A two-year observational, cohort follow-up study -: German Congress for Psychosomatic Medicine and Psychotherapy. 16-18, June 2021(Hybrid)

2)横山寛明、須藤信行、野崎剛弘、西原智恵、澤本良子、小牧　元. 女性肥満症患者におけるアクチグラフを用いて評価した睡眠時間と尿酸値との関連および減量治療による変化. 第332回日本内科学会九州地方会. 2021.1.9, 福岡　(ハイブリッド)

3)横山寛明、野崎剛弘、澤本良子、西原智恵、小牧　元、須藤信行. 女性肥満症患者におけるアクチグラフを用いた睡眠指標と尿酸値の関係. 第332回日本内科学会九州地方会. 2021.1.9, 福岡　(ハイブリッド)

4)野崎剛弘、横山寛明、西原智恵、小牧　元、須藤信行. 認知行動療法により高度肥満症患者の食行動異常は改善するか？（JSTO優秀演題セッション）. 第41回日本肥満学会・第38回日本肥満省治療学会学術集会 2021.3.20-21, 富山 (Web)

5)横山寛明、野崎剛弘、西原智恵、澤本良子、小牧　元、須藤信行. 肥満症患者のパーソナリティ特性とむちゃ食いの程度および高度肥満との関連性について. 第 60 回日本心身医学会九州地方会 2021.1.31, 福岡 (Web)

6)野崎剛弘、横山寛明、西原智恵、小牧　元、須藤信行. 認知行動療法により. 第62回日本心身医学会総会. 2021.7.10-11, 高松　(ハイブリッド)

7)野崎剛弘、横山寛明、西原智恵、小牧　元、須藤信行. 認知行動療法により. 第62回日本心身医学会総会. 2021.7.10-11, 高松　(ハイブリッド)

8)横山寛明、野崎剛弘、西原智恵、澤本良子、小牧　元、須藤信行. 女性肥満症患者の減量治療に伴うボディイメージへの不満足感改善に関連する因子の検討. 第 62 回日本心身医学会総会（ハイブリッド）. 2021.7.10-11, 高松

9)西原智恵、野崎剛弘、澤本良子、小牧　元、須藤信行自閉症スペクトラム特性を有する肥満症3例の減量経過と心理特性の検討. 第28回西日本肥満研究会（ハイブリッド）. 2021.7.17-18, 岡山

10)野崎剛弘、小山憲一郎、小牧　元、須藤信行. 肥満症患者に対する認知行動療法と睡眠（ワークショップ）. 第46回日本睡眠学会定期学術総会（ハイブリッド）. 2021.9.23-24, 福岡

4）尾籠晃司　教授

学歴：九州大学医学部　卒業

九州大学大学院医学研究科博士課程　修了

職歴：九州大学病院精神科神経科

福岡大学病院精神神経科

福岡大学医学部精神医学教室

福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科

資格：医学博士（九州大学)、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医

原著

1)西尾 美登里, 坂梨 左織, 木村 裕美, 久木原 博子, 古賀 佳代子, 林 大悟, 大上 渉, 内田 直樹, 尾籠 晃司　高齢の男性における介護経験による救援力　バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌23(2):2021.12 p.17-22

5）丹羽　敦　教授

学歴：熊本リハビリテーション学院　作業療法学科

北九州大学　外国語学部　英米学科　卒業　学士（外国語）

国際医療福祉大学大学院　医療福祉学研究科　保健医療専攻修了

職歴：慈恵曽根病院リハビリテーション科作業療法室長・地域医療サービス部兼務）

専門学校柳川リハビリテーション学院　作業療法学科

国際医療福祉大学　保健学部　作業療法学科

福岡国際医療福祉学院　作業療法学科

国際医療福祉大学　福岡リハビリテーション学部　講師、准教授

広島都市学園大学　健康科学部　作業療法学　教授、専攻長、大学院教授

福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科　教授

JICA（国際協力事業団）「中国リハビリテーション専門職養成プロジェクト」作業療法専門家リーダー中国リハビリテーション研究センター（北京市）（2001 年 8 月　平成 14 年 5 月まで（平成 2006 年 6 月平成 18 年 8 月まで）

資格：作業療法士、介護支援専門員（ケアマネージャー）、福祉用具プランナー、認定作業療法士

修士（保健医療学）

著書

1）大庭潤平（編著）、丹羽敦、早坂友成、岩谷清一、稲富宏之、柴田八衣子、高畑慎一他「作業療法管理学入門 第 2 版」、2021 年 3 年 12 月 10 日、医歯薬出版

2）石川齊、古川宏（編）、丹羽敦、寺山久美子、荻原喜茂、加藤雅子、齋藤さわ子、宮前珠子、村田和香吉川ひろみ他.　「図解作業療法技術ガイド災 4 版」、2021 年 2 月 5 日、文光堂

講演

1）「地域で他職種と協働する力を育成する基礎教育カリキュラム」、「ICF にみる多職種と協働する力を育成するリハ専門職の基礎教育.日本在宅ケア学会　学術集会　シンポジウム４　　2021 年 8 月 29 日　WEB 開催

学会発表

1）長谷麻由・丹羽　敦、「新型コロナウイルス感染症禍における地域在住高齢者の健康増進活動とフレイル傾向との関連～年齢階級別と性差による分析～」、第 55 回日本作業療法学会、Web、2021 年 9 月 10 日

社会的活動

所属職能団体

日本作業療法士協会（教育部　養成教育委員会　副委員長）、福岡県作業療法協会（副会長）

6）松田隆治　准教授

学歴：熊本リハビリテーション学院作業療法学科

明星大学人文学部心理・教育学科

日本大学大学院総合社会情報研究科人間科学専攻　修士課程修了

九州保健福祉大学大学院保健科学研究科　博士課程単位取得後退学

職歴：厚生年金事業振興団　湯布院厚生年金病院

吉備国際大学　保健科学部　作業療法学科　助手

九州保健福祉大学　保健科学部　作業療法学科　講師

熊本総合医療リハビリテーション学院　作業療法学科　講師

九州栄養福祉大学　リハビリテーション学部　作業療法学科　講師

帝京大学　福岡医療技術学部　作業療法学科　准教授

福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科　准教授

資格：作業療法士、修士（人間科学）

社会的活動
地域活動への参加･協力
地域ケア会議（大牟田市手鎌地区）
所属職能団体
日本作業療法士協会、福岡県作業療法協会

7）多賀　誠　准教授
学歴：労働福祉事業団　九州リハビリテーション大学校　作業療法学科
国際医療福祉大学大学院　保健医療学専攻　作業療法学分野　修了
職歴：医療法人 慈光会 若久病院
精神障害者地域生活援助事業所グループホーム若久荘
精神障害者社会適応訓練事業所ソシエテわかひさ
柳川リハビリテーション学院　作業療法学科
JICA（国際協力機構）より専門家として中国北京へ派遣
福岡国際医療福祉学院　作業療法学科
国際医療福祉大学福岡保健医療学部講師、准教授・大学院准教授
福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科　准教授
資格：作業療法士、修士（保健医療学）
社会的活動：
役員歴：福岡・佐賀精神科OT懇話会（現福岡県精神科病院協会OT・PT会）筑後ブロック長
福岡ブロック運営委員、 福岡・佐賀精神科OT懇話会
福岡県作業療法協会　規約委員、将来構想委員、福岡市体育振興会
日本作業療法士協会　教育部　生涯教育運営委員
九州作業療法士学校連絡協議会OT啓発プロジェクト実行委員、新人教員教育実行委員
特定非営利活動法人とびら　理事

8）中薗寿人　講師
学歴：メディカルカレッジ青照館
九州大学大学院医学系学府 医科学専攻修了　医科学修士
九州大学大学院医学系学府 医学専攻修了　博士（医学）
職歴：熊本機能病院 総合リハビリテーション部
麻生介護サービス アップルハート訪問看護ステーション福岡西
九州大学大学院医学系学府 ティーチング・リサーチ　アシスタント
日本学術振興会特別研究員（DC1）、（PD）
福西会南病院 リハビリテーション部
福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科
資格：作業療法士、修士（医科学）、博士（医学）
原著
1)Ogata K, Nakazono H, Ikeda T, Oka S, Goto Y, Tobimatsu S. After-Effects of Intermittent Theta-Burst Stimulation Are Differentially and Phase-Dependently Suppressed by α - and β -Frequency Transcranial Alternating Current Stimulation. Frontiers in Human Neuroscience 15: 750329, 2021.
2)Nakazono H, Ogata K, Takeda A, Yamada E, Oka S, Tobimatsu S. A specific phase of transcranial alternating current stimulation at the β frequency boosts repetitive paired-pulse TMS-induced plasticity. Scientific Reports 11: 13179, 2021.
3)Mitsutake T, Sakamoto M, Nakazono H, Horikawa E. The Effects of Combining Transcranial Direct Current Stimulation and Gait Training with Functional Electrical Stimulation on Trunk Acceleration During Walking in Patients with Subacute Stroke. Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 30: 105635, 2021.

4)Tanaka M, Yamada E, Maekawa T, Ogata K, Takamiya N, Nakazono H, Tobimatsu S. Gender differences in subliminal affective face priming: A high-density ERP study. Brain and Behavior 00: e02060, 2021.

学会発表

1)中薗寿人，緒方勝也，竹田昂典，山田絵美，岡真一郎，飛松省三．経頭蓋交流電気刺激（tACS）を用いた新しい脳可塑性誘導法の開発 ： 続報．第51回日本臨床神経生理学会．2021年12月．口述，仙台国際センター（宮城県）．

2)佐野伸之，谷口隆憲，中薗寿人．リストバンド型アクティビティトラッカーによる上肢活動の測定精度の検討．第55回日本作業療法学会．2021年9月．web開催．

研究費取得

1)中薗寿人．経頭蓋交流電気刺激を用いた新しい脳可塑性誘導法の開発．日本学術振興会 科研費 若手研究 2018- 2021年度．（代表）

2)光武翼．ノイズ前庭電気刺激の姿勢安定性に関する多角的研究．日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 2020- 2023年度．（分担）

3)松藤佳名子．キメラ視覚画像刺激を用いた半側空間無視におけるプリズム順応効果の検証．日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2021- 2023年度．（分担）

4)緒方勝也．脳状態依存刺激を活用した手指分離運動の神経基盤解明とリハビリへの応用．日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2021- 2024年度．（分担）

9）佐野伸之　講師

学歴：吉備国際大学保健科学部作業療法学科　卒業

吉備国際大学大学院保健科学研究科保健科学専攻修士課程、博士課程　修了

職歴：一般財団法人津山慈風会津山中央病院

株式会社アール・ケア

吉備国際大学　保健医療福祉学部　作業療法学科　ティーチングアシスタント

神戸医療福祉大学　社会福祉学科　非常勤講師

吉備国際大学　保健医療福祉学部　作業療法学科　講師

国際医療福祉大学　福岡保健医療学部　作業療法学科　講師

福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科　講師

資格：作業療法士、認定作業療法士、作業療法士実習指導者、修士（保健学）、博士（保健学）

原著

1)澤田紘太朗，佐野伸之，岩田美幸：通所介護施設において園芸活動が QOL に与える影響-農村型施設と通常型施設での検討-．2020 年度兵庫県作業療法士会機関誌：11-21，2021

2)松本健太郎，佐野伸之：リハビリテーションに関する達成動機尺度に基づいた自己評定法と面接法を併用した人工股関節全置換術後の患者に対する介入．作業療法 40(3)329-335，2021

3)吉塚久記，佐野伸之，光武翼，浅見豊子，小坂克子：リハビリテーション専門職の学部教育における 3D 解剖教育システムの有用性に関する質的研究．理学療法科学 36(4)579-585，2021

4)Nakamura-Thomas H, Sano N, Maciver D: Determinants of school attendance in elementary school students in Japan: a structural equation model. Child and Adolescent Psychiatry and Mental Health 15(38), 2021

報告書

1)南征吾，小林隆司，高村幸太，福元喜啓，青木秀哲，青山朋樹，佐野伸之，肥田光正，古井透：成人脳性麻痺者の活動と参加に資する在宅支援プログラム：事例報告 合目的的電気刺激療法の試み．大阪河崎リハビリテーション大学紀要 15：35-41，2021

講演

1)令和 3 年度福岡県作業療法士協会　第 3 回 SV 講習会　講義 6 臨床実習指導方法論③（講師），2021 年 1 月 23-24 日

2) 令和 3 年度福岡県作業療法士協会　第 4 回 SV 講習会　講義 5　職業倫理および連携論（講師），2021 年 2 月 27-28 日
3) 令和 4 年度福岡県作業療法協会　第 2 回 SV 講習会　講義 5 職業倫理および連携論（講師），2021 年 7 月 31-8 月 1 日

学会発表
1) 松本健太郎，佐野伸之：リハビリテーションに関する達成動機尺度に基づく自己評定法と面接法を併用した脳血管障害患者に対する介入．第 24 回福岡県作業療法学会，2021　（学会長賞　受賞）
2) 松本健太郎，佐野伸之，木下涼平：当院人工股関節置換術患者の作業療法介入での退院の決め手とその要因．第 55 回日本作業療法学会，2021
3) 齋藤みのり，佐野伸之：諦めていた夢を叶える作業療法ーラブレターを書きたいと言う思いに寄り添うコンサルテーションー．第 55 回日本作業療法学会，2021
4) 中村裕美，森正樹，上原美子，森田満里子，佐野伸之：登校認識に肯定的に関連する要因の探索的解明ー小学 5 年生 6841 名の横断的調査ー．第 55 回日本作業療法学会，2021 →優秀演題賞（口述）受賞
5) 佐野伸之，谷口隆憲，中薗寿人：リストバンド型アクティビティトラッカーによる上肢活動の測定精度の検討．第 55 回日本作業療法学会，2021

研究費取得
1) 佐野伸之：達成動機の本質に基づく客観的評価法の開発と介入プログラムの作成．科学研究費助成事業　若手研究（代表者）2020 年 4 月-2024 年 3 月
2) 佐野伸之：マルチレベル分析による地域サロンごとのソーシャル・キャピタルの熟成度と高齢者の活動量や介護予防要因に関する検討．笹川保健財団研究助成（実践調査・研究支援）（代表者）2020 年 4 月-2021 年 8 月
3) 佐野伸之：活動・参加を促すリハビリテーション支援に関する 身体活動量の客観的指標と自己評価指標の関連．令和 3 年度学内研究費（代表者）2021 年 10 月-2022 年 3 月

社会的活動
所属職能団体
日本作業療法士協会：日本作業療法学会演題審査委員（2018 年 1 月～現在）
福岡県作業療法士会：福岡県作業療法学会査読委員（2019 年 7 月～現在），ジャーナル「作業療法・福岡」論文査読委員（2019 年 9 月～現在）
九州作業療法学会：九州作業療法学会　演題査読者（2020 年 1 月～現在）
日本臨床作業療法学会：学術誌「日本臨床作業療法研究」査読委員（2020 年 10 月　～現在），「日本臨床作業療法研究」編集委員（2021 年 4 月　～現在）

社会的活動に対する表彰等
優秀演題賞（口述）：日本作業療法学会：登校認識に肯定的に関連する要因の探索的解明ー小学 5 年生 6841 名の横断的調査ー　　共同演者として発表（筆頭演者：中村裕美）
学会長賞：福岡県作業療法学会：リハビリテーションに関する達成動機尺度に基づく自己評定法と面接法を併用した脳血管障害患者に対する介入　共同演者として発表（筆頭演者：佐野裕和）

10）吉田亮平　助教
学歴：国際医療福祉大学大学院　修士課程修了
国際医療福祉大学大学院　博士課程単位取得後退学
職歴：柳川リハビリテーション病院
専門学校柳川リハビリテーション学院　作業療法学科
福岡国際医療福祉学院　作業療法学科
福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科
資格：作業療法士、修士（保健医療学）
社会的活動
所属職能団体
日本作業療法士協会（養成教育委員会臨床実習指導者検討班班員）
福岡県作業療法協会（事業部部員）

11）木村まり子　助教

学歴：熊本リハビリテーション学院　作業療法学科　卒業

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科修了

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士課程在学中

職歴：発達障害児・高齢者施設などで勤務

福岡国際医療福祉学院　作業療法学科

福岡国際医療福祉大学　医療学部　作業療法学科

資格：作業療法士、感覚統合療法認定セラピスト、修士（保健医療学）

講演

教育講演Ⅱ　特別企画　「感覚統合 つぎの一歩」　相談員（シンポジスト）

開催地（徳島）オンライン第38回日本感覚統合学会研究大会　10月9日（土）

学会発表

1)木村まり子：特別な配慮を要する保育園児に対するWeighted Blanketの効果　　第２回リハビリテーション科学研究会　4月17日（土）福岡国際医療福祉大学

2)木村まり子,中村美緒，山内閑子：保育園の午睡場面におけるウェイティッドブランケット活用の実践報告　第55回日本作業療法学会　9月10日（金）～11日（土）オンライン

3)中村美緒，山内閑子，木村まり子：発達障害傾向の保育園児に対する福祉用具を用いた支援の検討-集団活動におけるウェイティッドブランケットの効果の検証-　第55回日本作業療法学会　9月10日（金）～11日（土）オンライン

4)木村まり子：作業療法士における保育園支援の取り組み―問題行動を呈する園児対応に苦慮する保育士へのコンサルテーション―　第２回リハビリテーション科学研究会　4月17日（土）福岡国際医療福祉大学

社会的活動

地域活動への参加･協力

博多区保育園へのコンサルテーション

所属職能団体

日本作業療法士協会、福岡県作業療法士会

8.4　視能訓練学科

(1)教員紹介

教員：吉冨健志（教授・学科長）

飛松省三（教授：生理学）、財津裕一（教授：公衆衛生）、森　望（教授：解剖学、老年学）、

堀川悦夫（教授：老年学）、宇野宏一（准教授：眼科）橋本勇希（准教授）、

松藤佳名子（准教授）、佐々木信（講師）、田村省吾（講師）、潮井川修一（助教）、

王美蘭（助教：中国語）、Faramarz Samifanni（助教:英語）

1）吉冨健志　学科長、教授

学歴：九州大学医学部

九州大学大学院医学研究科博士課程修了

職歴：九州大学医学部付属病院

米国Yale大学Research Associate）

北里大学医学部眼科

和歌山県立医科大学眼科助教授

秋田大学医学部付属病院眼科

福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科

資格：博士（医学）、医師（日本眼科学会認定眼科専門医，指導医）、視覚障害者用補装具適合判定医師

役員歴：日本眼科学会常務理事、日本緑内障学会監事、日本神経眼科学会理事

日本視野画像学会理事、日本眼薬理学会理事、日本自律神経学会評議員

原著

1)Shibata H, Sawada Y, Ishikawa M, Yoshitomi T, Iwase T. Peripapillary choroidal thickness assessed by spectral-domain optical coherence tomography in normal Japanese. Jpn J Ophthalmol. ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ65: 666-671, 2021

2)Ishikawa M, Takaseki S, Yoshitomi T, Covey DF, Zorumski CF, Izumi Y. The neurosteroid allopregnanolone protects retinal neurons by effects on autophagy and GABRs/GABAA receptors in rat glaucoma models. Autophagy. ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ17 743-760, 2021

3)Sakata R, Yoshitomi T, Araie M; for Lower Normal Pressure Glaucoma Study Members in Japan Glaucoma Society. The occurrence of optic disc haemorrhage in primary open-angle glaucoma eyes with lower normal pressure and its relating factors. Acta Ophthalmol. : ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ99e28-e35, 2021

4)浅原 健一郎, 秋山 雅人, 石津 正崇, 石川 桂二郎, 塩瀬 聡美, 吉冨 健志, 松吉 彩乃, 林 史恵, 眞崎 勝久, 磯部 紀子, 園田 康平. 肺小細胞癌に伴う傍腫瘍性視神経症に対してステロイド治療が奏功した1例. 神経眼科ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ38巻:Page84 2021

5)吉冨 健志, 伊東 裕之, 石川 均, 二宮 利治, 山地 一禎, 石川 誠, 澤田 有, 藤原 康太, 藤原 聡之, 渡部 広史, 阿部 早苗, 太田 祐介, 神 大介, 早川 真弘, 鍋島 隆司, 齊藤 裕輔, 西山 俊吾, 伊藤 翔平, 董 雅儒, 松井 孝子, 新家 眞, 岩瀬 愛子. 緑内障の治療戦略　臨床と薬理学. 日本眼科学会雑誌: ﾌｧｰｽﾄ125187-209 2021

6)篠崎 和美, 柏木 賢治, 越後 洋一, 奥田 保男, 木村 通男, 吉冨 健志, 永田 啓. 『標準化』の活用　システムの接続からBig dataの時代へ. 医療情報学連合大会論文集ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ39143-144 2021

7)龍井 苑子, 平澤 一法, 浅川 賢, 石川 均, 吉冨 健志, 庄司 信行：エピナスチン塩酸塩 0.1%の瞳孔に対する作用 日本眼科学会雑誌ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ125231-231 2021

講演

1) 網膜と異なる緑内障とOCTの見方 第2回網膜疾患研究会。　2021年12月9日　久留米市

2) 緑内障とOCTの新しい流れ　北九州ブロック眼科懇話会　2021年11月27日

3) 緑内障と薬理学　九州眼科学会　　視能訓練士教育プログラム　2021年5月

社会的活動：

地方自治体の事業への協力

水俣病審査委員会

2）財津裕一　教授

学歴：九州大学医学部

九州大学大学院博士課程

職歴：九州大学医学部小児科助手

米国W.A.J. Cell Science Center Research Fellow

福岡県筑紫保健福祉環境事務所所長

福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科

資格：医師（産業医、小児科専門医）、医学博士

社会的活動：

地方自治体の事業への協力

福岡市や福岡県の市民公開講座や研修会の講師

その他

毎日新聞のコロナ対策特集インタビュー記事（2021.1.14朝刊）

3）森　望　教授

学歴：東京大学薬学部

東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了

職歴：東邦大学薬学部助手

米国シティーオブホープ研究所
米国カリフォルニア工科大学研究員
米国ハワードヒューズ医学研究所上級研究員
米国南カリフォルニア大学アンドラス老年学研究所助教授
国立長寿医療研究センター（分子遺伝学研究部）部長
名城大学大学院総合学術研究科特任教授
科学技術振興機構「脳を守る」戦略研究代表者
長崎大学医学部教授（第一解剖）
長崎大学附属図書館長
福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科

資格：博士

役員歴：日本基礎老化学会理事、日本老年学会理事、国際放射線神経生物学会、(ISRN) 理事、日本神経化学会評議員、日本生化学会評議員、長崎メンタルヘルス研究会理事、脳の医学生物学研究会会長など

4）飛松省三　教授

学歴：九州大学医学部
九州大学大学院　医学博士

職歴：九州大学医学部付属病院
シカゴ・ロヨラ大学医学部神経内科
九州大学医学部
九州大学大学院医学研究院
福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科

資格：医師（日本神経学会専門医）

原著

1)Tanaka M, Yamada E, Maekawa T, Ogata K, Takamiya N, Nakazono H, Tobimatsu S:Gender differences in subliminal affective face priming: A high-density ERP study.Brain Behav″Feb 2;e02060″10.1002/brb3.2060　202

2)Uehara T, Shigeto H, Mukaino T, Yokoyama J, Okadome, T, Yamasaki R, Ogata K, Mukae N, Sakata A, Tobimatsu S, Kira:Rapidly spreading seizures arise from large-scale functional brain networks in focal epilepsy. NeuroImage 237:118104.10.1016/j.neuroimage.2021.118104 2021

3) Nakazono H, Ogata K, Takeda A, Yamada E, Oka S, Tobimatsu S:A specific phase of transcranial alternating current stimulation at the β frequency boosts repetitive paired-pulse TMS-induced plasticitySci Rep (2021)11:13179　10.1038/s41598-021-92768-x2021.

4) Takeda A, Yamada E, Uehara T, Ogata K, Okamoto T, Tobimatsu S:Data-point-wise spatiotemporal mapping of human ventral visual areas: Use of spatial frequency/luminance-modulated chromatic facesNeuroImage239: 11832510.1016/j.　neuroimage.2021.118325 2021.

5) Matsubara T, Ahlfors SP, Mima T, Hagiwara K, Shigeto H, Tobimatsu S, Goto Y, Stufflebeam S:Bilateral representation of sensorimotor responses in benign adult familial myoclonus epilepsy: An MEG study Front NeurolOctober 2021 Volume 12　Article 759866https://doi.org/10.3389/fnhum.2021.750329 2021

6)Ogata K, Nakazono H, Ikeda T, Oka S-I, Goto Y, Tobimatsu S After-effects of intermittent theta-burst stimulation are differentially and phase-dependently suppressed by α- and β-frequency transcranial alternating current stimulation Front Hum Neurosci ″12 November 2021″ https://doi.org/10.3389/fneur.2022.762497 2021.

7)Tobimatsu S Understanding cortical pain perception in humansNeurol Clin Neurosciﾌｧｰｽﾄ･ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ 9 (1)24-29,2021.

8)飛松省三：検査と加齢. 脳波Clinical Neuroscienceﾌｧｰｽﾄ･ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ 39(1)55-58,2021
9)飛松省三：迷わないための基礎知識Ⅱ. 救急診療に必要な解剖・生理・生化学的知識. Ⅲ 検査のための基礎知識 脳波検査.救急医学ﾌｧｰｽﾄ･ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ 45(7):904-913,2021.
10)飛松省三, 柳原一照：脳波・脳波計・EEG. 生体医工学Web辞典ﾌｧｰｽﾄ･ｺﾚｽﾎﾟﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ.https://cyclopedia.jsmbe.org/脳波・脳波計・EEG 2021.

著書：
1)飛松省三:ここに目をつける！ 脳波判読ナビ. 第2版単著南山堂2021.

学会発表
1)Feb.1, 2021 MEG in Epilepsy - Established Tool or Research Topic?Asian-Oceanian Congress of Clinical Neurophysiology (AOCCN2021)大規模シンポジストKuala Lumpurハイブリッド

研究助成金
日本学術振興会 基盤C代表者"2020～2022"1,300,000
視覚はよみがえるのか？弱視と視覚系神経ネットワークの可塑性

5）堀川悦夫　教授
学歴：最終学歴　東北大学大学院博士課程（情報生物学）中退
職歴：日本学術振興会 特別研究員、
東北大学医療技術短期大学部 助教授、
文科省在外研究員、
米国ミシガン大学 老年医学研究センター（モビリティリサーチセンター）客員研究員
東北大学医学部 助教授、
佐賀大学医学部 認知神経心理学分野 教授、同、大学院教授、
佐賀大学医学部附属病院 動作解析・移動支援開発センター長、
同　　医学部　地域医療科学教育研究センター　福祉健康科学部門長、
（公財）交通事故総合分析センター 客員研究員、同　特別研究員、
福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科　教授
国立長寿医療研究センター　運転寿命延伸プロジェクト・コンソーシアム　理事
佐賀大学医学部 脳神経内科 客員研究員
佐賀大学 名誉教授
資格：博士（学術）、博士（医学）公認心理師、臨床心理士、介護福祉士、
DRS（運転リハビリテーション専門士　基礎資格）、厚労省認定ジョブコーチ（職場適応援助者）

原著
1)Tsubasa Mitsutake, Maiko Sakamoto, Hisato Nakazono, Etsuo Horikawa, The Effects of Combining Transcranial Direct Current Stimulation and Gait Training with Functional Electrical Stimulation on Trunk Acceleration During Walking in Patients with Subacute Stroke, J Stroke Cerebrovasc Dis . 2021 Apr;30(4):105635. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.105635. Epub 2021 Jan 28.
2)Kazuya Minami , Etsuo Horikawa, Social anxiety tendency and autism spectrum disorder in Japanese adolescence Pediatr Int. 2021 Aug;63(8):903-909. doi: 10.1111/ped.14576. Epub 2021 Jul 21.

講演
1)堀川悦夫、特別講演、「高齢者運転とモビリティ」、国立長寿医療センター運転寿命延伸コンソーシアム講演会 2021/3/12
2)堀川悦夫、シンポジスト、「自動運転と高齢者運転」 日本老年精神医学会シンポジウム 2021／9／16
3)堀川悦夫、特別講演、「高齢者とモビリティ　―ライフサイクルを通してのモビリティ維持を目指して―」、人間文化講演会、主催　島根大学 2021／9／24

4)堀川悦夫、シンポジスト、「脳卒中後遺症などの患者が運転再開に至るまでの過程からの示唆」、特別企画シンポジウム 3、「疾患罹患と自動車運転：ある臨床医の経験から」、日本交通科学学会、2021/10/02

5)堀川悦夫、認知症サポーター養成講座　講師、日産サティオ佐賀、2021/4/16

6)堀川悦夫、認知症サポーター養成講座　講師、スズキ自販佐賀、2021/5/21

7)堀川悦夫、認知症サポーター養成講座　講師、佐賀日産、2021/10/14

8)堀川悦夫、認知症サポーター養成講座　講師、スズキ自販佐賀、2021/11/18

学会発表

1)Kosei Nojiri, Hirofumi Ohtsuka, Daichi Arai and Etsuo Horikawa, CDIO Approach based Educational Project of Sensor Fusion for Assistive Technology, No.239, Proc. of 4th International Symposium on Advances in Technology Education, August 2021, Turku, Finland

2)タ検査の関連の分析　―整形外科疾患患者との比較―、第 58 回日本リハビリテーション医学会、2021/06/13

研究費取得

日本損害保険協会自賠責益還元事業による研究助成事業　「高齢者の運転再教育および運転リハビリテーションによる運転期間延伸手法の科学的論証と体系化に関する研究」研究代表者　(2019 年度からの佐賀大学医学部への研究助成の継続課題)

6）橋本勇希　准教授

学歴：川崎医療福祉大学感覚矯正学科 卒業

川崎医療福祉大学大学院医療技術学部感覚矯正学科 修了 修士（感覚矯正学）

北海道大学大学院医学研究院医学専攻 修了 博士（医学）

職歴：北海道大学病院眼科

福岡国際医療福祉大学 医療学部 視能訓練学科 准教授

資格：視能訓練士、博士（医学）

原著：

1)Hashimoto Y, Saito W, Kanaizumi S, Saito M, Noda K, Kanda A, Ishida S. Comparison of clinical characteristics in patients with acute zonal occult outer retinopathy according to anti-retinal antibody status. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 259: 2967-2976, 2021.

2)Yamashita Y, Hashimoto Y, Namba K, Mizuuchi K, Ishida S. Optic nerve head microcirculation in eyes with Vogt-Koyanagi-Harada disease, accompanied by anterior ischemic optic neuropathy. Case Rep Ophthalmol 12: 899-908, 2021.

講演：

1)橋本勇希. 想像する網膜画像の撮像. Tokyo Image Conference, 2021, 東京.

学会発表

1)橋本勇希, 今林櫻子, 石丸侑実, 梅本璃乃, 吉冨健志. 冷却ストレス試験における脈絡膜循環動態の変化. 第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会, 2021, 大田原.

2)橋本勇希, 齋藤大智, 羽田満愉美, 三島愛理, 吉冨健志. 脈絡膜形態と循環動態の月内変動の検討. 第 62 回日本視能矯正学会, 2021, 東京.

3)橋本勇希. 正常眼における寒冷刺激試験後の脈絡膜循環動態の変化. 第 11 回レーザースペックル研究会, 2021, 東京.

4)橋本勇希, 今林櫻子, 石丸侑実, 梅本璃乃, 吉冨健志. 冷却ストレス試験における脈絡膜循環動態の変化. 第 60 回日本網膜硝子体学会, 2021, 東京.

研究費取得：科研費（若手）

社会的活動

所属職能団体

日本視能訓練士協会

国、自治体、公的機関の役員・委員等
国：視能訓練士国家試験作成委員会（厚生労働省）

7）松藤佳名子　准教授
学歴：東洋大学文学部教育学科
国立小児病院附属視能訓練学院
熊本大学文学研究科人間科学専攻
川崎医療福祉大学医療技術学研究科感覚矯正学専攻科
職歴：熊本大学医学部付属病院
健康保険組合人吉総合病院
福岡大学病院
福岡国際医療福祉学院　視機能療法学科
福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科
資格：視能訓練士、日本視能訓練士協会認定専任教員
修士（文学）
研究費取得
文科省科研費
「キメラ視覚画像刺激を用いた半側空間無視におけるプリズム順応効果の検証」
社会的活動
所属職能団体
公益社団法人日本視能訓練士協会、全国視能訓練士学校協会（理事）

8）佐々木信　講師
学歴：近畿大学九州工学部　経営工学科
北九州市立大学大学院　人間文化研究科　修士課程
産業医科大学大学院　医学研究科　博士課程
福岡国際医療福祉学院　視機能療法学科
職歴：医療法人彦星会ふなつ眼科光分院田中眼科
医療法人社団青木眼科
福岡国際医療福祉学院　視機能療法学科　専任教員
医療法人高邦会高木病院　非常勤
産業医科大学眼科学教室　訪問研究員
福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科
資格：視能訓練士、認定視能訓練士、修士（人間関係学）、博士（医学）
講演
1)佐々木信.弱視治療用眼鏡箔の開発:第11回国際医療福祉大学学会学術大会
視機能療法学科 分科会 教育講演,成田,2021年11月14日.
学会発表
1)佐々木信.弱視治療用眼鏡箔の開発ー試作した拡散板の遮閉効果ー:第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会,成田,2021年11月14日.
研究費取得：令和3年度学内研究費・一般研究（一般A）
社会的活動
地域活動への参加・協力
令和3年度　文部科学省　児童生徒当の近視実態調査研究事業　検査業務サポート
所属職能団体
公益社団法人日本視能訓練士協会

9）田村省悟　講師

学歴：九州保健福祉大学 保健科学部 視機能療法学科

九州保健福祉大学大学院 保健科学研究科 修士課程　修了

九州保健福祉大学大学院 保健科学研究科 博士課程　修了

職歴：九州保健福祉大学 保健科学部 視機能療法学科　副手

九州保健福祉大学 保健科学部 視機能療法学科　助手

九州保健福祉大学 保健科学部 視機能療法学科　助教

宮崎大学医学部附属病院 眼科　非常勤職員

宮崎県立延岡病院 眼科　非常勤職員

宮崎県済生会日向病院 眼科　非常勤職員

宮崎県立延岡しろやま支援学校　非常勤職員

福岡国際医療福祉大学 医療学部 視能訓練学科　講師

資格：視能訓練士、博士（保健科学）

社会的活動

地域活動への参加･協力

延岡市三歳児健診での視覚検査の実施

済生会日向病院眼科、宮崎大学医学部付属病院眼科、宮崎県立延岡しろやま支援学校へ出向

所属職能団体：宮崎県視能訓練士の会（理事）

10）潮井川修一　助教

学歴：福岡国際医療福祉学院　視機能療法学科

国際医療福祉大学大学院　保健医療学専攻　視機能療法学分野

職歴：医療法人大塚眼科医院

福岡国際医療福祉学院　視機能療法学科

福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科

資格：視能訓練士、日本視能訓練士協会認定専任教員、MWT ビジョントレーニング指導者、

修士（保健医療学）

著書

1)潮井川修一, 平良美津子：CHAPTER 6 e スポーツの目の働きへの影響, e スポーツの科学, ベースボールマガジン社, p79-p86, 2021 年 12 月 27 日発行

講演

1)潮井川修一：ネット・ゲーム×身体（眼）について. 令和 3 年度 依存症を理解する市民講演会. 2021 年 8 月 20 日（福岡）

2)潮井川修一：子どもの近視と注意ポイント. 第 1 回 こどもめがねフォーラム, 2021 年 8 月 22 日（福岡）

学会発表

1)潮井川修一. 研究用ドライビングシミュレータと視線解析装置による新しい有効視野評価法の開発. 第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会, 大田原, 2021

研究費取得

令和 3 年度学内研究費（一般研究 B 奨励）視機能に対する e スポーツの影響について

社会的活動

ジャーナリズムへの出演：

10/8　西日本新聞　「おうち時間」近視の低年齢化も 過程でできる子供の視力対策

10/11　YahooJAPANニュース　失明の恐れも…深刻な近視の低年齢化 家庭でできる3つのこと

1/8　子育て情報誌まみたん　子どもの目を守るために親ができること｜ともに育つ・育む

所属職能団体

日本視能訓練士協会、日本近視学会、FeRC（福岡 e スポーツリサーチコンソーシアム）

11）王　美蘭　助教

学歴：中国政法大学経済法学部
神戸大学大学院法学研究科　修士、博士課程修了
神戸大学大学院法学研究科

職歴：神戸国際貿易促進協会高級顧問、
甲南女子大学、兵庫県立大学、関西看護医療大学非常勤講師、
朝日新聞カルチャーセンター講座講師
福岡国際医療福祉大学　医療学部　視能訓練学科

資格：福岡地方裁判所司法通訳登録
修士、博士（法学）

8.5　看護学科

教員：大池美也子（教授、学部長）
楠葉洋子（教授）、白石裕子（教授）、川口賀津子（教授）、永田忍彦（教授、呼吸器内科）、
宮﨑浩行（教授、呼吸器内科）、三上公治（教授、消化器外科）、山口みどり（准教授）、
彌永和美（准教授）、梅本直子（准教授）、中野真理子（准教授）、森山ますみ（准教授）、
黒木司（准教授）、仙波洋子（准教授）、前田和香子（講師）、辻奈美（講師）、高木良重（講師）、
石橋曜子（講師）、甲斐恭子（講師）、横尾誠一（講師）、吉村千草（助教）、池添貴子（助教）、
宇治田さおり（助教）、生駒千恵（助教）

1）大池美也子　学科長、教授

学歴：早稲田大学第二文学部英文学専攻卒業
国立療養所南福岡病院付属看護学校卒業
福岡教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了
九州大学人間環境学研究科発達・社会システム専攻入学
九州大学人間環境学研究科発達・社会システム専攻単位取得後退学
明星大学大学院教育学研究科教育学専攻修了（教育学博士）

職歴：株式会社酉嶋製作所
堀田野村法律事務所
九州大学医学部解剖学教室事務補佐員
九州大学医学部付属病院看護婦(第二外科)
宗像医師会病院手術室兼教育担当看護師長
九州大学医療技術短期大学部 講師・教授
九州大学医学部保健学科看護学専攻　教授
九州大学大学院医学研究院保健学部門　教授
国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科　教授・学部長
福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科　教授・学部長

資格：看護師
福岡教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻（教育学修士）
明星大学大学院教育学研究科教育学専攻修了（教育学博士）

原著：

1)山下智美、大池美也子、能登裕子、橋口暢子、看護専門学校の教育活動における看護教員の臨床経験の意味、日本看護学教育学会、31 (1)、111-122, 2021.07

2)Makoto Kikukawa, Renée Stalmeijer, Takahiro Matsuguchi, Miyako Oike, Emura Sei, Lambert W T Schuwirth, Albert J J A Scherpbier, How culture affects validity: understanding Japanese residents' sense-making of evaluating clinical teachers, BMJ Open. 2021 Aug 18;11(8):e047602.　doi: 10.1136/bmjopen-2020-047602

研究費取得

文部科学省基盤研究（C）　17K12119　2017-20220331　看護教員コンピテンシーモデルの開発と検証（代表）（延長申請）

文部科学省基盤研究（C）　21K10556　　20210401-20240331　看護教員が教育経験を省察しながら育つ「教えることを学ぶ」プログラムの開発と検証　（代表）

社会的活動

地域活動への参加･協力

地域ボランティア活動：花の花、ハッピイマンマ

その他：九州・沖縄ケアリングアイランドの会議に参加し意見交換を行った。

専任教員養成講習会（福岡県医療指導課）での講義

実習指導者養成講習会（九州地区病院機構）での講義

所属職能団体

日本看護科学学会（代議員）（査読）、日本看護学教育学会（評議員）、

日本看護管理学会（評議員）（査読）

国、自治体、公的機関の役員･委員等

公的機関：福岡県看護協会監事

２）楠葉洋子　教授

学歴：明治学院大学社会学部社会学科卒業

佐賀医科大学（現佐賀大学）大学院医学系研究科修士課程修了

佐賀大学大学院医学系研究科医科学専攻博士課程修了

職歴：長崎大学附属病院,

心臓血管研究所附属病院等における臨床看護師

佐賀大学医学部看護学科

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師，社会学学士，修士（看護学），博士（医学）

原著

1)Takuya Fukushima, Jiro Nakano, Kaori Hashizume, Kazumi Ueno, Emi Matsuura, Yuta Ikio, Shun Ishii, Satoru Morishita, Koji Tanaka, Yoko Kusuba：Effects of aerobic resistance and mixed exercises on quality of life in patients with cancer, A systematic review and meta-analysis.Complementary therapies in clinical practice 2021;42:101290

学会発表

1)藤岡文恵，　楠葉洋子，梅本直子；高齢者介護施設で働く看護職と介護職の職務満足と個人の経験及び心理社会的要因との関連：日本看護研究学会学術集会，2021 年 8 月　WEB 開催（国際医療福祉大学修士論文　研究責任者）

2)石橋曜子,梅木彰子,中野真理子,仙波洋子,楠葉洋子:Debriefing を重視したシミュレーション教育による授業設計の開発 手術直後の看護実践における教育効果,国際医療福祉大学学会誌 26,117,2021 年 11 月,WEB 開催

3)中野真理子,仙波洋子,楠葉洋子,梅木彰子,石橋曜子:コロナ禍における成人看護学領域学内実習教育の実践報告「病みの軌跡」看護モデルを活用した受持ち患者の捉え直し,国際医療福祉大学学会誌,26,111,2021 年 11 月,WEB 開催

研究費取得

1)基盤研究Ｃ　：研究代表者（岩倉真由美　学内）透析患者の主体的自己管理行動を支援するヘルスコミュニケーションモデル開発 2020－2022

2)基盤研究Ｃ　：研究代表者（藤本裕二　佐賀大学）統合失調症者のリカバリーとスポーツ科学に関する研究 2018～2021（1 年延長予定）

3) 基盤研究Ｃ　：研究代表者（橋爪可織　杏林大学）子供を持つ乳がん患者に対する複合型サポートグループプログラムの有効性の検証　2017～2021（1 年延長予定）

社会的活動

所属職能団体

日本看護協会

所属学会

日本看護研究学会（査読）、日本糖尿病教育・看護学会（査読）

３）白石裕子　教授

学歴：博士（医学）

職歴：香川県立保健医療大学　講師、准教授

宮崎大学医学部看護学科　教授

国際医療福祉大学福岡看護学部教　授

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科　教授

資格：看護師、臨床心理士、博士（医学）

原著

1) 田原恭子, 白石裕子. 術後せん妄のスクリーニングに着目した尺度開発. 国際医療福祉大学学会誌 2021; 26（1）: 70－79

講演

1) 白石裕子.「うつ病の認知行動療法・認知行動療法ワークショップ」コミュニケーションスキル講師, 労省 2021 年度認知行動療法事業ワークショップ, ＴＫＰガーデンシティ博多, 2021 年 7 月 31 日　参加者来室 15 名、40 名オンライン参加

2) 白石裕子. 認知行動療法のおさらい, 九州認知行動療法看護研究会, 2021 年 5 月 19 日オンライン研修

3) 白石裕子, 黒木　司. リカバリーオリエンテッド CBT, 九州認知行動療法看護研究会, 2021 年 9 月 15 日, オンライン研修

学会発表

1) 白石裕子, 斎藤嘉宏, 吉永尚紀他. Strength-based Nursing Care への誘い（ワークショップ),「日本神保健看護学会第 31 回学術集会・総会, 2021 年 6 月 5 日、6 日. オンライン開催

研究費取得

1) 2021 年度科学研究費基盤研究（B）代表者：白石裕子「精神科訪問看護師を対象としたストレングス活用尺度とプログラムの開発」

2) 2021 年度科学研究費基盤研究（C）研究分担者, 代表者：岩崎優子「精神看護学十種を補完可能にする教材開発と大学間で共有利用するシステムの検討」

社会的活動

日本精神保健看護学会（代議員、学会誌編集委員）、日本看護科学学会（会員、査読委員）、日本認知療法、認知行動療法学会（幹事、査読委員）、九州認知行動療法看護研究会理事長

４）川口賀津子　教授

学歴：国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科看護学専攻　修士課程修了

九州大学大学院医系学府保健学専攻看護学分野　博士後期課程修了

職歴：福岡大学病院

福岡大学医学部看護学科

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師、修士（看護学）、博士（看護学）

原著

1)Kazuko Kawaguchi, Yoko Hatono：Factors Influencing the Role Performance of Middle-aged Generalist Nurses（中高年ジェネラリスト看護師の役割遂行に影響する要因）Japanese society of Occupational Medicine and Traumatology. 2021. 69. 6. 274-284.

研究費取得

2021年度科学研究費基盤研究（C）2021年度～2023年度　代表者

プラチナナースの就労継続を可能にする働き方モデルの開発

社会的活動

所属職能団体

日本看護協会、福岡県看護協会（予備代議員）

実習指導者養成講習会講師（国際医療福祉大学生涯教育センター）

５）山口みどり　准教授

学歴：久留米大学医学研究科社会医学系公衆衛生学専攻博士課程　単位取得満期退学

ボストン大学大学院　公衆衛生学部国際保健学専攻　修士課程　修了

職歴：福岡赤十字病院

青年海外協力隊（カンティ小児病院、トリスリ郡立病院：ネパール）

JICA個別専門家（母子保健、学校地域保健プロジェクト：ネパール）

聖マリア学院短期大学　講師

JICAシニアボランティア（コスタリカ大学医学部看護学科）

訪問看護ステーションたんがく

熊本保健学科学大学　特定事業教員

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師

学会発表

1)山口みどり、岩木三保、木室ゆかり：新型コロナウイルス感染症拡大による訪問看護ステーションの事業継続に関する研究、第11回国際医療福祉大学学会学術大会、国際医療福祉大学成田キャンパス、2021年11月14日（日）

６）彌永和美　准教授

学歴：産業医科大学医療技術短期大学　地域看護学専攻修了

福岡女学院大学人文科学研究科臨床心理学専攻修了

職歴：株式会社ブリヂストン

福岡逓信病院健康管理課

聖マリア学院短期大学専攻科・大学

福岡女学院看護大学

活水女子大学看護学部

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師、保健師、介護支援専門員、産業カウンセラー

書籍：豊島泰子編；「看護師のための地域看護学」,『社会情勢の変化と健康課題』『産業看護活動』担当

社会的活動

所属職能団体

日本産業看護学会（評議員・倫理委員）

7）梅本直子　准教授
学歴：大分医科大学医学系研究科修士課程修了
久留米大学比較文化研究科博士課程単位取得
職歴：聖マリア学院大学 講師
金沢医科大学 准教授
国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科
福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科
資格：看護師、介護支援専門員、認知症ケア専門士、修士（看護学）
学会発表
1)藤岡文恵，楠葉洋子，梅本直子：高齢者介護施設で働く看護職と介護職の職務満足と個人の経験および心理社会的要因との関連.　日本看護研究学会第47回学術集会　2021-8-21，22
研究助成
1)橋本智江(金沢医科大学)　入浴ケア時の感染対策のあり方の検討ー感染防護具装着時の援助者の生理的反応から　科学研究費　基盤C　2021～2023
2)岩倉真由美(学内)　析患者の主体的自己管理行動を支援するヘルスコミュニケーションモデル開発　科学研究費　基盤C　2020～2022

8）中野真理子　准教授
学歴：福岡県立大学人間社会学部人間形成学科卒業
福岡県立大学看護学研究科看護心理学専攻修了
東京女子医科大学大学院博士課程　満期退学
職歴：東京慈恵会医科大学医学部看護学科　講師
東京慈恵会医科大学大学院看護学専攻　急性重症患者看護分野　兼任講師
自治医科大学看護学部　講師
国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科
福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科
資格：修士（看護学）
学会発表
1)中野真理子　仙波洋子　楠葉洋子　梅木彰子　石橋曜子：コロナ禍における成人看護学領域学内実習教育の実践報告.　―「病みの軌跡」看護モデルを活用した受持患者の捉え直し―　第11回　国際医療福祉大学学会　ポスターセッション　2021.9.13
2)石橋曜子　梅木彰子　中野真理子　仙波洋子　楠葉洋子：　Debriefingを重視したシミュレーション教育による授業設計の開発　―手術直後の看護実践における教育効果ー.　第 11 回　国際医療福祉大学学会　ポスターセッション　2021.9.13

9）森山ますみ　准教授
学歴：京都第二赤十字看護専門学校
早稲田大学
聖路加看護大学大学院博士前期課程修了
聖路加看護大学大学院博士後期課程修了
職歴：京都第二赤十字病院（血液・呼吸器内科病棟、救命救急センター、泌尿器・耳鼻気食科混合病棟）
大分県済生会日田病院（消化器外科病棟、小児・婦人科病棟）
あさお訪問看護ステーション（訪問看護、ケアマネージャー）
青年海外協力隊（エクアドル国立ボリーヴァル大学看護学部）
JICAエルサルバドル看護教育強化プロジェクト
国際看護交流協会（研修コーディネーター、プロジェクトアドバイザー）

日本赤十字九州国際看護大学看護学科　准教授・国際保健看護領域
国際医療福祉大学成田看護学部看護学科　准教授・国際看護領域
福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科　准教授
国際医療福祉大学大学院　医療福祉学研究科保健医療学看護学領域　特別准教授
資格：看護師、博士（看護学）
報告書：科学研究費助成事業　基盤研究（B）報告書
保健指導リソースガイド
No.1「日本で暮らす外国にルーツを持つ子ども・子育て支援サイト」の開設に至るまで
https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/opinion/004/016/no1-9.php
No.2 外国人母と保健師の情報探索行動の調査を通して分かったこと
https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/opinion/004/016/no2-9.php
No.3 『日本で暮らす外国にルーツを持つ子ども・子育て支援サイト』の内容紹介
https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/opinion/004/016/no3-10.php
学会発表
1)森山　ますみ：35-6 乳幼児期の子どもを持つ外国人母の妊娠・出産・子育てに関する情報探索行動についての実態調査　第9回日本公衆衛生看護学会　（オンライン 2021 年 1 月 9 日～1 月 24 日）
35-6_日本で暮らす外国にルーツを持つ子ども・子育て支援サイトの開設
研究費取得
科学研究費助成事業　基盤研究（B）2017～2021 年度
社会的活動
地域活動への参加･協力
JICA（国際協力機構）のボリビア医療技術者養成システムプロジェクトの短期専門家として活動しているが、今年度はCovid-19 のパンデミックのため、赴任できなかった。
『日本で暮らす外国にルーツを持つ子ども・子育て支援サイト』（ウェブサイト）に運営しており、その中で、電話やメールの質問に対応してる。
ジャーナリズムへの出演
群馬の上毛新聞の取材（テーマ：発達の遅れがある外国人の子どもを診断する際の課題、調査・研究結果について）を2月28日に1時間ほど受けた。
所属職能団体
日本看護協会：現在、小倉一春大学院教育（国際看護）奨学金選考会審査委員

10）黒木　司　准教授
学歴：佐賀大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程　修了
佐賀大学大学院医学系機能形態系専攻博士課程　修了
職歴：広島大学大学院保健学研究科精神保健看護開発学講座　助教
帝京大学福岡医療技術学部看護学科　講師
帝京大学福岡医療技術学部看護学科　准教授
国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科　准教授
福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科　准教授
資格：看護師免許、保健師免許
修士（看護学）、博士（医学）
講演
1)白石裕子，黒木司，リカバリーオリエンテッドCBT，九州認知行動療法看護研究会，2021，9 月 15 日研修会
2)黒木司．認知療法・認知行動療法研修会，日本精神保健看護学会，2021，3 月

研究費取得

1)科研費

①基盤B：精神科訪問看護師を対象としたストレングス活用尺度とプログラムの開発．研究分担者

②基盤C：配偶者や重要他者との死別体験後、後期高齢者がより良く生きるための支援策の策定，研究

社会的活動

所属職能団体

九州認知行動療法看護研究会：理事・会計・事務局を担当した。

11）仙波洋子　准教授

学歴：熊本大学教育学部　看護教員養成課程　卒業

佐賀大学大学院医学系研究科　看護学専攻　修士課程修了

職歴：熊本大学医学部附属病院

博多高校衛生看護専攻科

折尾愛真高校衛生看護科　非常勤講師

佐賀大学医学部看護学科　助教

福岡山王病院　主任看護師

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科　講師

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科　講師、准教授

資格：看護師、養護教諭一級普通免許状、中学校教諭一級普通免許状（保健）

高等学校教諭二級普通免許状（保健・看護）、福岡糖尿病療養指導士、修士（看護学）

原著

1)馬場才悟，森雄太，仙波洋子，山本真弓，花田妙子．呼吸器疾患患者の看護演習に20mシャトルランの体験を取り入れた学習内容　患者理解の学習内容を示す主要語と構成概念のテキストマイニングによる分析．日本看護学教育学会誌　2021；30（3）：115-125

2)馬場才悟，仙波洋子，阿南沙織，岩倉真由美，今村桃子．他学科学生と臨床で学ぶ関連職種連携実習での看護学生の学習内容　テキストマイニングによる分析．　西九州大学看護学部紀要　2021；2：21-26

学会発表

1)仙波洋子．外来通院する糖尿病患者へ運動療法指導を行うことへの看護師の思い．日本慢性看護学会誌　2021；15（Suppl）：42

2)中野真理子，仙波洋子，楠葉葉子，梅木彰子，石橋曜子．コロナ渦における成人看護学領域学内実習教育の実践報告　「痛みの軌跡」看護モデルを活用した受持ち患者の捉え直し．国際医療福祉大学学会誌　2021；26（抄録号）：117

3)石橋曜子，梅木彰子，中野真理子，仙波洋子，楠葉洋子．Debriefingを重視したシミュレーション教育による授業設計の開発　手術直後の看護実践における教育効果．国際医療福祉大学学会誌　2021；26（抄録号）：117

研究費取得

学内研究費

研究題目：糖尿病患者の日常生活と血糖変動の関連

社会的活動

所属職能団体

日本看護協会、日本糖尿病協会、

福岡糖尿病療養指導士認定会（研修試験委員　糖尿病指導グッズ作製委員長）

12）前田和香子　講師

学歴：熊本大学医療技術短期大学部 専攻科助産学特別専攻卒業

熊本県立大学アドミニストレーション研究科看護管理コース博士前期課程修了

職歴：国保水俣市立総合医療センター（1996～2014）

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師、助産師、受胎調節実施指導員、思春期保健相談士、

修士（アドミニストレーション）

研究費取得

1)公的研究費

研究代表者：原田広枝「転職による職場再適応プロセスの解明と再適応を支援するキャリア発達プログラムの開発」（文部科研費　基盤Ｃ）

2)学内研究費

研究代表者：前田和香子「男性看護学生の母性看護学を学ぶ意義：男性看護師へのインタビューから

13）辻　奈美　講師

学歴：長崎県立大学健康科学研究科看護学専攻修士課程　修了

職歴：佐賀県杵藤保健所鹿島支所

太良町在宅介護支援センター

佐賀大学医学部看護学科　助手・助教

福岡市介護実習普及センター

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師、保健師、修士（看護学）

社会的活動

地域活動への参加･協力

NPO 福祉用具ネット　理事

国、自治体、公的機関の役員･委員等

福岡県国民健康保険団体連合会、介護保険給付費等審査委員会

所属職能団体

日本リハビリテーション工学協会（代議員）

日本リハビリテーション工学協会　専門部会車いすSIG（役員）

14）高木 良重　講師

学歴：九州大学医療技術短期大学部

九州大学大学院医学系学府保健学専攻　修士課程修了

職歴：九州大学医学部附属病院

医療法人博修会　福岡高野病院

医療法人福西会　川浪病院（現　福西会病院）

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：WOC 看護（現在、皮膚・排泄ケア）認定看護師、がん看護専門看護師

原著

1)三木佳子,澤井尚子,高木良重,前川厚子,法橋尚宏,國方弘子,土岐弘美.皮膚･排泄ケア認定看護師が実践するセクシュアリティに関する治療的コミュニケーション技術：会話分析による抽出.日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌 2021;25（1）:1-9

著書（分担執筆）

1)高木良重.第4章 エンド・オブ・ライフ期に起こりやすい皮膚障害とケア.エンド・オブ・ライフ期における皮膚障害のケア.東京:日本看護協会出版会,2021: 36-50

2)高木良重.せん妄があるがん患者のスキン-テアのケア. エンド・オブ・ライフ期における皮膚障害のケア.東京:日本看護協会出版会,2021:95-101

3)高木良重.がん患者の失禁関連皮膚炎のケア. エンド・オブ・ライフ期における皮膚障害のケア.東京:日本看護協会出版会,2021:102-111

学会発表

1)YOSHIE TAKAKI, TOSHIMITSU TOYOHARA. Support for Prevention of Incontinence Associated Dermatitis (IAD). 9th Asia-Pacific Enterostomal Therapy Nurses Association (APETNA) Congress. TOKYO (Web) .3rd July

2)高木良重, 黒田豊子,柳迫昌美,江口忍,海田真治子,平川道子,梶西ミチコ.九州ストーマリハビリテーション研究会における発表動向.第 38 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会学術集会.福岡.2021年2月26日～27日（オンデマンドあり）

3)高木良重,高橋純,水島文乃,飛澤貴子.交流集会:自壊創ケアpart2 ～乳がん患者の療養生活の工夫～.第35回日本がん看護学会学術集会.Web、2021年2月27日～4月30日

4)高木良重,豊原敏光.ストーマケアに関する皮膚・排泄ケア認定看護師不在の医療機関との連携.第 30 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会、東京（Web)、2021年7月3～5日

5)高木良重,直海倫子,石橋好美,古野佐由里,石井義輝.動画による褥瘡ケア技術の教授法.第 23 回日本褥瘡学会学術集会.Web.2021年9月10日～11日

6)高木良重.チーム医療委員会企画「チーム医療、10年間のパラダイムシフト」 看護師の立場から.第25回在宅PEG・医療学会学術集会.東京（Web）.2021年9月18日

社会的活動

所属職能団体

日本創傷・オストミー・失禁管理学会：評議員、編集委員会（委員)、広報委員会（委員)、国際交流委員会（委員)、学会賞・研究助成選考委員会（委員)、便秘アドホック委員会（委員）

日本褥瘡学会：評議員、編集委員会（委員)、ガイドライン策定員会（委員）

日本がん看護学会：代議員、地方分科会委員（副委員長)、放射線性皮膚炎ガイドライン作成グループSRメンバー)

日本看護協会：正会員

15）石橋曜子 講師

学歴：福岡大学付属看護専門学校

人間総合科学大学人間科学部人間科学科

佐賀大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程 修了

職歴：福岡大学病院（脳神経外科、ICU）看護師

八代看護学校二年過程 教員

宮原町役場保健衛生課 非常勤看護師

恩賜財団済生会熊本病院（心臓血管センター、CCU）主任看護師

福岡大学医学部看護学科 助手、助教

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師免許、修士（看護学）

原著

1)浦 綾子, 牧 香里, 石橋 曜子, 岩永 和代, 小田 真由美, 内田 京華, 井上 雅史, 宮林 郁子. がん化学療法を受ける患者の睡眠の特徴と影響要因. 日本がん看護学会誌 2021；35：91-101

学会発表

1)石橋 曜子, 梅木 彰子, 中野 真理子, 仙波 洋子, 楠葉 洋子. Debriefingを重視したシミュレーショ教育による授業設計の開発　手術直後の看護実践における教育効果. 国際医療福祉大学学会 2021；26：117.

2)中野 真理子, 仙波 洋子, 楠葉 洋子, 梅木 彰子, 石橋 曜子. コロナ禍における成人看護学領域学内実習教育の実践報告　「病みの軌跡」看護モデルを活用した受持ち患者の捉え直し. 2021；26：111.

3)Kumiko Kotake, Kazuyo Iwanaga, Kaori Haba, Mami Kurita, Ichiro Ota, Yoshimi Suzukamo, Ichiro Kai, Aya Takahashi, Yoko Ishibashi, Yoriko Hara, Hiromi Taniguchi, Hirokazu Uemura, Tadasi Kitahara. The Preoperative Life Process of Pharyngeal and Laryngeal Cancer Patients Undergoing Total Laryngectomy. 2021；The 32nd International Nursing Research Virtual. 2021. 7.22

研究費取得

公的研究費

1)文部科学省基盤研究（C）20K10777　2020～2023 年度　研究代表者　喉頭摘出者の家族の術後生活への移行を促進する外来での生活支援プログラムの開発.

2)文部科学省基盤研究（C）17K12277　2017～2022 年度　研究分担者　頸部がんで化学放射線療法を受ける患者の栄養状態改善のための介入プログラムの開発.

3) 文部科学省基盤研究（B）19H03937　2019～2023 年度　研究分担者　全喉頭摘出者の心理的適応促進のための RCT 看護介入効果検証.

学内研究費

1) 研究代表者　多角的視座から考える看護実践のための教材開発.

社会的活動

地域活動への参加･協力

九州・沖縄ケアリングアイランド大学コンソーシアムの会議に参加し意見交換とかんたま祭企画委員を担当した。

ジャーナリズムへの出演

日本看護系大学協議会の「今月の注目看護教員」に掲載（佐賀新聞）

所属職能団体

公益社団法人日本看護協会

公益社団法人福岡県看護協会：福岡県看護学会研究発表支援委員として研究指導員

日本シミュレーションラーニング学会：研修企画委員として２回/年と５回/年の会議に参加した。
第３回学術集会の座長を担った。

16) 甲斐恭子　講師

学歴：日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程

職歴：熊本赤十字病院看護師
横浜市立みなと赤十字病院看護師
地方独立行政法人神奈川県立こども医療センター小児看護専門看護師
岩手保健医療大学看護学部看護学科　助教
国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科
福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

学会発表

1)葛山加也子・阿南沙織・甲斐恭子、保育園実習での健康教育における看護学生の学び―COVID－19 の影響による臨地実習の工夫―、第 11 回国際医療福祉大学学会学術大会、国際医療福祉大学成田キャンパス、2021 年 11 月 14 日（日）、P.114

研究費取得

学内研究費　テーマ「福岡市における小児在宅看護の実態と看護師教育に関する課題」

社会的活動

地域活動への参加･協力

ケアリング・アイランド大学コンソーシアムの担当として活動

17)　横尾誠一　講師

学歴：長崎県立大学経済学部経済学科 学士課程修了

長崎市医師会看護専門学校高等課程　卒業

長崎県立保健看護学校看護学科　卒業

県立長崎シーボルト大学人間健康科学研究科看護学専攻 修士課程修了

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻 博士課程修了

職歴：国立大学法人 長崎大学病院

有限会社きずな　グループホームきずな

医療法人常葉会 長与病院 在宅事業部

長崎大学生命医科学域保健学系

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：医学博士、修士（看護学）、看護師、介護支援専門員

認知症ケア専門士（一般財団法人認知症ケア学会認定）

原著

1)Hironobu Koseki, Shinya Sunagawa, Chieko Imai, Akihiko Yonekura, Umi Matsumura, Seiichi Yokoo, Kaho Watanabe, Yuta Nishiyama, Makoto,Osaki:Visualization of Airborne Particles as a Risk for Microbial Contamination in Orthopedic Surgery. Published online 2021 Nov 22. doi: 10.3389/fsurg.2021.754785(IF:2.718)

報告書

1)辻麻由美,岩佐京香,中川柚子,横尾誠一,浜崎美和,吉田浩二. 認知症高齢者に行う音楽療法の効果：客観的指標に着目した文献的検討. ホスピスと在宅ケア 2021;29(3):203-211.

社会的活動

地域活動への参加･協力

医療法人友愛会田川療養所 看護部研修会講師

18) 吉村千草　助教

学歴：九州大学大学院医学系学府保健学専攻　修士（看護学）

職歴：沖縄県立南部病院

沖縄県立宮古病院

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師、保健師、修士（看護学）

研究費取得

文部科学省科学研究費（若手研究　平成30年～令和2年度）

研究代表者　吉村千草

研究課題名　女性潜在看護師のライフスタイルに着目した復職支援に影響する要因の検証

所属職能団体

公益社団法人日本看護協会、公益社団法人福岡県看護協会

19）池添貴子　助教

学歴：佐賀大学医学系研究科　修士課程看護学専攻　卒業

職歴：国立病院機構奈良病院（現　市立奈良病院）

佐賀大学医学部　地域医療科学教育研究センター

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：看護師、保健師、第一種衛生管理者、養護教諭Ⅱ種、修士（看護学）

学会発表

1)池添貴子、急性期医療を要する認知症高齢者への看護支援に関する文献検討、東都大学（web 開催）、日本看護福祉学会第 34 回学術集会、発表日：2021 年 9 月 12 日～13 日（web 開催：東都大学主催）

社会的活動

地域活動への参加･協力

地方自治体の事業への協力：地区住民主体の認知症予防カフェ設立事業に伴う開設講座への参加

所属職能団体

日本看護協会、福岡県看護協会

20）宇治田さおり　助教

学歴：佐賀大学医学系研究科　修士課程看護学専攻　卒業

職歴：潤和会記念病院

筑紫看護高等専修学校

国際医療福祉大学福岡看護学部看護学科

福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

資格：修士（看護学）

研究費取得

文部科学研究費　研究分担者　基盤研究費Ｃ　研究代表者：菊原美緒　防衛医科大学校

研究課題名「XR（仮想空間技術）を活用した虐待予防教育プログラムの開発」

社会的活動

所属職能団体

公益社団法人日本看護協会、公益社団法人福岡県看護協会

21）生駒千恵　助教

学歴：広島大学医学部保健学科看護学専攻卒業

福岡県立大学大学院看護学研究科基盤看護学領域看護教育学専攻修了

職歴：済生会八幡総合病院

医療法人はまゆう会相生リハビリテーションクリニック

医療法人和仁会福岡和仁会病院

福岡県立大学看護実践教育センター

医療法人社団誠和会牟田病院

資格：修士（看護学）、看護師、保健師、介護支援専門員

糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士、福岡糖尿病療養指導士

研究費取得

令和 3 年度学内研究費（一般研究 A）

所属職能団体

一般社団法人日本糖尿病療養指導士認定機構（試験委員）公益社団法人日本看護協会、公益社団法人福岡県看護協会、福岡糖尿病療養指導士会、糖尿病看護実践力開発研究会（世話人）公益社団法人日本糖尿病協会

8.6　言語聴覚専攻科

(1) 教員紹介

教員：平島ユイ子（教授・専攻科長）

吉永明史（助教）、豊嶋明子（助教）、池下博紀（助教）

1）平島ユイ子　専攻科長、教授

学歴：国際医療福祉大学保健医療学専攻言語聴覚分野博士課程修了

職歴：国際医療福祉大学福岡保健医療学部

福岡国際医療福祉学院言語聴覚学科

福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科

資格：言語聴覚士、博士（保健医療学）

原著：

1)平島ユイ子：学齢難聴児の生活作文の内容に関する要因ーナラティブの構成要素からみた評価教育 オーディオロジー研究第15巻13-17,2021（採択2021、12月）

学会発表：

1)自閉症スペクトラム障害を伴う難聴児の視線：身振りと表情をどう合致させるのか。日本コミュニケーション障害学会 新潟大学（朱鷺メッセ）7月30日31日

2)難聴児は表情と身振りをどう合致させるのか。日本特殊教育学会 筑波大学（WEB）　9月18日19日

3)自閉症と診断された難聴学齢児の表情と身振りの理解：アイトラッキングを用いた検討　日本音声言語医学会 杏林大学（WEB）10月7日8日

4)難聴児は表情と身振りをどう合致させるのか　日本言語聴覚士協会九州地区学術集会　福岡言語聴覚士会（北九州国際会議場）1月29日30日

研究費

自閉症を伴う難聴児のコミュニケーション手段と関係する要因

聴覚情報処理障害児（APD児）への聴覚訓練プログラムの開発

聴覚障害者の社会参加を促進するための手法に関する研究

社会的活動

地域活動への参加･協力

PTA研修（聴覚特別支援学校・若久特別支援学校）

福岡県専門家活用事業（福岡聴覚特別支援学校、福岡高等聴覚特別支援学校、福岡中央特別支援学校、福岡東特別支援学校、直方特別支援学校）

ジャーナリズムへの出演、

NHK「ろうを生きる」（2022年1月29日）

毎日新聞　難聴者のくらし、アニメ動画で学ぶ（2021年7月6日）

2）豊嶋明子　助教

学歴：同志社大学　商学部

国際医療福祉大学　修士課程　修了

職歴：恵光会原病院

畏敬会井野辺病院

弘医会福岡鳥飼病院、

福岡国際医療福祉学院言語聴覚学科

福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科

資格：言語聴覚士、修士（保健医療学）

講演

1)話す力を育てる　言語聴覚士が行う科学的アプローチ　第5回リハビリテーション研究会　特別講演

研究費取得

日本私立学校振興・共済事業団　女性研究者奨励金「言語療法におけるテレプラクティスの実現可能性」研究期間　2021 年度

3）池下博紀　助教

学歴：九州保健福祉大学保健科学部言語聴覚療法学科　卒業

国際医療福祉大学大学院修士課程　修了

国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 言語聴覚分野 博士課程満期退学

職歴：吉備高原医療リハビリテーションセンター

佐賀大学医学部附属病院 先進総合機能回復センター

脳神経センター大田記念病院急性期リハビリテーション課

福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科

資格：言語聴覚士、修士（言語聴覚学）

講演

1)認知症の理解とかかわり方　福岡国際医療福祉大学 地域公開教室（言語聴覚専攻科編）2021 年 7 月

研究費取得

「言語流暢性課題における検索方略と前頭葉機能との関連性」 2020 年度若手・女性研究者奨励金（繰越し金を含む）2021 年 1 月～2021 年 12 月

健常高齢者および健常若年者に対してデータ収集を行った。今後学会誌への投稿を予定。

所属職能団体

福岡県言語聴覚士会（西ブロック世話人）

4）吉永明史　助教

学歴：長崎リハビリテーション学院　言語聴覚学科卒業

国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻修了

国際医療福祉大学大学院　在学中

職歴：誠愛リハビリテーション病院

専門学校柳川リハビリテーション学院

福岡国際医療福祉学院言語聴覚学科

福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科

資格：言語聴覚士、修士（保健医療学）

社会的活動

地域活動への参加･協力

福岡市，古賀市，須恵町の地域ケア会議助言者

ジャーナリズムへの出演

RKB ラジオ「鬼ちゃん西やんの日曜ちゃちゃちゃ」2021 年 6 月 6 日

所属職能団体

福岡県言語聴覚士会（理事（副会長））

国、自治体、公的機関の役員･委員等

福岡県介護予防活動普及展開事業アドバイザー

９．大学・関連施設

(2022 年 3 月 1 日現在)

9.1　学校法人　高木学園

1）福岡国際医療福祉大学　医療学部（理学療法学科、作業療法学科、視能訓練学科）、看護学部看護学科、言語聴覚専攻科
（〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-6-40　TEL:092-832-1200）

2）専門学校柳川リハビリテーション学院　理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科
（〒832-0058 福岡県柳川市上宮永町 116　TEL: 0944-72-1001）

3）大川看護福祉専門学校　看護学科、介護福祉学科
（〒831-0016 福岡県大川市大字酒見 391-5　TEL: 0944-88-3433）

9.2 学校法人　国際医療福祉大学

1）国際医療福祉大学　保健医療学部（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科）、医療福祉学部（医療福祉・マネジメント学科）、薬学部（薬学科）
（〒324-8501 栃木県大田原市北金丸 2600-1　TEL：0287-24-3018）

2）国際医療福祉大学　医学部（医学科）、成田看護学部（看護学科）、成田保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科、放射線・情報科学科）、臨床工学特別専攻科
（〒286-8686 成田市公津の杜 4-3　TEL：0476-20-7701）

3）国際医療福祉大学　赤坂心理・医療福祉マネジメント学部（心理学科、医療マネジメント学科）
（〒107-8402 東京都港区赤坂 4-1-26　TEL：03-5574-3900）

4）国際医療福祉大学　小田原保健医療学部（看護学科、理学療法学科、作業療法学科）
（〒250-8588 小田原市城山 1-2-25　TEL 0465-21-0361）

5）国際医療福祉大学　福岡保健医療学部（理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科）福岡薬学部（薬学科）
（〒831-8501 大川市榎津 137-1　TEL：0944-89-2000）

6）国際医療福祉大学大学院　医療福祉学研究科、薬学研究科、薬科学研究科、医学研究科
（〒107-8402 東京都港区赤坂 4-1-26　TEL：03-5574-3900）

7）国際医療福祉大学塩谷看護専門学校　看護学科
（〒329-2145 栃木県矢板市富田 77-6　TEL：0287-44-2322）

8）国際医療福祉大学病院（〒329-2763 栃木県那須塩原市井口 537-3　TEL：0287-37-2221）
西那須野町井口（大学から車で約 15 分）に、平成 10 年 7 月に開設、平成 14 年 2 月には新しい棟を増やし、産婦人科を含んだ総合病院として再スタートした。病床は 353 床である。平成 25 年 3 月に栃木県では初めて手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ Si」導入した。各診療科目とも最新の診療と専門スタッフが揃っている。

9）介護老人保健施設　マロニエ苑（〒329-2763 那須塩原市井口 533-4　TEL：0287-36-6622）
国際医療福祉大学病院の隣に平成 5 年に開所した 200 床の老人保健施設である。苑内には温泉をひいた大浴場があり、快適な環境と、最新の設備とともに、PT・OT・ST のスタッフによるきめ細やかなリハビリテーションを実施している。

10）にしなすの総合在宅ケアセンター（〒329-2763 那須塩原市井口 537-3　TEL：0287-39-3303）
国際医療福祉大学病院・マロニエ苑と隣接し、開所した総合在宅ケアセンター。通所リハビリテーション・通所介護・にしなすのマロニエ訪問看護ステーション・ホームヘルパーステーションがある。マロニエ苑同様、天然温泉を利用した浴室・リフト浴槽等もあり、楽しみながら受けられる基本的な介護プログラムや機能的リハビリテーションを実施している。

11）国際医療福祉大学クリニック（〒324-0011 大田原市北金丸 2600-6　TEL：0287-24-1001）
大学敷地内にある病院で、健康管理センターと言語聴覚センターがあり、健康管理センターは学生の健康診断や健康相談、診療などを行っている。言語聴覚センターは、数多くの検査室・治療室を持ち、精密な聴覚機能検査機器や言語治療に使うマルチメディアシステムなどで、言語および聴覚に障害がある子供や成人の治療にあたっている。

12）国際医療福祉大学塩谷病院（〒329-2145　栃木県矢板市富田 77　TEL：0287-44-1155）
平成 21 年 4 月に厚生連塩谷総合病院から継承して、塩谷病院としてオープンした。病床は 240 床である。平成 23 年より回復期病棟を開設し 365 日体制のリハビリテーションを実施している。

13）しおや総合在宅ケアセンター（〒329-2145　栃木県矢板市富田 77　TEL：0287-44-1155）
国際医療福祉大学塩谷病院に隣接し、栃木県北（塩谷郡市地域）の通所サービス、訪問サービスの拠点として平成 26 年 4 月に開設された総合在宅ケアセンターである。

14）国際医療福祉大学熱海病院（〒413-0012 熱海市東海岸町 13-1　TEL：0557-81-9171）
平成 14 年 7 月に国立病院から承継し、新病院が平成 17 年 7 月に開設した。病床は 269 床である。リハビリテーション室からは海が望め、すばらしいオーシャンビューや熱海ならではの温泉がある。平成 24 年 8 月に回復期リハビリテーションセンターを開設した。

15）国際医療福祉大学三田病院　（〒108-8329 東京都港区三田 1-4-3　TEL03-3451-8121）
平成 17 年 3 月に東京専売病院から継承して三田病院としてオープンした。乳腺センター、頭頸部、腫瘍センター、呼吸器センター、予防医学センターを開設し、新たな外来を開設した。病床数は 291 床である。

16）国際医療福祉大学市川病院（〒272-0827 千葉県市川市国府台 6-1-14　TEL：47-375-1111）
昭和 41 年、結核に対する化学療法研究所の附属病院として開設。今後は結核のみならず、肺ガンなどの呼吸器疾患全般を診療体制の柱とするとともにがん全般に渡る化学療法の研究にも取り組む。平成 19 年 2 月に新病院が完成した。平成 29 年 9 月化学療法研究所附属病院から市川病院に名称が変更になった。

9.3　社会福祉法人　邦友会

1）国際医療福祉大学リハビリテーションセンター（〒324-0011 大田原市北金丸 2600-7　TEL：0287-20-5200）
国際医療福祉大学リハビリテーションセンターは大学の敷地内にあり、平成 12 年 4 月に開設。重度心身障害児施設であるなす療育園と身体障害者療護施設であるサポートハウス那須、那須デイサービスセンターからなる総合施設である。なす療育園と那須療護園はそれぞれ 50 床の施設である。なす療育園では外来リハビリテーション診療も行っており、現在栃木県北部地域の小児リハビリテーションの中核となっている。

2）おおたわら総合在宅ケアセンター（〒324-0011 大田原市北金丸 2600-6　　TEL：0287-20-2501）
おおたわら総合在宅ケアセンターは大学の敷地内に、平成 15 年 4 月に開所した総合在宅ケアセンターである。通所リハビリテーション、通所介護、グループホームがある。

3）おおたわら風花苑（〒324-0011 大田原市北金丸 2600-6　　TEL：0287-20-2230）
入所定員 40 名、短期入所定員 30 名の全室個室・ユニットケア型の特別養護老人ホームである。各ユニットは 7～10 名の構成で、利用者同士のふれあいの場がもてるよう、団欒や簡単な調理、食事なども楽しむことができる居住環境を重視した空間を提供している。

4）特別養護老人ホーム栃の実荘（〒329-2763 那須塩原市井口 533-11　TEL：0287-37-1160）
国際医療福祉大学病院・マロニエ苑の隣に、平成 6 年に開所した 77 床の特別養護老人ホームである。ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイなど様々なサービスを提供している。平成 11 年には在宅介護センターが開設され、介護保険に関連したサービスを提供できる。

9.4　医療法人財団　順和会

1）山王病院（〒107-0052 東京都港区赤坂 8-5-35　TEL：03-3402-3301）
東京の赤坂に立つ昭和 12 年創立の歴史ある病院である。高度化・専門化する医療に対応し得るスタッフをそろえ、大学病院とも連携を取りながら最新の診療を行っている。都会型の病院であり、平成 12 年 11 月に新病院が完成した。特に、リプロダクションセンター（不妊治療）が有名である。

9.5 医療法人社団　高邦会

1）高木病院（〒831-0016 大川市酒見 141-211　TEL：0944-87-0001）
506 床の急性期病院。ICU、HCU を有する。医師やコメディカルと連携しチーム医療を行っている。脳血管疾患、神経難病、整形外科疾患、呼吸器疾患、心疾患、悪性新生物、小児など多岐にわたる疾病に対して理学療法を行っている。

2）柳川リハビリテーション病院（〒832-0058 柳川市上宮永町 113-2　TEL：0944-72-0001）
平成 2 年に開設した、240 床のリハビリテーション専門病院である。回復期病棟は 120 床と近隣では最多の病床数を誇る。西日本屈指の面積（1，230 ㎡）を持つ広い訓練室を持ち、約 90 名のリハビリテーションスタッフが在籍している。医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、ソーシャルワーカーなどのチーム連携により、365 日質の高いリハビリテーションを提供している。病院内には通所リハビリテーションを併設し、生活期のリハビリテーションを支援している。

3）みずま高邦会病院（〒830-0416 三潴郡大木町大字八町牟田 1621-1　TEL：0944-87-8880）
平成 12 年に開設された 120 床の療養病床を持つ病院であり、病院内に通所リハビリテーションセンター及び居宅介護支援事業所を併設している。治療・ケアのための設備、休息のための安らぎのある病室、語らいながら食事ができる空間などを機能的に配置し、病気の治療と生活リハビリテーションを実践できる環境を整え、自宅で療養されている高齢者及びそのご家族に対する在宅支援の機能も備えている。

4）福岡山王病院（〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3-6-45　TEL：092-832-3061）
福岡国際医療福祉大学、総合ケアセンターももちに隣接し、平成 21 年 5 月に開院した 199 床完全個室の病院である。通所リハビリテーションも併設している。

5）福岡中央病院（〒810-0022 福岡市中央区薬院 2-6-11　TEL：092-741-0300）
1926 年に熊本逓信病院福岡支所として、福岡市で診療を開始、1951 年に福岡逓信病院として現在地に移転した。2019 年 4 月、医療法人社団 高邦会 福岡中央病院へと変わった。福岡市の中心に位置し、他の医療機関との連携も密であったこれまでに加えて、あらゆる医療福祉のニーズに最高レベルで応える複合体を目指す国際医療福祉大学・高邦会グループの充実した医療・福祉施設と連携している。

6）介護老人保健施設　水郷苑（〒832-0058 柳川市上宮永町 269　TEL：0944-74-4001）
平成 5 年に開設した、入所 100 床の老人保健施設である。苑内には通所リハビリテーションを併設している。柳川の温和な風土を背景に、天然温泉を利用した浴室や、リフト設備等安全に配慮した設備の充実により、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の他、他職種連携のもと、生活リハビリを基調にきめ細やかな ADL アプローチや活動を支援している。

7）有明クリニック（〒831-0016 大川市酒見 215-1 おおかわ交流プラザ 3 階　TEL：0944-85-8081）
平成 27 年 5 月、「在宅療養支援診療所有明クリニックと通所リハビリテーション」を開設。有明クリニックでは、通院が困難な方に対して訪問診療を行う。併設する通所リハビリテーションでは、トレーニン

グマシンを使ったパワーリハビリテーション、ご利用者の日常生活機能の改善をより計画的に支援していく生活行為向上リハビリテーション、認知症予防や記憶力改善を図る脳活性化リハビリテーションを柱に、専門職による充実した個別・集団リハビリテーションを行う。また、多様な入浴設備を導入し、自宅での入浴が困難な方でも安心して入浴できるサービスを提供する。

8) ケアサポートハウス大川（〒831-0022 大川市榎津 160-1　TEL：0944-87-0018）

平成 12 年、高木病院の南側に開設された総合在宅ケアセンターで以下の施設を配置している。グループホーム・高齢者向け賃貸アパート・通所介護・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・訪問介護ステーションがある。「利用者が住み慣れた地域社会において、その人らしい生活ができるよう、個性に応じた適切な援助を行う。」を運営理念に、関連他事業所とともに生活期のリハビリテーションを支援している。

9) 有明総合ケアセンター（〒832-0058 柳川市上宮永町 277-2　TEL：0944-75-1670）

水郷苑の南側に平成 12 年に開設した総合在宅ケアセンター。居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・通所介護がある。「利用者が住み慣れた地域社会において、その人らしい生活ができるよう、個性に応じた適切な援助を行う。」を運営理念に、関連他事業所とともに生活期のリハビリテーションを支援している。

10) 総合ケアセンターももち（〒814-0001 福岡市早良区百道 3-6-40　TEL：092-831-1901）

福岡山王病院、福岡国際医療福祉学院と同一敷地内に平成 20 年に開設した、通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、居宅介護支援の、在宅介護を支援する 3 事業所を併せ持つ複合福祉施設である。グループ内だけでなく、福岡市内の病院、施設などと連携し、利用者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を継続できるように、利用者の個性にあったサービスを提供している。

9.6 社会福祉法人高邦福祉会

1) 社会福祉法人高邦福祉会　柳川療育センター

（〒832-0813 福岡県柳川市三橋町棚町 218-1　TEL：0944-73-0039）

平成 28 年 5 月、入所を 110 床、短期入所を 10 床へ増床し、移転オープンした重症心身障害児（者）施設である。移転後の敷地内には、児童発達支援センター「あいりす」と国際医療福祉大学神経発達症研究センターが併設され、総合的な医療・福祉・教育施設へと規模が拡大した。現在、リハビリテーション室には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が 34 名勤務し、入所・外来利用者に対して、質の高い療育を提供している。

2) 社会福祉法人高邦福祉会　デイサービスセンターりはらいふ

（〒832-0058 福岡県柳川市上宮永町 284 番地 2　らいふサポートセンター柳川 1 階　TEL:0944-75-1130）

平成 28 年 9 月、機能訓練特化型デイサービスとして開設。午前 3 時間、午後 2 時間とそれぞれ短時間利用となっている。利用者の自立に向け、運動機能の訓練（マシン等を利用した有酸素運動）を中心としたサービスを提供。「活動」や「参加」を目標に、楽しく体を動かすことで運動の常習化を図り、健康・自立を促している。

10. 付録

福岡国際医療福祉大学　中期目標・中期計画
内部質保証の推進に関する基本方針、内部質保証推進体制
本学のホームページ　　情報の公開
https://fiuhw.takagigakuen.ac.jp/about/information/

ザ・フクオカ　情報誌：2021 年度自己点検・評価資料集（年報）
2022 年 6 月 1 日　発行　3 号

福岡国際医療福祉大学
自己点検・評価委員会
福岡県福岡市早良区百道浜 3-6-40
TEL：092-832-1200　FAX：092-832-1167